

ろ1	辰之高物成定之事	元禄元戊辰年十一月廿一日	1688	11	0	21 多湖岸右衛門(印)、太田取右衛門(印)、岩根与惣左衛門(印)、細見甚右衛門(印)	河戸村庄屋、惣百姓中	一紙	裏朱書「第三号 明治七年十二月廿二日検閲(印:斯波)」、裏貼紙「第三号(印:川俣)」「元禄元辰年」、裏貼紙(朱書)「(印:白木)第七十八号 三百卅五号」
ろ2	辰之高物成定之事	元禄十三庚辰年十一月廿一日	1700	11	0	21 藤井基助(印)、牧忠右衛門(印)、石川彦兵衛(印)、早川太郎右衛門(印)、中村定右衛門(印)、田口伝左衛門(印)	河戸村庄屋、惣百姓中	一紙	端裏書「元禄十三辰年」、裏朱書「第四号 明治七年十二月廿二日検閲(印:斯波)」、裏貼紙「第四号(印:川俣)」、裏貼紙(朱書)「(印:白木)第七十九号 三百卅六号」
ろ3	方県郡河渡村卯御物成割付之事	正徳元辛卯年十一月十三日	1711	11	0	13 石塚五太夫(印)、松原平兵衛(印)、近藤四郎兵衛(印)、河野儀左衛門(印)、高橋左左衛門(印)、榎原正右衛門(印)、植竹吉兵衛、吉川伝右衛門(印)、松本仁左衛門(印)、村上蔵人(印)、三田小一右衛門(印)	庄屋百姓中	一紙	端裏書「河渡村 齊藤覚右衛門・庭幸太夫分」、裏朱書「第五号 明治七年十二月廿二日検閲(印:斯波)」、裏貼紙「正徳元卯ノ年」第五号(印:川俣)」、裏貼紙(朱書)「(印:白木)第八十号 三百卅七号」
ろ4	子御年貢可納割付之事	宝暦六年子十月	1756	10	0	48 川崎平右衛門(印)	右(河渡)村庄屋、年寄、百姓	一紙	端裏書「河渡村」、裏貼紙「宝暦六子」
ろ5	丑御年貢可納割付之事	(宝暦7年)	1757	99	0	98		一紙	後半部分破損、端裏書「河渡村」、裏付札「七号(朱書) 宝暦七丑年(印)」、裏貼紙(朱書)「(印:白木)第八十一号 三百卅八号」
ろ6	申御年貢可納割付之事	明和元年申十月	1764	10	0	48 千清右衛門(印)	右(河渡)村庄屋、年寄、惣百姓	一紙	端裏書「方県郡河渡村」、裏付札「八号(朱書) 明和元申(印)」「(印)裏貼紙(朱書)「(印:白木)第八十三号 三百卅九号」、裏朱書「第八号 明治七年十二月廿二日検閲(印:斯波)」
ろ7	酉御年貢可納割付之事	明和二年酉十月	1765	10	0	48 千清右衛門(印)	右(河渡)村庄屋、年寄、惣百姓	一紙	端裏書「河渡村」、裏付札「明和貳酉年」
ろ8	巳御年貢可納割付之事	安永二年巳十月	1773	10	0	48 千六郎右衛門(印)	右(河渡)村庄屋、年寄、惣百姓	一紙	端裏書「巳割付 河渡村」、裏貼紙(朱書)「(印:白木)第八十三号 三百四十号」、裏付札「第八号(朱書) 安永二巳年」、裏朱書「第九号 明治七年十二月廿二日検閲(印:斯波)」
ろ9	午御年貢可納割附之事	安永三年午十月	1774	10	0	48 千六郎右衛門(印)	右(河渡)村庄屋、年寄、惣百姓	一紙	裏付札「安永三年午」
ろ10	丑御年貢可納割付之事	天明元年丑十月	1781	10	0	48 千六郎右衛門(印)	右(河渡)村庄屋、年寄、惣百姓	一紙	端裏書「丑割附 河渡村」、裏貼紙「十号(朱書) 天明元丑年」、裏貼紙(朱書)「(印:白木)第八十四号 三百四十一号」、裏朱書「第十号 明治七年十二月廿二日検閲(印:斯波)」
ろ11	酉御年貢可納割付之事	寛政元酉年十月	1789	10	0	48 辻六郎左衛門(印)	右(河渡)村庄屋、年寄、惣百姓	一紙	端裏書「河渡村」、裏貼紙「十一号(朱書) 寛政元酉年」、裏貼紙(朱書)「(印:白木)第八十五号 三百四十二号」、裏朱書「第十一号 明治七年十二月廿二日検閲(印:斯波)」
ろ12	酉御年貢可納割附之事	享和元酉年十月	1801	10	0	48 辻甚太郎(印)	右(河渡)村庄屋、年寄、惣百姓	一紙	端裏書「享和元酉年 河渡村」、裏貼紙(朱書)「第拾貳号(印)」「(印:白木)第八十六号 三百四十三号」、裏朱書「第十二号 明治七年十二月廿二日検閲(印:斯波)」
ろ13	亥御年貢可納割付之事	文久三亥年十月	1863	10	0	48 岩田鐵三郎(印)	右(河渡)村庄屋、年寄、惣百姓	一紙	端裏書「美濃国方県郡河渡村」、裏貼紙「文久三亥年」
ろ14	子御物成皆済目録	宝暦七年丑十月	1757	10	0	48 川平右衛門(印)	右(河渡)村庄屋、年寄	一紙	端裏書「河渡村」、裏貼紙「六号(朱書) 宝暦六子(印)」、裏朱書「第六号 明治七年十二月廿二日検閲(印:斯波)」無号」
ろ15	子御物成皆済目録	宝暦七年丑十月	1757	10	0	48 川平右衛門印	右(河渡)村庄屋、年寄	一紙	端裏書「河渡村」、裏貼紙「宝暦六子年」
ろ16	丑御年貢皆済目録	宝暦八年寅十月	1758	10	0	48 川平右衛門(印)	右(河渡)村庄屋、年寄、百姓	一紙	端裏書「河渡村」、裏貼紙「宝暦七丑年」
ろ17	申御物成米金御勘定仕上目録	明和二年酉十月	1765	10	0	48	千種清右衛門 榎御役所	一紙	端裏書「河渡村」、裏付札「明和元申(印)」、年貢皆済につき千清右衛門の裏書あり
ろ18	酉御物成米金御勘定仕上目録	明和三年戌十月	1766	10	0	48	千種六郎右衛門 榎御役所	一紙	端裏書「河渡村」、裏貼紙「明和二酉年」、年貢皆済につき千六郎右衛門の裏書あり
ろ19	丑御物成米金御勘定仕上目録	天明二年寅十月	1782	10	0	48 方県郡河渡村庄屋清兵衛(印)・忠兵衛(印)、年寄儀右衛門(印)・勘右衛門(印)・長兵衛(印)・久左衛門(印)、百姓代四郎右衛門(印)・忠次郎(印)	笠松御郡代所	一紙	端裏書「方県郡河渡村」、裏貼紙「天明元丑年」、年貢皆済につき千六郎右衛門の裏書あり
ろ20	酉御年貢皆済目録	寛政二戌年四月	1790	4	0	48 辻六郎左衛門(印)	右(河渡)村庄屋、年寄、惣百姓	一紙	端裏書「寛政元酉年」「方県郡河渡村」
ろ21	河戸村未之御免相之事	(寛永20年)未ノ霜月三日	1643	11	0	3 古沢安左衛門、松波多衛藏(印)	河戸村忠右衛門殿、吉右衛門殿、組頭衆様	切紙	裏貼紙「寛永二十未年」「第二号(印:川俣)」、裏貼紙(朱書)「(印:白木)第七十七号 三百卅四号」、裏朱書「第二号 明治七年十二月廿二日検閲(印:斯波)」
ろ22	巳之御物成通	天保四年十二月	1833	12	0	48 忠左衛門		横半	表紙「北組」

ろ23	未御物成通	天保六年十二月	1835	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ24	申御物成通	天保七年十二月	1836	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ25	酉之御物成通	天保八年十二月	1837	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ26	戌之御物成通	天保九年十二月	1838	12	0	48 忠左衛門	横半	剥離紙あり、表紙「北組」
ろ27	亥之御物成通	天保十年十二月	1839	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ28	子之御物成通	天保十一年十二月	1840	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ29	丑御物成通	天保十二年十二月	1841	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ30	寅之御物成通	天保十三年十二月	1842	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ31	寅御物成通	天保十三年十二月	1842	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「南組」
ろ32	卯御物成通	天保十四年十二月	1843	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「南組」
ろ33	辰御物成通	天保十五年十二月	1844	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ34	辰御物成通	天保十五年十二月	1844	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「南組」
ろ35	巳御物成通	弘化二歳十二月	1845	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ36	未御物成通	弘化四年十二月	1847	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「南組」
ろ37	申御物成通	嘉永元年十二月	1848	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ38	申御物成通	嘉永元年十二月	1848	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「南組」
ろ39	酉御物成通	嘉永二年十二月	1849	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ40	酉御物成通	嘉永二年十二月	1849	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「南組」
ろ41	戌御物成通	嘉永三年十二月	1850	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ42	戌御物成通	嘉永三年十二月	1850	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「南組」
ろ43	亥御物成通	嘉永四年十二月	1851	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ44	亥御物成通	嘉永四年十二月	1851	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「南組」
ろ45	子御物成通	嘉永五年十二月	1852	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ46	子御物成通	嘉永五年十二月	1852	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「南組」
ろ47	丑御物成通	嘉永六年十二月	1853	12	0	48 忠左衛門	横半	縦じ紐切れ、表紙「北組」
ろ48	丑御物成通	嘉永六年十二月	1853	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「南組」
ろ49	寅御物成通	嘉永七年十二月	1854	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ50	寅御物成通	嘉永七年十二月	1854	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「南組」
ろ51	卯御物成通	安政二年十二月	1855	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ52	卯御物成通	安政二年十二月	1855	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「南組」
ろ53	辰御物成通	安政三年十二月	1856	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ54	辰御物成通	安政三年十二月	1856	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「南組」
ろ55	巳御物成通	安政四年十二月	1857	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ56	巳御物成通	安政四年十二月	1857	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「南組」
ろ57	午御物成通	安政五年十二月	1858	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ58	午御物成通	安政五年十二月	1858	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「南組」
ろ59	未御物成通	安政六年十二月	1859	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ60	申御物成通	万延元年十二月	1860	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ61	亥御物成通	文久三年十二月	1863	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ62	亥御物成通	文久三年十二月	1863	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「南組」
ろ63	卯御物成通	慶応三年十二月	1867	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「北組」
ろ64	卯御物成通	慶応三年十二月	1867	12	0	48 忠左衛門	横半	表紙「南組」
ろ65	未御物成通	(未年)	9907	99	0	98 忠左衛門	一紙	
ろ66	申御物成通	(申年)	9908	99	0	98 忠左衛門	一紙	
ろ67	辰御物成通	(辰年)	9904	99	0	98 忠左衛門	一紙	
ろ68	午御物成通	(午年)	9906	99	0	98 忠左衛門	一紙	
ろ69	寅之御物成通	(寅年)	9902	99	0	98 忠左衛門	一紙	
ろ70	御廻米不廻一件(桑名での中晩稲の積立は11月下旬より翌正月月中旬までになるようお願いにつき)	文化十四丑年八月	1817	8	0	48 庄屋忠兵衛扣	縦	
ろ71	美濃・伊勢国御廻米納方御蔵定帳	天保五年午十月二日	1834	10	0	48 河渡宿村木忠左衛門(印)	横半	

ろ72	御蔵納欠石船方并郡中為取替写(廻米積請の義など文化年中の取極め、先年の通り改めにつき)	天保五年午十月再改	1834	10	0	48	野田斧吉支配所濃州各務郡前野村郡中惣代信助印・同州山県郡小倉村郡中惣代彦七・同州同(山形)郡千疋村同断(郡中惣代)市郎兵衛・同州土岐郡小里村同断(郡中惣代)善兵衛・同州羽栗郡徳田新田同断(郡中惣代)寿作・同州多芸郡根古地新田同断(郡中惣代)伝兵衛、会所詰作左衛門・雲平	勢州桑名湊廻船差配人敦賀屋庄右衛門殿・高塚屋伊左衛門殿	縦	
ろ73	安政四丁未年御免割相場定	(安政4丁未)	1857	99	0	98			一紙	縦じ穴跡あり、水田水引定日の書付あり
ろ74	戊立毛合附野帳	文久二年九月	1862	9	0	48	村木		横半	
ろ75	南組高覚	元治元年改	1864	99	0	98			横長	
ろ76	高違井過米銀割取調帳	慶応二年寅八月	1866	8	0	48	村木扣		横長	
ろ77	御廻米乗納取極之覚	慶応二年寅十月	1866	10	0	48	方県郡		縦	
ろ78	[西御丸普請・長防征伐の進発などにつき冥加金上納覚帳]	(天保10~慶応2年)	1839	99	0	98			縦	
ろ79	天神名田地押調		9999	99	0	98			一紙	
は1	乍恐以宿次御届奉申上候(中島村・一日市場村草野出入一件につき、内済次第下書)	天保七申年九月	1836	9	0	48	柴田吉之丞支配所中山道河渡宿庄屋 忠左衛門(印)、年寄儀右衛門(印)	柴田郡平様、向島真兵衛様	一紙	端裏書「九月二日宿継ヲ以継送り申候」
は2	御触書写(虫防の手当心得などにつき)	(天保9年7月)	1838	7	0	48			縦	
は3	[街道筋取締の件請書、銀引替銭の廻状、拝借色納金勘弁など願書留帳]	(文久4~慶応2年)	1864	99	0	98			縦	
は4	村請分慶応元丑年割合引請二入(反別・定米など書付)	(慶応元丑年)	1865	99	0	98	忠左衛門		一紙	
は5	小前未進取立御願上候一件(小前14人の年貢・高掛物の未進者あり、勘定するよう笠松御役所へ願上げにつき)	慶応二寅年七月	1866	7	0	48	泰次郎扣		縦	
は6	庄屋勘定場二おみて市左衛門・儀兵衛・友藏・定吉・勇助・善之助理不尽二諸帳面奪取出訴一件(諸入用夫銭割に取懸る處、高持総代ら村入用帳・大役帳・船場役帳など奪い取るなど村方騒動一件)	慶応二年寅十二月	1866	12	0	48	泰次郎扣		縦	1976年発行『岐阜大学教育学部郷土資料(7)幕末維新期美濃地方の村方騒動関係史料』に翻刻あり
は7	乍恐以書付奉願上候(諸入用夫銭割に取懸る處、高持惣代6人が諸帳面理不尽に奪い取る村方騒動にて、嚴重に取調べ願ひ)	慶応二寅年十二月	1866	12	0	48	中山道河渡宿百姓代勇八、年寄勘右衛門・式太郎・儀右衛門・泰次郎、同断(年寄)後見四郎右衛門、問屋泰藏・久右衛門、同(問屋)後見八兵衛、庄屋広助・忠右衛門、同(庄屋)後見忠兵衛	笠松御役所	一紙	
は8	乍恐以口上書奉申上候(臨時通行継立向諸雑費・渡船場諸入用増加にて困窮につき、余荷助郷願い下書)	慶応三卯年二月	1867	2	0	48	中山道河渡宿役人惣印	関東御取締広瀬鏡平様	縦	資料には「は九号」と番号が書かれている
は9	仮規定取極写(村方騒動一件にて、庄屋らへの給米、宿村小入用取替金、年貢米納方などの規定、一同立会取極めにつき)	慶応三年卯七月	1867	7	0	48	忠左衛門扣		縦	1976年発行『岐阜大学教育学部郷土資料(7)幕末維新期美濃地方の村方騒動関係史料』に翻刻あり
は10	慶応四辰年二月会藩より在府大諸候(カ)へ被差出候書面之写	(慶応4辰年2月)	1868	2	0	48			縦	
は11	[大原前侍従に供奉した河渡村林兵衛上京一件留帳]	(慶応4年3~10月)	1868	3	0	48			縦	『岐阜市史通史編近代』pp.28~30に一部分収載
は12	御改正宿方一件(御一新にて宿郷組替えなど改正仕法帳)	慶応四年辰五月ヨリ	1868	5	0	48	村木扣		縦	破損あり、『岐阜市史資料編近世二』pp.1098~1100に収載
は13	[曾我屋村地内横小堤築立場所など的一件、江戸にて訴訟などにつき願書留]	(安政5年午11月)	1858	11	0	48			縦	
は14	[納名主支度金内借願いなど廻米関連記録]	(7月24日~9月24日)	9999	7	0	24			横半	納名主は「忠左衛門」「与藤治」とあり
は15	[御勘定矢田堀喜左衛門御改につき河渡村荒地并取下手繪図]	文化八未年七月	1811	7	0	48	瀧川小右衛門御代官所濃州方県郡河渡村庄屋忠兵衛(印)・清兵衛(印)、年寄勘右衛門(印)・長兵衛(印)・忠次郎(印)・儀右衛門(印)、百姓代四郎右衛門(印)・勇八(印)		一紙	は15~22は袋一括、袋「明治十七年十月十二日改ム、第六十七号宝曆十一年正月立会分間絵図 三枚続巻枚、第六十八号寛政十三年宿方明細書上帳 巻冊、第六十九号文久元年和宮様御下向ノ節渡舟場絵図 巻枚、第七十号天保二年有君様御下向ノ節渡舟場絵図 巻枚、無号宝曆六年皆済目録 巻候 巻通、第八十一号同七丑年御割付 巻通、第八十二号明和元年御割付 巻通、第八十三号安永二巳年同断 巻通、第八十四号天明元年丑年同断 巻通、第八十五号寛政元酉年同断 巻通、第八十六号享和元酉年同断 巻通、無号明治六年中洲境界図無番 巻通、方県郡河渡村」、42.2×60.6cm、彩色、裏貼紙(朱書)「第六十三号 二百八十四号」

は26	仮約定之事(木田村地内板谷川通新堤築 立方下知済み、糸貫川北方村地内堤切入 の梅田堤一件熟談にて堤修復諸入用の 割合など取極めにつき)	文久元酉年八月	1861	8	0	48	北方村町役平左衛門印、組頭佐兵衛印、 庄屋八三郎印、丈右衛門印、河渡村外 七ヶ村惣代上曾我屋村年寄弥平治印、馬 場村庄屋孫右衛門印、生津村庄屋民藏印	御立入人助三 郎殿・当三郎 殿	縦	へ65の写、罫紙
に1	八ヶ村組合囲蔵諸入用帳	文政十三年寅閏三月廿 九日	1830	3	1	29			横長	
に2	去卯濃州御糶米納入用清割賦帳	天保三年辰六月	1832	6	0	48			縦	『岐阜市史資料編近世二』pp.1096～1098に収載
に3	去午濃州御糶米納入用清割賦帳	天保六年未六月	1835	6	0	48			縦	
に4	去未濃州御糶米納入用清割賦帳	天保七年申四月	1836	4	0	48	村木忠左衛門扣		縦	縦じ紐切れ
に5	去未濃州御糶米納入用清割賦帳	天保七年申四月	1836	4	0	48			縦	に5(日)～(月)は一冊に縦じられている
に5	去酉濃州御糶米納入用清割賦帳	天保九年戌七月	1838	7	0	48			縦	
に6	去亥濃州御糶米納入用清割賦帳	天保十一年子八月	1840	8	0	48	方果郡惣代忠左衛門控		縦	
に7	戌納入用清割賦帳	(戌年)	9910	99	0	98			縦	
に8	去卯十一月朔日より当辰五月晦日迄会所 小役割符帳	天保三年辰六月日	1832	6	0	48	方果郡・筵田郡惣代庄屋忠兵衛扣		縦	に8(日)～(火)は一冊に縦じられている
に8	濃州・勢州村々去々寅出張所入用帳	天保三年辰六月日	1832	6	0	48			縦	
に8	御膳御廻糶余荷米一村限帳	天保二卯年	1831	99	0	98			縦	
に9	美濃国当年御年貢米御蔵納諸入用帳(11 月9日水揚同13日納、合米1750俵水揚高)	天保五年午十一月	1834	11	0	48	納名主忠兵衛・与藤治、納方会所	野田斧吉様御 役所	縦	野田斧吉御役所の奥書あり
に10	美濃国当年御年貢米御蔵納諸入用帳(11 月8日水揚同12日納、合米1700俵水揚高)	天保五年午十一月	1834	11	0	48	納名主忠兵衛・与藤治、納方会所	野田斧吉様御 役所	縦	野田斧吉御役所の奥書あり
に11	美濃国当年御年貢米御蔵納諸入用帳(10 月晦日水揚11月2日納、合米2250俵水揚 高)	天保五年午十一月	1834	11	0	48	納名主忠兵衛・与藤治、納方会所	野田斧吉様御 役所	縦	野田斧吉御役所の奥書あり
に12	美濃国当年御年貢米御蔵納諸入用帳(11 月17日水揚同20日納、合米2700俵水揚 高)	天保五年午十一月	1834	11	0	48	納名主忠兵衛・与藤治、納方会所	野田斧吉様御 役所	縦	野田斧吉御役所の奥書あり
に13	美濃国当年御年貢米御蔵納諸入用帳(11 月14日水揚同18日納、合米2625俵水揚 高)	天保五年午十一月	1834	11	0	48	納名主忠兵衛・与藤治、納方会所	野田斧吉様御 役所	縦	野田斧吉御役所の奥書あり
に14	美濃国当年御年貢米御蔵納諸入用帳(12 月3日水揚同5日納、合米1130俵水揚高)	天保五年午十二月	1834	12	0	48	納名主与藤治、忠兵衛、納方会所	野田斧吉様御 役所	縦	野田斧吉御役所の奥書あり
に15	美濃国当年御年貢米御蔵納諸入用帳(11 月29日水揚12月5日納、合米2950俵水揚 高)	天保五年午十二月	1834	12	0	48	納名主忠兵衛・与藤治、納方会所	野田斧吉様御 役所	縦	野田斧吉御役所の奥書あり
に16	美濃国当年御年貢米御蔵納諸入用帳(12 月10日水揚同14日納、合米1650俵水揚 高)	天保五年午十二月	1834	12	0	48	納名主忠兵衛・与藤治、納方会所	野田斧吉様御 役所	縦	破損大、野田斧吉御役所の奥書あり
に17	美濃国当年御年貢米御蔵納諸入用帳(12 月24日水揚同28日納、合米1750俵水揚 高)	天保五年午十二月	1834	12	0	48	納名主忠兵衛・与藤治、納方会所	野田斧吉様御 役所	縦	野田斧吉御役所の奥書あり
に18	美濃国当年御年貢米御蔵納諸入用帳(12 月6日水揚同21日納、合米2600俵水揚高)	天保五年午十二月	1834	12	0	48	納名主忠兵衛・与藤治、納方会所	野田斧吉様御 役所	縦	野田斧吉御役所の奥書あり
に19	美濃国去年御年貢米御蔵納諸入用帳(正 月14日水揚同19日納、合米3084俵水揚 高)	天保六年未正月	1835	1	0	48	納名主与藤治、忠兵衛、納方会所	野田斧吉様御 役所	縦	野田斧吉御役所の奥書あり
に20	美濃国去年御年貢米御蔵納諸入用帳(正 月10日水揚同14日納、合米3220俵水揚 高)	天保六年未正月	1835	1	0	48	納名主忠兵衛・与藤治、納方会所	野田斧吉様御 役所	縦	野田斧吉御役所の奥書あり
に21	美濃国去年御年貢米御蔵納諸入用帳(正 月18日水揚同23日納、合米2275俵水揚 高)	天保六年未正月	1835	1	0	48	納名主忠兵衛・与藤治、納方会所	野田斧吉様御 役所	縦	野田斧吉御役所の奥書あり
に22	美濃国去年御年貢米御蔵納諸入用帳(正 月28日水揚2月2日納、合米4400俵水揚 高)	天保六年未正月	1835	1	0	48	納名主忠兵衛・与藤治、納方会所	野田斧吉様御 役所	縦	野田斧吉御役所の奥書あり
に23	美濃国去年御年貢米御蔵納諸入用帳(2 月4日水揚同7日納、合米1275俵水揚高)	天保六年未二月	1835	2	0	48	納名主与藤治、忠兵衛、納方会所	野田斧吉様御 役所	縦	野田斧吉御役所の奥書あり
に24	美濃国去年御年貢米御蔵納諸入用帳(2 月23日水揚同29日納、合米1970俵水揚 高)	天保六年未二月	1835	2	0	48	納名主忠兵衛・与藤治、納方会所	野田斧吉様御 役所	縦	野田斧吉御役所の奥書あり

に25	美濃国去午御年貢米御蔵納諸入用帳(3月2日水揚同8日納、合米2179表余水揚高)	天保六年未三月	1835	3	0	48 納名主忠兵衛・与藤治、納方会所	野田斧吉様御役所	野田斧吉御役所の奥書あり
に26	美濃国去午御年貢米御蔵納諸入用帳(2月晦日水揚3月5日納、合米2725表水揚高)	天保六年未三月	1835	3	0	48 納名主忠兵衛・与藤治、納方会所	野田斧吉様御役所	野田斧吉御役所の奥書あり
に27	美濃国去午御年貢米御蔵納諸入用帳(御膳御廻廻4788俵)	天保六年未三月	1835	3	0	48 納名主忠兵衛・与藤治、納方会所	野田斧吉様御役所	野田斧吉御役所の奥書あり
に28	〔美濃・伊勢国去午年貢代米御蔵納諸入用帳〕	天保六未年閏七月	1835	7	1	48 納方会所(印)	野田斧吉様御役所	前欠、破損あり、野田斧吉御役所の奥書あり
に29	一ノ手限り御普請御役人様御用状持人足仕出帳	天保七年申二月	1836	2	0	48 方県郡河渡宿	横長	
に30	手限り御普請御役人様御休泊仕出帳	天保七年申二月	1836	2	0	48 方県郡河渡宿	横長	
に31	過割取調帳(濃勢州川々御普請諸入用)	天保七年申四月廿二日改	1836	4	0	22 忠左衛門扣	縦	
に32	惣割調落取調帳(濃勢州急水留急破御普請諸入用)	天保九年戌十月	1838	10	0	48	横長	表紙「杏ノ手」、破損大
に33	当亥春定式御普請一村限金高帳	天保十年四月	1839	4	0	48 河渡宿控	縦	
に33	亥春役会所手当もの遣払帳	天保十年十二月十三日	1839	12	0	13	横長	
に34	去亥御廻米納一件之節別段臨時割賦帳	天保十一年子八月	1840	8	0	48 忠左衛門扣	縦	
に35	下用帳	天保十一年子十一月	1840	11	0	48 御宿長兵衛	御普請割惣代中様	横長
に36	未小入用取替小前帳	弘化四年十二月	1847	12	0	48	横長	縦じ紐切れ、後半部分紐からはずれている
に37	御下用并二御雑用帳	安政四丁巳年十一月	1857	11	0	48 梅屋又治(印:美濃大垣上口屋町梅又)	後藤幾四郎様、同(後藤)繁三郎様、同(後藤)御連中様	横長 破損大、挿入紙あり
に38	式番年々両節季払帳	文久三年癸亥七月(～明治11年)	1863	7	0	48 村木忠左衛門扣	横長	
に39	御蔵納高帳	万延元年十二月	1860	12	0	48 下総屋庄兵衛	村木忠兵衛様、若尾与藤治様	横長
に40	乍恐以書付奉願上候(川部村外7か村、曾我屋村地内横小堤争論などで難渋につき、板屋川通堤・根尾川逆水留込樋普請金の一部拝借願ひ)	(文久元年)	1861	99	0	98 安藤対馬守領分方県郡川部村庄屋清兵衛・市之進、年寄新蔵、百姓代継(力)蔵・七右衛門、上曾我屋村庄屋後見与左衛門、庄屋善六・与九郎・俊治、年寄孫兵衛・半七・郡治郎・弥平治、百姓代治郎兵衛、下曾我屋村庄屋後見庄次郎、庄屋忠右衛門・丈四郎、百姓代丈右衛門、又丸村庄屋後見小右衛門、庄屋幸平二、同(庄屋)見習半七、百姓代清右衛門・小七郎、上尻毛村庄屋後見甚作、庄屋啓作・甚吾、年寄只八、百姓代藤吉、東改田村庄屋太郎左衛門、同(庄屋)見習兼太郎・五郎兵衛、年寄五郎左衛門、百姓代周右衛門、本巢郡高屋村庄屋重兵衛・元治・嘉一郎、年寄勘左衛門・文之助、紋蔵、柱本村庄屋太郎左衛門、同(庄屋)見習嘉平二、年寄権三郎、百姓代十平	縦	
に41	覚(川々普請諸入用取調帳)		9999	99	0	98	縦	
に42	〔川々普請諸入用割賦差引帳〕		9999	99	0	98	縦	
に43	〔申年・午年分出金書付〕		9999	99	0	98	横長	
に44	賄之覚(役人など中山道通行時の賄い人数書付)		9999	99	0	98	横長	
に45	人力覚(日付、費用、行先など書付)	(明治13年9月15日～明治18年4月24日)	1880	9	0	15 北川文衛	横長	
に46	〔中間別割払金書付並びに出頭記〕	(明治10～13年)	1877	99	0	98	横長	挿入紙2点あり
に47	〔河渡・生津・高屋・馬場・柱本・上曾我屋・下曾我屋・寺田村諸入用割賦金など書付〕		9999	99	0	98	横長	
に48	〔小前渡覚など書付〕		9999	99	0	98	横長	
に49	惣割立会名前(濃勢州川々御普請惣代名書付)	(天保7年)二月十日出張	1836	2	0	10	一紙	

ほ1	安八郡神戸村内調一件書上帳(村高・家数・人別など書上)		9999	99	0	98		縦		
ほ2	安八郡神戸村柄之儀内調方被仰候二付及承候段乍恐口上書を以左二奉申上候(村高・新田高など書上)		9999	99	0	98		一紙	縦じ穴跡あり、ほ1(部分)の下書きと思われる	
ほ3	[安八郡神戸村村高・家数・人別など書上帳]		9999	99	0	98		縦	ほ1の下書きと思われる	
へ1	濃州方県郡河渡宿中山道渡船場御普請出来形帳	文化元子年三月	1804	3	0	48	辻六郎左衛門御役所(印)	方県郡河渡宿庄屋、問屋、年寄、百姓代	縦	表紙貼紙「文化元子年」
へ1	濃州方県郡河渡宿渡船場御普請出来形帳	文化三寅年五月	1806	5	0	48	三河口太忠笠松御役所(印)		縦	
へ1	中山道河渡宿渡船場御普請出来形帳	文化十二年亥四月	1815	4	0	48	河渡宿庄屋忠兵衛(印)・清兵衛(印)・年寄勘右衛門(印)・長兵衛(印)・忠次郎(印)・儀右衛門(印)	笠松御役所	縦	表紙貼紙「文化十二年」、笠松御役所の奥印あり
へ2	濃勢尾州川々御普請諸入用割賦帳	文化十三年子六月	1816	6	0	48	壱ノ手惣代山県郡三輪村伊右衛門、武儀郡八幡村助藏、各務郡芥見村三郎兵衛、二ノ手惣代厚見郡近島村甚左衛門、同(厚見)郡江口村元右衛門、同(厚見)郡東島村 市郎兵衛、三ノ手惣代安八郡西結村領八、同(安八)郡森部村彦三郎、大野郡石神村利左衛門、四ノ手惣代当所民次、羽栗郡西小熊村三郎右衛門、厚見郡西鶴村政藏、西ノ庄村十郎右衛門、五ノ手惣代安八郡曾根村多門、同(安八)郡築捨村次郎九、不破郡綾野村伝兵衛、六ノ手惣代安八郡豊喰新田善左衛門、同郡(海西郡九)野寺村弥兵衛、中島郡小藪村牧右衛門、七ノ手惣代多芸郡島田村九右衛門、石津郡牧田村五郎兵衛、多芸郡大野村宅次、八ノ手惣代石津郡高須村門右衛門、桑名郡金廻村富三郎、海西郡立野村金大夫、九ノ手惣代桑名郡大島村領助、同(桑名)郡西河村惣左衛門、同(桑名)郡六百新田金三郎、十ノ手惣代桑名郡香取村督之丞、同(桑名)郡上ノ郷村平藏、石津郡中島村平右衛門、十壱ノ惣代桑名郡上ノ輪村平五郎、同(桑名)郡大社村多之右衛門、同(桑名)郡中上村伝左衛門、十二ノ手惣代 同(桑名)郡富田一色善平、三重郡馳出村作兵衛、同(三重)郡采女村弥三郎、御郡代所惣立会各務郡前野村徳助、山県郡千疋村啓作、御用会所詰次右衛門・幸右衛門	笠松御郡代所	縦	
へ3	生津村・河渡村立会悪水吐込御普請仕様帳	文政六未年(4月)	1823	4	0	48	大垣御預役所	右(御預所本巢郡生津村・松下内匠様御支配所方県郡河渡村)庄屋・年寄	縦	
へ4	丑之春役御普請仕立帳	文政十二年三月	1829	3	0	48	村木忠兵衛扣		横半	
へ5	横手堤諸色盆前盆後改帳	文政十二年丑極月	1829	12	0	48	上曾我屋仲右衛門		横長	結び文あり、破損あり
へ6	中山道河渡宿渡船場御普請出来形帳	文政十三年寅七月	1830	7	0	48	河渡宿庄屋長兵衛(印)・忠兵衛(印)、後見庄屋年寄兼帯忠左衛門(印)、年寄儀右衛門(印)、百姓代勇八(印)	笠松御役所	縦	表紙貼紙「文政十三寅年」、表紙朱書「貳」、野田斧吉笠松御役所の奥印あり
へ7	有君様御下向二付中山道河渡宿渡船場御普請出来形帳	天保二卯年九月	1831	9	0	48	河渡宿庄屋長兵衛(印)・忠兵衛(印)、後見庄屋年寄兼帯忠左衛門(印)、年寄儀右衛門(印)、百姓代勇八(印)	笠松御役所	縦	表紙貼紙「天保二卯年」、笠松御役所の奥印あり
へ8	当巳之普請私帳	天保四年十二月	1833	12	0	48			横長	
へ9	川々御普請御掛り御役人様并御持場留帳	天保六年乙未十一月	1835	11	0	48			横半	
へ10	濃州方県郡河渡村・本巢郡生津村組合込樋御普請出来形帳	天保六年未十二月	1835	12	0	48	大井帯刀等分御預所濃州方県郡河渡村、戸田采女正御預所同州本巢郡生津村		縦	吟味方下役西村伴之助・御普請役渡辺又市・堤方役水野郡右衛門の奥印あり
へ11	御普請諸割符中金銀出入差引覚帳	天保七年申二月十日より	1836	2	0	10	村木忠左衛門扣		横長	縦じ紐の間に紙が挟まれている
へ12	御普請御役人様御休泊仕出帳	天保七年申二月	1836	2	0	48	方県郡河渡宿		横長	表紙朱書「下」

～13	一ノ手限り御普請御役人様人馬繼立仕出シ帳	天保七年申二月	1836	2	0	48	方県郡河渡宿		横長	表紙朱書「下」
～14	壺之手并御手切川々御普請人足貫并御泊尻抱仕出帳 会所調分	天保七年申二月	1836	2	0	48	村木忠左衛門扣		横長	
～15	濃勢州川々御普請諸入用割賦帳	天保七年申二月	1836	2	0	48	壺之手惣代濃州厚見郡近島村甚左衛門、笠松御役所方県郡河渡村忠左衛門、山県郡側島村五郎右衛門、式之手惣代羽栗郡笠松村吉十郎代小藪八右衛門、厚見郡西之庄村十郎右衛門、羽栗郡米野村與四郎、三之手惣代安八郡下宿村民之助代島田太右衛門、本巢郡真桑村万助、石津郡牧田村本平、四之手惣代石津郡万寿新田大助、同(石津)郡萱野村文九郎、勢州桑名郡金廻り村源十郎、五之手惣代桑名郡東平賀村佐太夫、同(桑名)郡袖井村源藏、同(桑名)郡大島村良左衛門、六之手惣代桑名郡加荷新田茂八郎、同(桑名)郡小林新田文九郎、同(桑名)郡加路戸新田伴七、七之手惣代三重郡浜田村林左衛門、員弁郡阿下喜村重五郎、朝明郡竹成村半十郎、山県郡千足村市郎兵衛、会所詰治左衛門・伊右衛門		縦	表紙「村木忠左衛門控」
～16	壺之限 川々御普請諸入用割賦差引帳	天保七年申三月	1836	3	0	48	各務郡各務村宇右衛門、加茂郡肥田瀬村平助、武儀郡八幡村助藏、山県郡側島村五郎右衛門、同(山県)郡世保村源三郎・同(山県)郡小倉村彦七・同(山県)郡東深瀬村弥左衛門、厚見郡近島村甚左衛門、同(厚見)郡東島村村助、方県郡河渡村忠左衛門、同(方県)郡則武村権吉、厚見郡日野村兵助、各務郡芥見村安右衛門		縦	表紙「村木忠左衛門控」、付箋が挟まれている
～17	酉之定式之手当 濃勢州川々御普請金高帳	天保八年三月	1837	3	0	48	村木忠左衛門控		縦	
～18	酉定式御手当 濃勢州川々御普請諸入用割賦帳	天保八年三月	1837	3	0	48			縦	～18-1(回)～(月)はこより紐で綴られている
～18	[濃勢州川々御普請諸入用取替帳]		9999	99	0	98			縦	
～18	一ノ手限 御普請御役人様御用状持并人馬繼立仕出シ帳	天保八年酉四月	1837	4	0	48	河渡宿扣		横長	
～19	御普請役名数附(役人名書付)	天保九年戌ノ三月吉日	1838	3	0	48	中山道河渡駅村木忠左衛門控		横半	「文政十二年改」とあり
～20	中山道河渡宿渡船馬船造替御普請目論見帳	天保九戌年三月	1838	3	0	48	柴田善之丞印	御勘定所	縦	表紙「笠松扣 柴田善之丞」
～21	濃勢州戌春定式御普請諸割賦取調諸用留帳	天保九年八月六日始メ	1838	8	0	6	壺之手惣代忠左衛門扣		横長	
～22	濃勢州戌定式御普請諸入用割賦帳	天保九年戌八月	1838	8	0	48	壺之手惣代近島村甚左衛門、河渡村忠左衛門、式之手惣代西結村民之丞、小倉村友右衛門、三之手惣代万寿新田大助、上ノ郷村平藏、御手限惣代各務村宇右衛門、立会惣代千足村市郎兵衛、御用会所源三郎・丈右衛門		縦	表紙「壺之手惣代村木忠左衛門控」
～23	壺之手急水留急破御普請手限諸入用割賦帳	天保九年戌十一月	1838	11	0	48			縦	
～24	濃勢州急水留急破御普請諸入用割賦帳	天保九年戌十月	1838	10	0	48	壺之手惣代戸田村栄助、河渡村忠左衛門、笠松村民治、式之手惣代小藪村八左衛門、三之手惣代金廻り源十郎、万寿新田大助、立会惣代千足村市郎兵衛、御用会所詰源三郎・丈右衛門		縦	表紙「一ノ手惣代忠左衛門控」
～25	当亥春板堰用水込樋伏替御普請出形帳	天保十亥年三月	1839	3	0	48	柴田善之丞御代官所濃州方県郡河渡村庄屋長兵衛(印)・忠兵衛(印)、庄屋兼帯年寄忠左衛門(印)、年寄儀右衛門(印)、百姓代勇八(印)	御普請御掛り御役人中様	縦	「御普請役高崎兵八(印)、堤方役戸津助太夫(印)・水野桂次郎(印)・野々村弁十郎(印)」の奥印あり
～26	濃勢州当亥春定式御普請諸入用割賦帳	天保十亥歳四月	1839	4	0	48	壺之手惣代則武村権吉、式之手惣代小藪村八左衛門、牧田村久兵衛、三之手惣代万寿新田大助、金廻り源十郎、立会惣代千足村市郎兵衛、御用会所詰丈右衛門、又左衛門		縦	表紙「河渡宿控」
～27	亥定式御普請諸入用手限割賦帳	天保十年十一月	1839	11	0	48	壺之手惣代則武村権吉(印)、河渡村忠左衛門、近島村甚左衛門(印)、上真桑村茂左衛門、只越村健治		縦	表紙「壺之手惣代村木忠左衛門控」

～28	惣廻り御普請御役人様御休泊并御用状持人馬繼立仕出シ帳	天保十一年子四月	1840	4	0	48 方県郡河渡村		横長	
～29	子定式丈夫附御普請諸入用手限割賦帳	天保十一年十月日	1840	10	0	48		縦	表紙「統合相済」
～30	濃州河渡村生津村組合悪水吐込御普請仕様帳	嘉永二酉年三月	1849	3	0	48 大垣御預役所(印)	右(柴田善之丞様御支配所濃州方県郡河渡・戸田采女正御預所濃州本巢郡生津)村庄屋、年寄	縦	「加藤織右衛門(印)、宮島六之助(印)」の奥印あり
～31	中山道河渡宿渡船場繼足其外御普請出来形帳(寿明君様下向につき)	嘉永三戌年十一月	1850	11	0	48 河渡宿問屋久右衛門(印)・八兵衛(印)、年寄長兵衛(印)・忠兵衛(印)・忠左衛門(印)・四郎右衛門(印)	笠松御役所	縦	表紙貼紙「嘉永二酉年」、柴田善之丞笠松御役所の奥印あり
～31	中山道河渡宿渡船場御屋形其外御普請出来形帳(寿明君様下向につき)	嘉永三戌年十一月	1850	11	0	48 河渡宿問屋久右衛門(印)・八兵衛(印)、年寄長兵衛(印)・忠兵衛(印)・忠左衛門(印)・四郎右衛門(印)	笠松御役所	縦	表紙貼紙「嘉永二酉年」、柴田善之丞笠松御役所の奥印あり
～32	御普請諸用留	嘉永三年戌九月	1850	9	0	48 村木忠左衛門控		横半	綴じ紐切れ
～33	宿口(内)築廻水除堤下目論見口(帳)	嘉永三年戌十二月	1850	12	0	48 河渡宿問屋久右衛門(印)・八兵衛(印)、年寄長兵衛(印)・忠兵衛(印)・忠左衛門(印)	笠松御役所	横長	表紙破損大
～34	宿並両側裏地上ヶ下目論見帳(坪数取調)	嘉永三年戌十二月	1850	12	0	48 河渡宿年寄忠兵衛・長兵衛、問屋八兵衛・久右衛門	笠松御役所	横長	表紙「不用」
～35	宿並両側裏地上ヶ下目論見帳(坪数取調)	嘉永三年戌十二月	1850	12	0	48 河渡宿年寄忠兵衛・長兵衛、問屋八兵衛・久右衛門	笠松御役所	横長	表紙「不用、中山道口〇〇(河渡宿)」
～35	中山道往還渡船場御普請出来形配賦	嘉永六丑年九月	1853	9	0	48 野村弁十郎(印)、水野桂次郎(印)	右(岩田鏝三郎御代官所濃州方県郡河渡)宿役人中	縦	表紙「河渡宿」、表紙貼紙「嘉永六丑年」
～36	濃州生津村河渡村組合悪水吐込御普請仕様帳	安政二卯年四月	1855	4	0	48 大垣御預役所(印)	右(戸田采女正御預所濃州本巢郡生津・岩田鏝三郎様御支配所濃州方県郡河渡)村庄屋、年寄	縦	
～36	曾我屋地内八ヶ村組合横小堤切所仮築諸色覚帳	安政三年辰二月	1856	2	0	48 河渡村控		横半	
～37	板屋川通根尾川逆水留堤築立人足并諸色留帳	文久元年酉十二月	1861	12	0	48 河渡村		横半	結び文あり、挿入紙2点あり
～37	中山道河渡宿渡船場御普請出来形配賦	文久元酉年六月	1861	6	0	48 堤方役戸沢鯛次郎(印)	右(河渡)宿役人中	縦	表紙「河渡宿」、表紙貼紙「文久元酉年」
～38	木田村福万ヨリ東改田村地内迄堤築立土坪割帳	文久元年酉十一月	1861	11	0	48 邨木忠左衛門控		横長	表紙朱書「五冊之内」
～39	拾五ヶ村組合柿ヶ瀬村堤土坪取調帳	文久元年酉十一月	1861	11	0	48 邨木忠左衛門控		横長	表紙朱書「五冊之内」、付札剥離注意
～40	拾五ヶ村組合木田村々前堤土坪取調帳	文久元年酉八月	1861	8	0	48 邨木忠左衛門控		横長	表紙朱書「五冊之内」
～41	拾五ヶ村組合黒野村地内堤築立土坪割	文久二年戌二月	1862	2	0	48 邨木忠左衛門控		横長	表紙朱書「五冊之内」、付札剥離注意
～42	拾五ヶ村組合板谷川通堤築立土坪平均帳	文久二年戌六月	1862	6	0	48 邨木忠左衛門控		横長	表紙朱書「五冊之内」
～43	堅田より柳田迄伏越新江筋鋪地小前帳	慶応二年寅十月	1866	10	0	48		横長	
～44	悪水路掘割組合場所割帳	慶応二年寅十月	1866	10	0	48 村木控		横半	
～45	天王川通板堰用水込御普請出来形帳	慶応二寅年三月	1866	3	0	48 岩田鏝三郎御代官所濃州方県郡河渡村百姓代勇八(印)、年寄勘右衛門(印)・式太郎(印)・儀右衛門(印)・泰治郎(印)、同(年寄)後見四郎右衛門(印)、庄屋広助(印)・忠右衛門(印)、同(庄屋)後見忠兵衛(印)	御普請御掛り御役人様	縦	御普請役田中広三郎、丹羽幸八郎、石黒喜十郎、小林源之助、同見習 小比賀次郎、御普請役伐り永井尊蔵、堤方役横井兵八郎、戸沢鯛次郎、名和弥太郎の奥印あり
～46	御普請目論見帳(姫宮下向にて渡船場普請)		9999	99	0	98		縦	剥離紙あり、表紙「下々書」
～47	[長良・根尾・糸貫川堤普請目論見帳力]		9999	99	0	98		縦	
～48	[濃勢州川々御普請金高帳]		9999	99	0	98		縦	
～48	当子春役御堤丈夫附 御普請御休泊人馬繼立帳		9999	99	0	98 方県郡則武村		横長	天保11年のものカ

へ49	乍恐以書付御款願奉申上候(下奈良村新 畑川欠手当として新規川除普請は差止め 願い下書)	嘉永四年亥六月	1851	6	0	48 当御支配所方県郡河渡村庄屋長兵衛・忠 兵衛、庄屋兼年寄忠左衛門、戸田采女正 御預所本巢郡生津村庄屋后平右衛門・前 治三郎、只越村庄屋十郎兵衛、年寄正作	笠松堤方御役 縦 所	1枚目破損あり
へ50	加納領下奈良村新規杭出御願申上候二 付差障御願書写	嘉永四年亥六月	1851	6	0	48 庄屋長兵衛扣	縦	
へ51	乍恐以書付奉願上候(下奈良村地内長良 川通新畑欠留にて新規勝手普請、差障り 分取払うようにつき)	嘉永五年子六月	1852	6	0	48 当御支配所方県郡河渡村庄屋長兵衛・忠 兵衛、同断(庄屋)年寄兼忠左衛門、戸田 采女正御預所本巢郡生津村庄屋治三 郎、同断(本巢郡)只越村庄屋祐平、同断 (本巢郡)別府村庄屋権左衛門、同断(本 巢郡)前野村庄屋正右衛門、上穂積村庄 屋四郎左衛門、下穂積村庄屋一郎左衛門	縦	
へ52	内済規定書(河渡村・前野村外5か村より 下奈良村相手取り新規川除普請差障り一 件訴訟の処、杭出長さ取極めなどにつき)	嘉永六丑年九月	1853	9	0	48 訴答・取扱人・郷宿連印	多良・笠松御 縦 役所	
へ53	乍恐以書付御吟味下奉願上候(糸貫川北 方村地内堤切入り、河渡村外7か村水防 中に口論あり河渡村百姓太三郎ら疵を受 けるにて訴訟の処、熟談につき)	嘉永七寅年七月	1854	7	0	48 戸田隼人正知行濃州本巢郡北方村町役 甚九郎・安左衛門、組頭佐兵衛、惣年寄 佐左衛門・惣治郎、庄屋八三郎・丈右衛 門、安藤長門守領分方県郡寺田村百姓代 市兵衛、年寄平五郎、庄屋円之丞、下曾 我屋村百姓代丈右衛門、庄屋丈四郎・庄 治郎、上曾我屋村百姓代治郎兵衛、年寄 孫兵衛、庄屋与九郎、本巢郡柱本村百姓 代利右衛門、年寄福治郎、庄屋太郎左衛 門、高屋村百姓代藤兵衛、年寄文之助、 庄屋重兵衛、馬場村百姓代由兵衛、庄屋 源十郎、孫右衛門、戸田采女正御領所同 州本巢郡生津村百姓富右衛門倅疵人武 助、同人親類百姓佐助、百姓助三郎倅疵 人和助、同人親類百姓藤兵衛、百姓代多 左衛門、年寄六兵衛、庄屋平右衛門・助 之丞、当御代官所方県郡河渡村百姓弥吉 倅疵人菊五郎、同人親類百姓七郎平、百 姓疵人太三郎、同人親類百姓市太郎、百 姓代宇右衛門、年寄四郎右衛門、庄屋兼 年寄忠左衛門、庄屋忠兵衛・長兵衛、尾 張殿領分同州本巢郡曾井中島村庄屋扱 人八郎治、安藤長門守領分同州方県郡小 西郷村庄屋同(扱人)当三郎、当御代官 所同州同(方県)郡古市場村庄屋同(扱 人)助三郎	岩田鐵三郎様 一紙 御役所	継目はがれあり、端裏「本巢郡北方村堤切崩一件」
へ54	差上申済口証文之事(河渡村・前野村外5 か村より下奈良村・江崎村などへの長良 川通水行差障出入り一件、新規の規定に て川東西村々熟談につき)	嘉永七寅年九月	1854	9	0	48 訴答村々連印	水野桂治郎 縦 様、田中助吉 様、三和六左 衛門様、小寺 勇様、平塚武 左衛門様	結び文、剥離紙あり

～55	差上申一札之事(系貫川北方村地内堤切 入訴訟の処、北方村内にて堤切落としの者 なきなどにて訴訟願ひ下け一同承知につ き)	嘉永七年寅九月廿七日	1854	9	0	27	戸田隼人正知行濃州本巢郡北方村町役 甚九郎・安左衛門、組頭佐兵衛、年寄佐 左衛門、惣治郎、庄屋八三郎、丈右衛門、 安藤長門守領分同州方巢郡寺田村百姓 代市兵衛、年寄平五郎、庄屋内之丞、下 曾我屋村百姓代丈右衛門、年寄丈四郎、 庄屋庄治郎、上曾我屋村百姓代治郎兵 衛、年寄孫兵衛、庄屋与九郎、本巢郡柱 本村百姓代利右衛門、年寄福治郎、庄屋 太郎左衛門、馬場村百姓代由兵衛、年寄 源十郎、庄屋孫右衛門、戸田采女正御預 所本巢郡生津村百姓富右衛門倅疵人武 助、同人親類佐助、百姓助三郎倅疵人和 助、同人親類 藤兵衛、百姓代太左衛門、 年寄六兵衛、庄屋平右衛門、助之丞、当 御代官所方巢郡河渡村百姓弥吉倅疵人 菊五郎、同人親類七郎平、百姓疵人太三 郎、同人親類市太郎、百姓代宇右衛門、 年寄四郎右衛門、庄屋年寄兼 忠左衛門、 庄屋忠兵衛・長兵衛、尾張殿領分本巢郡 曾井中島村庄屋抜人 八郎治、安藤長門 守領分方巢郡小西郷村庄屋 同(抜人)当 三郎、当御代官所同(方巢)郡古市場村庄 屋(抜人)助三郎	岩田鐵三郎様 縦 笠松御役所	
～56	《願書》	嘉永7年7月	1854	7	0	48			現在所在不明
～57	仮議定証文之事(系貫川北方村地内堤切 入り訴訟の処、長谷川通逆水対策・怪我 人の養生料など取り決め内済につき)	嘉永七寅年七月十日	1854	7	0	10	北方村庄屋八三郎(印)・丈右衛門(印)、 同(北方)町方惣年寄惣次郎(印)	河渡村外七ヶ 一紙 村御村役人衆 中	「古市場村庄屋助三郎(印)・小西郷村庄屋当三郎(印)・曾井 中島村庄屋八郎次(印)」の奥印あり
～58	[曾我屋村地内横小堤訴訟にて上・下郷 の村々内熟の処、上郷の内川部村外5か 村故障申すにて、今一応理解仰せ聞かせ るよう願書下書]	安政三辰年十二月	1856	12	0	48	内熟相願候拾四ヶ村役人連印	笠松堤方御役 一紙 所	前欠
～59	堤方御役所より差出す御請証文写(曾我 屋村地内横小堤定杭打替え・切所仮築き の儀、規定通り出来につき)	安政三辰辰四月	1856	4	0	48	濃州河渡村外七ヶ村	縦	表紙付紙「第四号 第五号」
～60	乍恐書付を以奉願上候(組合堤水防手当 諸色蔵、近年水附により上曾我屋村際か ら6か村組合整堤の内に場所替えにつき)	安政四巳年四月十六日	1857	4	0	16	当御支配所方巢郡河渡村、戸田采女正御 預所本巢郡生津村、安藤対馬守領分同 (本巢)郡高屋村、馬場村、柱本村、方巢 郡上曾我屋村、下曾我屋村、寺田村、右 八ヶ村惣代河渡村村庄屋兼年寄忠左衛 門、生津村庄屋 助之丞	堤方御役所 縦	
～61	乍恐以書付御届奉申上候(曾我屋村地内 横小堤訴訟の義、上郷の内交人村外5か 村は熟談にて、向後横土手差障りの儀は 除村仰せ付けるようにつき)	安政四巳年四月	1857	4	0	48	当御支配所方巢郡古市場村庄屋助三郎、 交人村庄屋清市、尾州御領同(方巢)郡折 立村庄屋常之進、三ツ又分庄屋勝治、本 庄安芸守領分方巢郡今川村庄屋記七、安 藤対馬守領分同(方巢)郡黒野村庄屋利 左衛門、上曾我屋村庄屋善六、下曾我屋 村庄屋忠右衛門、寺田村年寄又之丞、本 巢郡柱本村庄屋太郎左衛門、馬場村 庄 屋孫右衛門、高屋村庄屋重兵衛、戸田采 女正御預所本巢郡生津村庄屋助之丞、当 御支配所方巢郡河渡村庄屋長兵衛・忠兵 衛	堤方御役所 縦	
～62	乍恐以書付奉願上候(曾我屋村地内横小 堤切所築き立ての儀、追々大雨出水にな るにて輪中小前の者ども騒ぎ立てにて、築 き立て儀仰せ付けるようにつき)	安政四巳年五月	1857	5	0	48	当御支配所方巢郡河渡村庄屋忠兵衛、庄 屋年寄兼忠左衛門、戸田采女正御預所本 巢郡生津村庄屋助之丞、安藤対馬守領 分同(本巢)郡馬場村庄屋源六	縦	
～63	古市場村外五ヶ村堤方御役所へ差出候 横小堤熟談方心得書付写(曾我屋村地内 横小堤出入熟談、差し障りなきにて除村 願ひにつき届)	安政四巳年五月	1857	5	0	48	当御支配所方巢郡古口(市)場村口(庄) 屋助三郎、同(方巢)郡口口口(交人村)口 (庄)屋清市、尾州御領同(方巢)郡折立村 村庄屋常之進、同(方巢)郡三ツ又分庄屋勝 次、本庄安芸守領分同(方巢)郡今川村庄 屋記七、安藤対馬守領分同(方巢)郡黒野 村庄屋利左衛門	笠松堤方御役 縦	破損あり、表紙「河渡口(村)外七ヶ口口口口(村組合控)」
～64	川部村外五ヶ村堤方御役所へ差上候横 小堤熟談方心得書付写(曾我屋村地内横 小堤出入熟談にて、横小堤規定の定尺の 通り取繕うなど書付)	安政四巳年五月	1857	5	0	48	川部村、又丸村、上尻毛村、東改田村、下 尻毛村、木田村、右六ヶ村惣代川部村庄 屋清兵衛、又丸村庄屋小右衛門、東改田 村庄屋五郎左衛門、上尻毛村年寄只助	堤方御役所 縦	表紙「河渡村外七ヶ村組合控」

へ65	仮約定之事(木田村地内板谷川通新堤築 立方下知済み、糸貫川北方村地内堤切入 の梅田堤一件熟談にて堤修復諸入用の 割合など取極めにつき)	文久元酉年八月	1861	8	0	48	北方村町役平左衛門(印)、組頭佐兵衛 (印)、庄屋八三郎(印)・丈右衛門(印)、 河渡村外七ヶ村惣代 上曾我屋村年寄弥 平次(印)、馬場村庄屋孫右衛門(印)、生 津村庄屋 民蔵(印)	御立入人 助 三郎殿・当三 郎殿	一紙	は26はへ65の写
へ66	乍恐以書付奉願上候(河渡村外7か村より 川部村外5か村へ訴訟の件、曾我屋村地 内横小堤規定通り高守るにて示談願いに つき下書)	文久元酉年九月	1861	9	0	48	岩田鐵三郎御代官所濃州方県郡河渡村 外七ヶ村惣代右河渡村庄屋口(年)寄兼 口口口口(忠左衛門)、安藤対馬守領分同 州同(方県)郡川部村庄屋[]、木田 村同(庄屋)相手齋之進	御奉行所様	切紙	破損あり
へ67	差入申一札之事(去戌12月中に曾我屋堤 普請にて中島村草野の土を運ぶ処、境を 越えて一日市場村の土取りにて出訴、勘 弁につき)	文久三亥年三月	1863	3	0	48	厚見郡江口村久左衛門印、中島村忠右衛 門印	一日市場村御 村役人中	切紙	端裏「江口村中島村差入申書面之下書」
へ68	糸貫川伏越江下ケ一件歎願書并内熟談 証文写	慶応元年丑十一月	1865	11	0	48	村木忠左衛門扣		縦	
へ69	乍恐以書付御歎願奉申上候(河渡・馬場・ 生津村は長良・糸貫川に取巻かれた輪中 低地にて、近來川床高く自然と悪水入るに つき、糸貫川伏越悪水抜普請願い)	慶応元年丑十月	1865	10	0	48	河渡村、馬場村、生津村	笠松堤方御役 所	一紙	もとは縦の一部と思われる、破損あり
へ70	為取替申一札之事(糸貫川伏越樋並びに 夕べ池天王川へ切落し願いの処、文化年 中の裁許を守り、銘々勝手儀取敢らな いようにつき)	慶応元年十一月	1865	11	0	48	岩田鐵三郎御代官所方県郡河渡村庄屋 後見忠兵衛(印)、戸田助三郎御預所本巢 郡生津村庄屋久米助(印)、岩田鐵三郎御 代官所方県郡寺田村庄屋此蔵(印)、安 藤理三郎領分同(方県)郡上曾我屋村庄 屋与九郎(印)、同(方県)郡下曾我屋村庄 屋忠右衛門(印)		一紙(包紙共)	包紙「慶応元丑十一月 比津免御裁許場所為取替証文」、包紙 は反故紙使用
へ71	乍恐以書附御届奉申上候(糸貫川伏越樋 目論見、悪水吐き普請願いの処、天王川 へ切り落とすの悪水は天明・文化年間の 取極場所に溜まること無いようにつき)	慶応二寅年二月	1866	2	0	48	当御支配所方県郡河渡村庄屋後見忠兵 衛、寺田村庄屋此蔵、戸田助三郎御預所 本巢郡生津村庄屋久米助、安藤理三郎 領分方県郡上曾我屋村庄屋 与九郎、下 曾我屋村庄屋丈四郎	笠松御役所	縦	「天明四辰年取極候字北方道、文化六巳年御裁許被仰付候字 比津免」とあり
へ72	乍恐以書付奉願上候(長良川・糸貫川通 堤切所并大穴所川除籠猿尾など来辰春 役伏越普請の儀出来の処、今般見分済 み、人足賃など普請金内借願い)	(安政2年)卯十二月	1855	12	0	48	当御支配所方県郡河渡村庄屋長兵衛・忠 兵衛、庄屋年寄兼忠左衛門、百姓代宇右 衛門、戸田采女正御預所本巢郡生津村 庄屋平右衛門、年寄代 弥兵衛、百姓代太 左衛門、同(本巢)郡前野村庄屋源右衛 門・弥三郎、年寄岩口衛門	笠松堤方役所	一紙	破損あり
へ73	乍恐以書付奉願候(輪中村々出水の度 に水難嵩み難渋し、往還通り差し支えなど あり、今回限り普請組入り願上げなどにつ き)	(当申)	9908	99	0	98			切紙	継目はがれ
へ74	奉差上候御請一札之事(下奈良村地内長 良川附普請差障の義、川除普請新規分は 多良役人立金見分し取払の旨仰せ渡しに つき)	(嘉永5年)	1852	99	0	98			一紙	下書
へ75	下奈良村新規普請相仕立差障候二付組 合規定左之通(諸入用の割賦・諸向勤め の惣代人數など取決め事項)	(嘉永4~安政元年カ)	1851	99	0	98			切紙	
へ76	口上之覚(江崎村地先川端普請の杭籠出 しは古形にて取払わずと申す処、川西方 村々古形にて差止め、差別なく沙汰する よう願いにつき)	(嘉永4~安政元年カ)	1851	99	0	98			縦	
へ77	差上申仮御請書之事(下奈良村地内長良 川附川欠留の義、差障りの有無糾す処、 枠出6か所故障なきにつき)	嘉永五子年七月	1852	7	0	48	当御支配所方県郡河渡村庄屋兼年寄忠 左衛門、戸田采女正御預所本巢郡生津村 庄屋平右衛門、同(戸田采女正御預所本 巢郡)只越村年寄正作、同(戸田采女正 御預所本巢郡)前野村兼別府村年寄宅右 衛門、同(戸田采女正御預所本巢郡)上穂 積村庄屋惣四郎、同(戸田采女正御預所 本巢郡)下穂積村庄屋一郎兵衛	笠松堤方御役 所	縦	「村木忠左衛門扣」とあり、「絵図面之下ケ札之事」の書付添付
へ78	乍恐以書付奉願上候(長良川通江崎村・ 下奈良村地先川除普請にて川瀬傾き、難 渋迷惑にて規定の通り取払うようにつき)	(安政元年)寅六月	1854	6	0	48	当御支配所方県郡河渡村庄屋長兵衛、戸 田采女正御預所本巢郡生津村庄屋助之 丞、同(本巢)郡只越村、同(本巢)郡別府 村庄屋権左衛門、同(本巢)郡前野村、同 (本巢)郡上穂積村庄屋源右衛門、同(本 巢)郡下穂積村	笠松堤方御役 所	縦	「村木忠左衛門扣」とあり

へ79	乍恐以書付奉願上候(江崎村猿尾新規繼足・下奈良村新規普請などにて水勢傾き、川西方村々難洪にて新規分取除くようにつき)	(安政元年)寅六月	1854	6	0	48	生津村、只越村、別府村、前野村、上穂積村、下穂積村、右村々惣代生津村庄屋平右衛門、別府村庄屋代民五郎、上穂積村年寄岩右衛門、下穂積村年寄源八	大垣御預御役所	縦	
へ80	川方一件趣意書(河渡村・前野村外5か村、下奈良村相手取り普請差障り一件済口証文、川西村々來寅春役御普請ヶ所・拝借金覚)	(安政元年)	1854	99	0	98			縦	剥離紙あり、へ81と同内容
へ81	川方一件趣意書(河渡村・前野村外6か村、下奈良村相手取り普請差障り一件済口証文、川西村々來寅春役御普請ヶ所・拝借金覚)	(安政元年)	1854	99	0	98			縦	へ80と同内容
へ82	覚(小島村堤など土坪数取調書)	(文久3年)亥七月	1863	7	0	48	方県郡小島村		縦	
へ83	御城下町在用悪水路堀割御普請願書(利根川附村々、近年堤内悪水湛え田畠水腐れ難洪につき)	(酉11月7日)	9909	11	0	7	久世出雲守領分下総国葛飾郡関宿江戸町・台町・元町・内町・東高野村・西高野村、新田戸村、中戸村、桐ヶ作村、古布内村、同(久世出雲守)領分同(下総)国猿島郡境町、小山村、鎌打村、大草太郎左衛門御代官所同(下総)国葛飾郡木間ヶ瀬村、同(大草太郎左衛門)御代官所都築熊之助知行所同(下総)国同(葛飾)郡中里村、岩田鐵三郎御代官所同(下総)国同(葛飾)郡上三ヶ尾村、下三ヶ尾村、同(岩田鐵三郎)御代官所三橋運之助・一色邦之助知行所同(下総)国同(葛飾)郡西三ヶ尾村、岩田鐵三郎御代官所・一色邦之助知行所同(下総)国同(葛飾)郡二ツ塚村、右五ヶ町・拾四ヶ村惣代右境町組頭五郎兵衛、江戸町名主八郎兵衛、台屋町同(名主)助藏	御奉行所	縦	表紙「此一冊八十一月七日福岡様より御貸下有之候下総国関宿領其外願書之下也」
へ84	乍恐以書付奉申上候(下奈良村新畑川除新規普請など川西村々難洪迷惑にて取払うようにつき)	(嘉永5年カ)	1852	99	0	98	村木忠左衛門扣		縦	
へ85	為取替申内熟証文之事(加納領水門組合村々より江下げ普請願あり、河渡村など糸貫川伏越築立てあるにて水行差障りの儀は相互勘弁にて内熟につき)	(慶応元年)	1865	99	0	98			一紙	もとは縦の一部と思われる
へ86	[下奈良村地内長良川附普請差障り場所見聞願いの趣は承知、近日多良役人見分の上、取払い申渡すようにつき書状]	(嘉永5年)子七月	1852	7	0	48	右田伴右衛門、森川春右衛門	河渡村・生津村・只越村・別府村・上穂積村・下穂積村・右村之庄屋・年寄・百姓代中	折紙	
へ87	乍恐以書付御届奉申上候(大雨により長良川・糸貫川出水し、曾我屋村地内横小堤大破にて築き立て願ひ)	安政四巳年五月	1857	5	0	48	当支配所方県郡河渡村、戸田采女正御預所本巢郡生津村、安藤對馬守領分同(本巢)郡馬場村、高屋村、柱本村、方県郡上曾我屋村、下曾我屋村、寺田村、右八ヶ村惣代河渡村庄屋忠兵衛、生津村庄屋助之丞、高屋村庄屋重兵衛	堤方御役所	縦	
へ88	乍恐以書付奉願上候(小島村渡船場の船人手遠にて不便により渡船場最寄の者へ引き替えたきにつき歎願)		9999	99	0	98			縦	
へ89	[河渡輪中、天王川筋悪水・糸貫川伏越などなどの水損凌ぎ方の儀は相互に納得熟談につき内済証文]	(慶応元年)	1865	99	0	98			縦	

へ90	乍恐以書付御吟味下ヶ奉願上候(糸貫川 北方村地内堤切り、河渡村外7か村水 防中に口論あり河渡村百姓太三郎ら疵を 受けるにて訴訟の処、熟談につぎ)	嘉永七寅年七月	1854	7	0	48	戸田隼人正知行所濃州本巢郡北方村町 役甚九郎、安左衛門、組頭佐兵衛、惣年 寄佐左衛門・惣治郎、庄屋八三郎・文右 衛門、安藤長門守領分同州方巢郡寺田村 百姓代市兵衛、年寄平五郎、庄屋円之 丞、下曾我屋村百姓代文右衛門、庄屋文 四郎・庄治郎、上曾我屋村百姓代治郎 平、年寄孫兵衛、庄屋与九郎、同州本巢 郡柱本村百姓代利右衛門、年寄福治郎、 庄屋多郎左衛門、高屋村百姓代藤兵衛、 年寄文之助、庄屋十兵衛、馬場村百姓代 由兵衛、庄屋源十郎・孫右衛門、戸田采 女正御預所同州本巢郡生津村百姓代多 右衛門伴疵人武助、同人親類百姓佐助、 百姓助三郎伴疵人和助、同人親類百姓 藤兵衛、百姓代多左衛門、年寄六兵衛、 庄屋平右衛門・助之丞、当御代官所同州 方巢郡河渡村百姓弥兵衛伴疵人菊五 郎、同人親類百姓七郎平、百姓疵人多三 郎、同人親類百姓市太郎、百姓代卯右衛 門、年寄四郎右衛門、庄屋年寄兼忠左衛 門、庄屋忠兵衛・長兵衛、尾州殿領分同 州本巢郡曾井中島村庄屋扱人八郎治、安 藤長門守領分濃州方巢郡小西郷村庄屋 当三郎、当御代官所同州同(方巢)郡古 市場村庄屋助三郎	岩田鐵三郎様 縦 笠松御代官所	へ53の写カ
へ91	濃勢州急破御普請諸入用割賦帳	天保十年亥十月	1839	10	0	48	卷之手惣代則武村権吉印・世保村源三郎 印、二之手惣代古橋村治部助代西結村武 左衛門印、三之手惣代堀津村吉兵衛印、 四之手惣代小敷村八左衛門印、万寿新田 代助印、五之手惣代日原村善左衛門印、 六之手惣代金廻村源十郎印、立会惣代千 疋村市郎兵衛印、御用会所詰文右衛門 印・又左衛門印	笠松御役所 縦	表紙「卷之手惣代村木忠左衛門控」
ち1	着船当座戸留帳 二番	天保五年午十二月	1834	12	0	48	村木忠左衛門控	横長	
ち2	江戸笠松御役人様御泊り休井人足継立帳	天保十亥年十月	1839	10	0	48	牛牧村	横長	
ち3	御尋二付奉申上候書付(御用御通行時の 渡船増船触下の村々、馬船・歩行船賃な ど書付)	天保十四卯年二月	1843	2	0	48	柴田善之丞代官所中山道河渡宿年寄 四 郎右衛門(印)・權右衛門(印)・勘右衛門 (印)・忠左衛門(印)・忠兵衛(印)・長兵衛 (印)、間屋八兵衛(印)・久右衛門(印)	縦	表紙朱書「下帳」
ち4	[和宮下向の節に渡船場普請役方などへの 謝礼金の儀につき申渡書、並びに宿村 諸入用夫銭割に利解くださるようなどにつ ぎ願書]	(慶応3年11月~明治元 年12月)	1867	11	0	48		縦	
ち5	乍恐以書付奉願上候(御用通行時の渡船 増船触下村の東島村が関ヶ原宿助郷仰 付けにより船助郷断りにて、これまでの通 り勤めるよう掛合願い)	(慶応3年)	1867	99	0	98		縦	
ち6	[先触人足数・道法など覚帳]	(正月9日~2月17日)	9999	1	0	9		横長	
ち7	[継立・荷物水揚人足賃銭など覚帳]	(申7月6日~酉2月21 日)	9908	7	0	6		横長	
ち8	日向屋分(川船賃金覚帳)		9999	99	0	98		横長	
ち9	覚(堤方役・普請役送り人足賃銭など取り 計らい願)	四月十六日	9999	4	0	16	上真桑村役人	河渡駅御庄屋 切紙 長兵衛様	ぬ136と関連
ち10	[往還通水附場所・渡船場出水の訳調上 書控]	(安政5年)午六月七日	1858	6	0	7	呂久村馬淵治郎右衛門、同(呂久)村名主 伝八	美江寺宿御問 縦 屋松井万平殿	
り1	略縁記(御嶽開山覚名菩薩持參一命石の 縁起)	天明五年丙午五月	1785	5	0	48	東濃中津川横坂佐次兵衛	一紙	印刷物、「西枇杷島常泉院」とあり
り2	立木積覚	文化十癸酉年間霜月十 四日	1813	11	1	14		横半	
り3	家元四十世瓶隠院殿法印専定師七回忌 追薦供華位次	天保九年歳在戊戌秋八 月二十有五日同六日	1838	8	0	25		横半	印刷物
り4	八門遁甲捷覧全	天保十三壬寅歳孟春	1842	1	0	48	吉斎奥山先生著術	一紙	紙質劣化、木版、「尾春星堂梓行」「書林江戸須原屋茂兵衛、 京都近江屋佐太郎、大阪敦賀屋左兵衛・河内屋直助・細屋茂 兵衛・藤屋善七」とあり

り5	偽書一件二付西順寺手続口上書写(西順寺に馴染みの者が牛頭天王社領の書付の偽書を作るにつき詫ひ状)	弘化二巳年十月十五日	1845	10	0	15	北方村西順寺印	長屋村平左衛門殿	縦	
り6	[江戸暦]	弘化四丁巳歳	1847	99	0	98			一紙	「江戸暦開板所鱗形屋小兵衛(印)」とあり
り7	[種痘趣意書]	嘉永三戌二月日	1850	2	0	48	濃州方県郡城田寺村河田熊碩(印)		一紙	『岐阜県史料編近世八』p.680、『岐阜市史通史編近世』pp.583～584に収載
り8	《算盤小割書留》	文久2年8月	1862	8	0	48				現在所在不明
り9	御宝前永代大々御神楽執行之図		9999	99	0	98			一紙	印刷物、「国府宮家福運中」とあり、35.0×47.0cm
り10	御宝録全(方広寺大仏殿御内仏開帳につき)	天保三歳辰三月	1832	3	0	48			縦	印刷物、「豊田秀吉公御装束類・御手道具類、韓人装束類、此外宝器数品、右於御殿内拝覧」とあり
り11	桶狭間古碑ノ縮図	文化(13年)丙子五月十九日	1816	5	0	19	十歳童仙田善謹写		一紙(帯封共)	印刷物
り12	《俳句》		9999	99	0	98				現在所在不明
り13	《心学麓の近ミチ》		9999	99	0	98				現在所在不明、『岐阜県史通史編近世下』p.1131、『岐阜市史通史編近世』p.576に収載
り14	[常磐津寄・[月+爰+皿]話水滸伝]		9999	99	0	98			縦	[月+爰+皿]話水滸伝の読み:じだいせわすいこでん
り15	玉多須幾(五十音の発音・音韻教科書)		9999	99	0	98	鷲見忠能		縦	印刷物
り16	文化五年つちのえたつの寛政暦	文化四年出	1807	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田村松左京	河渡 村木忠左衛門様	折本	題箋「文化五戊辰暦」、宛名は表紙の貼紙より
り17	文化十二年きのとりの寛政暦	(文化11年出)	1814	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田村松左京		折本	題箋「文化十二乙亥暦」、4枚継、4枚目に「文政五年出」とあり、3・4枚目は、り25の「文政六みつとのひつしの寛政暦」3・4枚目と思われる
り18	文化十三年ひのえねの寛政暦	文化十二年出	1815	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田村松左京		折本	題箋「文化十三丙子暦」
り19	文化十四ひのえの寛政暦	文化十三年出	1816	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田村松左京		折本	題箋「文化十四丁丑暦」、継目はがれ、4枚継
り20	文化十五つちのえとらの寛政暦	文化十四年出	1817	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田村松左京		折本	題箋「文化十五戊寅暦」
り21	文政二年つちのえとらの寛政暦	(文政元年出)	1818	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田村松左京		折本	題箋「文政二己卯」、継目はがれ、4枚継、4枚目に「文化十一年出」とあり、3・4枚目は、り17の「文化十二年きのとりの寛政暦」3・4枚目と思われる
り22	文政三年かのえたつの寛政暦	文政二年出	1819	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田村松左京		折本	題箋「文政三庚辰暦」
り23	文政四年かのえのみの寛政暦	文政三年出	1820	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田村松左京		折本	題箋「文政四辛巳暦」、継目はがれ、4枚継、虫損あり
り24	文政五年みつのえむまの寛政暦	文政四年出	1821	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田村松左京		折本	題箋「文政五壬午暦」
り25	文政六年みつとのひつしの寛政暦	(文政5年出)	1822	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田村松左京		折本	題箋「文政六癸未暦」、継目はがれ、3枚継、3枚目に「文政元年出」とあり、3枚目は、り21「文政二年つちのえとらの寛政暦」3枚目と思われる
り26	文政七年きのえさるの寛政暦	文政六年出	1823	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田村松左京		折本	題箋「文政七甲申暦」、継目はがれ、4枚継
り27	文政八年きのとりの寛政暦	文政七年出	1824	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田村松左京		折本	題箋「文政八乙酉暦」
り28	文政九年ひのえいぬの寛政暦	文政八年出	1825	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田村松左京		折本	題箋「文政九丙戌暦」
り29	文政十二年つちのとりの寛政暦	文政十一年出	1828	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田村松左京		折本	題箋「文政十二己丑暦」、継目はがれ、5枚継
り30	文政十三年かのえとらの寛政暦	文政十二年出	1829	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田村松左京		折本	題箋「文政十三庚寅暦」
り31	文政十四年かのえとらの寛政暦	文政十三年出	1830	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田村松左京		折本	題箋「文政十四辛卯暦」
り32	天保三年みつのえたつの寛政暦	天保二年出	1831	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田村松左京		折本	題箋「天保三壬辰暦」
り33	天保四年みつとのみの寛政暦	天保三年出	1832	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田村松左京		折本	題箋「天保四癸巳暦」
り34	天保五年きのえむまの寛政暦	天保四年出	1833	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田村松左京		折本	題箋「天保五甲午暦」
り35	天保六年きのとりのひつしの寛政暦	天保五年出	1834	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田村松左京	村木忠左衛門様	折本	題箋「天保六乙未暦」、宛名は裏表紙の貼紙より
り36	天保七年ひのえさるの寛政暦	天保六年出	1835	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田飛鳥帯刀	河渡 村木忠左衛門様	折本	題箋「天保七丙申暦」、宛名は表紙の貼紙より
り37	天保八年ひのとりの寛政暦	天保七年出	1836	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田飛鳥帯刀	河渡 村木忠左衛門様	折本	題箋「天保八丁酉暦」、宛名は表紙の付札より
り38	天保九年つちのえいぬの寛政暦	天保八年出	1837	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田飛鳥帯刀		折本	題箋「天保九戊戌暦」、継目はがれ、5枚継
り39	天保十年つちのとりの寛政暦	天保九年出	1838	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田飛鳥帯刀		折本	題箋「天保十己亥暦」
り40	天保十一年かのえねの寛政暦	天保十年出	1839	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田飛鳥帯刀		折本	題箋「天保十一庚子暦」
り41	天保十二年かのえとりの寛政暦	天保十一年出	1840	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田飛鳥帯刀	村木忠左衛門様	折本	題箋「天保十二辛丑暦」、宛名は表紙の付札より
り42	天保十三年みつとのえとらの寛政暦	天保十二年出	1841	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田飛鳥帯刀		折本	題箋「天保十三壬寅暦」
り43	天保十四年みつとのえとらの寛政暦	天保十三年出	1842	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田飛鳥帯刀		折本	題箋「天保十四癸卯暦」
り44	天保十五年きのえたつの天保壬寅元暦	天保十四年出	1843	99	0	98	暦師:伊勢度会郡山田飛鳥帯刀	村木忠左衛門様	折本	題箋「天保十五甲辰暦」、宛名は表紙の付札より

り45	天保十六年きとのみの天保壬寅元曆	天保十五年出	1844	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田飛鳥帯刀	村木忠左衛門 折本 様	題箋「天保十六乙亥曆」、宛名は表紙の付札より、表紙付札剥離
り46	弘化三年ひのえむまの天保壬寅元曆	弘化二年出	1845	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田飛鳥帯刀	折本	題箋「弘化三丙午曆」
り47	弘化四年ひのとのひつしの天保壬寅元曆	弘化三年出	1846	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田飛鳥帯刀	折本	題箋「弘化四丁未曆」
り48	弘化五年つちのえさるの天保壬寅元曆	弘化四年出	1847	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田飛鳥帯刀	折本	題箋「弘化五戊申曆」
り49	嘉永二年つちのとのとりの天保壬寅元曆	嘉永元年出	1848	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田飛鳥帯刀	折本	題箋「嘉永二己酉曆」
り50	嘉永三年かのえいぬの天保壬寅元曆	嘉永二年出	1849	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田飛鳥帯刀	村木忠左衛門 折本 様	宛名は表紙の貼紙より
り51	嘉永五年みつのえねの天保壬寅元曆	嘉永四年出	1851	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田飛鳥帯刀	折本	題箋「嘉永五壬子曆」
り52	嘉永六年みつとのうしの天保壬寅元曆	嘉永五年出	1852	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田飛鳥帯刀	折本	題箋「嘉永六癸丑曆」
り53	嘉永七年きえとの天保壬寅元曆	嘉永六年出	1853	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田飛鳥帯刀	折本	題箋「嘉永七甲寅曆」
り54	嘉永八年きとのうの天保壬寅元曆	嘉永七年出	1854	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田飛鳥帯刀	折本	題箋「嘉永八乙卯曆」
り55	安政三年ひのえたつの天保壬寅元曆	安政二年出	1855	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田飛鳥帯刀	村木忠左衛門 折本 様	題箋「安政三丙辰曆」、題箋剥離、宛名は表紙の付札より
り56	安政四年ひのとのみの天保壬寅元曆	安政三年出	1856	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田飛鳥帯刀	村木忠左衛門 折本 様	題箋「安政四丁巳曆」、宛名は表紙の付札より
り57	安政五年つちのえむまの天保壬寅元曆	安政四年出	1857	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田飛鳥帯刀	村木忠左衛門 折本 様	題箋「安政五戊午曆」、宛名は表紙の付札より
り58	安政六年つちのとのひつしの天保壬寅元曆	安政五年出	1858	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田飛鳥帯刀	村木忠左衛門 折本 様	題箋「安政六己未曆」、宛名は表紙の付札より
り59	安政七年かのえさるの天保壬寅元曆	安政六年出	1859	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田飛鳥帯刀	村木忠左衛門 折本 様	題箋「安政七庚申曆」、宛名は表紙の付札より
り60	万延二年かのとのとりの天保壬寅元曆	万延元年出	1860	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田飛鳥帯刀	村木忠左衛門 折本 様	題箋「万延二辛酉曆」、宛名は表紙の付札より
り61	天保十一年かのえねの寛政曆	天保十年出	1839	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	紙質劣化、表紙・裏表紙なし、一部分切取あり、書込みあり
り62	天保十二年かのとのうしの寛政曆	天保十一年出	1840	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	紙質劣化、破損あり、表紙・裏表紙なし、書込みあり
り63	天保十三年みつとのえとの寛政曆	天保十二年出	1841	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	表紙・裏表紙なし、書込みあり
り64	天保十五年きえたとの天保壬寅元曆	天保十四年出	1843	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	紙質劣化、破損あり、表紙・裏表紙なし、書込みあり
り65	天保十四年みつとのうの寛政曆	天保十三年出	1842	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	表紙・裏表紙なし、書込みあり
り66	天保十六年きとのみの天保壬寅元曆	天保十五年出	1844	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	紙質劣化、折目で切断あり、表紙なし、書込みあり
り67	弘化三年ひのえむまの天保壬寅元曆	弘化二年出	1845	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	表紙・裏表紙なし、一部分切取あり、書込みあり
り68	弘化四年ひのとのひつしの天保壬寅元曆	弘化三年出	1846	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	表紙・裏表紙なし、書込みあり
り69	弘化五年つちのえさるの天保壬寅元曆	弘化四年出	1847	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	紙質劣化、折目で切断あり、表紙・裏表紙なし、一部分切取あり、書込みあり
り70	嘉永二年つちのとのとりの天保壬寅元曆	嘉永元年出	1848	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	表紙・裏表紙なし、書込みあり
り71	嘉永三年かのえいぬの天保壬寅元曆	(嘉永2年出)	1849	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	紙質劣化、表紙なし、後欠、書込みあり
り72	嘉永四年かのとのいの天保壬寅元曆	嘉永三年出	1850	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	表紙・裏表紙なし、書込みあり
り73	嘉永五年みつとのえねの天保壬寅元曆	嘉永四年出	1851	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	表紙・裏表紙なし、書込みあり
り74	嘉永六年みつとのうしの天保壬寅元曆	嘉永五年出	1852	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	表紙・裏表紙なし、書込みあり
り75	嘉永七年きえとの天保壬寅元曆	嘉永六年出	1853	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	表紙・裏表紙なし、書込みあり
り76	嘉永八年きとのうの天保壬寅元曆	嘉永七年出	1854	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	表紙・裏表紙なし、書込みあり
り77	安政三年ひのえたつの天保壬寅元曆	安政二年出	1855	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	表紙・裏表紙なし、書込みあり
り78	安政四年ひのとのみの天保壬寅元曆	安政三年出	1856	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	表紙・裏表紙なし
り79	安政五年つちのえむまの天保壬寅元曆	安政四年出	1857	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	表紙・裏表紙なし
り80	□□□□(安政六年)つちのとのひつしの天保壬寅元曆	安政五年出	1858	99	0	98 曆師：□□□□□□(伊勢度会郡山)田中北外記	折本	表紙・裏表紙なし
り81	安政七年かのえさるの天保壬寅元曆	安政六年出	1859	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	表紙・裏表紙なし
り82	万延二年かのとのとりの天保壬寅元曆	万延元年出	1860	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	破損あり、表紙・裏表紙なし
り83	文久二年みつとのえいぬの天保壬寅元曆	文久元年出	1861	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	表紙・裏表紙なし
り84	文久四年きえねの天保壬寅元曆	文久三年出	1863	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	表紙・裏表紙なし
り85	元治二年きとのうの天保壬寅元曆	元治元年出	1864	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田中北外記	折本	表紙・裏表紙なし
り86	慶応三年ひのとのうの天保壬寅元曆	慶応二年出	1866	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田箕曲主水	折本	表紙・裏表紙なし
り87	慶応四年つちのえたつの天保壬寅元曆	慶応三年出	1867	99	0	98 曆師：伊勢度会郡山田箕曲主水	折本	表紙・裏表紙なし
り88	明治二年つちのとのみの天保壬寅元曆	明治元年出	1868	99	0	98 伊勢度会郡山田 弘曆者山口右兵衛	折本	破損あり
り89	□□□□□□□□□□□□(明治二年つちのとのみの天保壬寅元曆)	明治元年出	1868	99	0	98 弘曆□□□□□□	折本	破損あり、表紙・裏表紙なし
り90	明治三年かのえむまの天保壬寅元曆	明治二年出	1869	99	0	98 伊勢度会郡山田山口石二	折本	裏表紙上半分欠損、破損あり

リ91	明治三年かのえむまの天保壬寅元暦	明治二年出	1869	99	0	98 伊勢度会郡山田小林翁助	折本	表紙・裏表紙なし
リ92	[明治4年天保壬寅元暦]	(明治3年出)	1870	99	0	98	折本	前後半部分破損大、表紙・裏表紙なし
リ93	神武天皇即位紀元二千五百四十一年明治十四年暦	(明治14年)	1881	99	0	98 東京大阪頒曆商社社長林立守	折本	表紙・裏表紙なし、「頒曆証」と記された紙片貼付
リ94	神武天皇即位紀元二千五百四十二年明治十五年暦	(明治15年)	1882	99	0	98 □□□□□□□□□□(東京大阪頒曆商社社長)林立守	折本	後半部分破損大、表紙・裏表紙なし、「頒曆証」と記された紙片貼付
リ95	神武天皇即位紀元二千五百四十三年明治十六年暦	(明治16年)	1883	99	0	98 神宮司庁頒曆局頒曆製造御用林組長林立守	折本	破損あり、表紙・裏表紙なし、「頒曆証」と記された紙片貼付
リ96	神武天皇即位紀元二千五百四十四年明治十七年暦	(明治17年)	1884	99	0	98 神宮司庁頒曆局御頒布曆製造御用林組長林立守	折本	表紙・裏表紙なし、「頒曆証」と記された紙片貼付
リ97	「江戸でめいふつむらさきエイヨシ…」〔諸国名物の唄〕		9999	99	0	98	一紙	破れあり
ぬ1	金銀出入当座帳	文政十三年二月十九日	1830	2	0	19 村木忠左衛門	横長	表紙「寅ノ壱番」
ぬ2	金銀出入当座帳	文政十三年七月吉日	1830	7	0	48 村木忠左衛門	横長	表紙「寅ノ二番」
ぬ3	金銀出入当座帳	文政十三年十月吉日	1830	10	0	48 村木忠左衛門	横長	表紙「寅ノ三番」
ぬ4	金銀出入覚当座帳	天保二年三月吉日	1831	3	0	48 河渡宿村木忠左衛門扣	横長	表紙「卯壱番」
ぬ5	金銀出入之覚帳	天保三年壬辰正月吉日	1832	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ6	金銀出入当座覚帳	天保三年四月吉日	1832	4	0	48 村木忠左衛門	横長	表紙「辰之壱番」、表紙破損あり
ぬ7	金銀出入之覚帳	天保四年癸巳正月吉日	1833	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ8	金銀出入之覚帳	天保五年甲午正月吉日	1834	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	綴じ紐切れ
ぬ9	金銀出入当座覚帳	天保五年四月吉日	1834	4	0	48 村木忠左衛門	横長	表紙「午之壱番」
ぬ10	金銀出入覚書帳	天保六年乙未正月吉日	1835	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ11	金銀出入当座覚帳	天保六年六月吉日	1835	6	0	48 村木忠左衛門	横長	表紙「未壱番」
ぬ12	金銀出入之覚帳	天保七年丙申正月吉日	1836	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ12	金銀出入当座覚帳	天保七年三月吉日	1836	3	0	48 村木忠左衛門	横長	表紙「申壱番」
ぬ13	金銀出入之覚帳	天保八年丁酉正月吉日	1837	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ14	金銀出入当座覚帳	天保八年正月吉日	1837	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	表紙「酉壱番」
ぬ15	金銀出入之覚帳	天保九年戊戌正月吉日	1838	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ16	金銀出入当座覚帳	天保九年正月吉日	1838	1	0	48 村木忠左衛門	横長	表紙「戌壱番」
ぬ17	金銀出入之覚帳	天保十年己亥正月吉日	1839	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ18	金銀出入之覚帳	天保十一年庚子正月吉日	1840	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ19	金銀出入当座覚帳	天保十一年二月吉日	1840	2	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	表紙「子之壱番」
ぬ20	金銀出入之覚帳	天保十二年辛丑正月吉日	1841	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ21	金銀出入当座覚帳	天保十二年正月吉日	1841	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	表紙「丑壱番」、破損あり
ぬ22	金銀出入之覚帳	天保十三年壬寅正月吉日	1842	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ23	金銀出入之当座覚帳	天保十三年壬寅正月吉日	1842	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	表紙破損あり、表紙と裏表紙の綴じ紐部分に1点ずつ結び文あり
ぬ24	[金銀出入之当座覚帳]	天保十四卯年正月吉日	1843	1	0	48	横長	
ぬ25	金銀出入之覚当座帳	天保十五甲辰正月吉日	1844	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	表紙の綴じ紐部分に3点、裏表紙の綴じ紐部分に1点結び文あり
ぬ26	金銀出入当座帳	弘化二年乙巳正月吉日	1845	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	表紙の綴じ紐部分に1点結び文あり
ぬ27	金銀出入之覚帳	弘化三年丙午正月吉日	1846	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ28	金銀出入当座帳	弘化三年丙午正月吉日	1846	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	ぬ28(日)の綴じ紐に(月)が綴られている、表紙の綴じ紐部分に1点結び文あり
ぬ28	午之暮利銀仕出之覚	(弘化3年)	1846	99	0	98	横長	裏表紙の綴じ紐部分に1点結び文あり

ぬ29	金銀出入当座帳	弘化四年丁未正月吉日	1847	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	表紙の綴じ紐部分に3点結び文あり
ぬ30	金銀出入当座帳	弘化五年戊申正月吉日	1848	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ30	金銀出入之覚帳	弘化五年戊申正月吉日	1848	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	付札破損大
ぬ31	金銀出入当座帳	嘉永二年己酉正月吉日	1849	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ32	金銀出入当座覚帳	嘉永三年庚戌正月吉日	1850	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ33	金銀出入当座覚帳	嘉永四年辛亥正月吉日	1851	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	表紙の綴じ紐部分に1点結び文あり
ぬ34	金銀出入之覚帳	嘉永四年辛亥正月吉日	1851	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ35	金銀出入当座覚帳	嘉永五年壬子正月吉日	1852	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ35	金銀出入之覚帳	嘉永五年壬子正月吉日	1852	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ36	金銀出入当座覚帳	嘉永六年癸丑正月吉日	1853	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	表紙下部破損
ぬ37	金銀出入当座覚帳	嘉永七年甲寅正月吉日	1854	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	表紙の綴じ紐部分に3点、裏表紙の綴じ紐部分に1点結び文あり
ぬ38	金銀出入当座覚帳	安政二年乙卯正月吉日	1855	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	表紙の綴じ紐部分に3点結び文あり、挿入紙1点あり
ぬ39	金銀出入当座帳	安政四年丁巳正月吉日	1857	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ40	金銀出入当座帳	安政五年午正月吉日	1858	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ41	金銀出入当座帳	安政六年未正月吉日	1859	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	表紙の綴じ紐部分に結び文1点あり、挿入紙1点あり
ぬ42	金銀出入当座帳	安政七年庚申正月吉日	1860	1	0	48 村木忠左衛門	横長	剥離紙1点あり、挿入紙2枚あり
ぬ43	金銀出入当口口(座帳)	万延二口(年)辛酉正月吉日(日)	1861	1	0	48	横長	表紙下部破損
ぬ44	酉之当座帳	万延二年正月吉日	1861	1	0	48 村木忠左衛門	横長	裏表紙破損大
ぬ45	戌之当座帳	文久二年正月吉日	1862	1	0	48 村木	横長	挿入紙1点あり
ぬ46	金銀出入当座帳	文久二年戌正月吉日	1862	1	0	48 村木扣	横長	
ぬ47	亥之当座帳	文久三年癸正月吉日	1863	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ48	金銀出入当座帳	文久三年癸亥正月吉日	1863	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ49	金銀出入当座帳	文久三年癸亥正月吉日	1863	1	0	48 村木忠左衛門	横長	綴じ紐切れ、破損あり
ぬ50	金銀出入当座帳	文久四年甲子正月吉日	1864	1	0	48 村木忠左衛門扣	横長	挿入紙1点あり
ぬ50	金銀出入之覚帳	文久四甲子正月吉日	1864	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	挿入紙2点あり
ぬ51	金銀出入覚帳	元治二年乙丑正月吉日	1865	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ52	金銀出入当座帳	元治二年乙丑正月吉日	1865	1	0	48 村木忠左衛門	横長	挿入紙4点あり
ぬ53	丑之当座帳	元治二年正月吉日	1865	1	0	48 村木忠左衛門	横長	
ぬ54	金銀出入当座帳	慶応二年丙寅正月吉日	1866	1	0	48 村木忠左衛門扣	横長	挿入紙1点あり
ぬ55	寅之当座帳	慶応二年正月吉日	1866	1	0	48 村木忠左衛門扣	横長	
ぬ56	寅附金出入覚帳	慶応二年丙寅正月吉日	1866	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ57	卯之当座帳	慶応三年正月吉日	1867	1	0	48 村木忠左衛門	横長	表紙の綴じ紐部分に結び文1点あり、挿入紙2点あり
ぬ58	金銀出入当座帳	慶応三年卯正月吉日	1867	1	0	48 村木忠左衛門扣	横長	表紙の綴じ紐部分に結び文1点あり、挿入紙1点あり
ぬ59	金銀出入之覚帳	慶応三年丁卯正月吉日	1867	1	0	48 河渡宿村木忠左衛門	横長	挿入紙1点あり
ぬ60	辰之当座帳	慶応四年戊辰正月吉日	1868	1	0	48 村木忠左衛門	横長	表紙の綴じ紐部分に結び文3点あり
ぬ61	金銀出入当座覚帳	慶応四年戊辰正月吉日	1868	1	0	48 村木忠左衛門扣	横長	表紙の綴じ紐部分に結び文2点あり、挿入紙1点あり
ぬ62	亥之暮金銀出入日記	(亥之暮)	9911	99	0	98 村木忠左衛門	横長	表紙「番番」
ぬ63	子暮諸勘定帳	嘉永五年十二月	1852	12	0	48 村木忠左衛門扣	横長	
ぬ64	《丑暮請払帳》	嘉永6年12月	1853	6	0	12		現在所在不明
ぬ65	丑暮請払帳	嘉永六年十二月	1853	12	0	48 村木忠左衛門扣	横長	綴じ紐切れ
ぬ66	卯年暮勘定口(帳)	安政二年十二月	1855	12	0	48	横長	表紙と1・2丁目破損大
ぬ66	辰年暮勘定帳	安政三年十二月	1856	12	0	48	横長	表紙破損大、剥離紙4点あり
ぬ67	巳之暮勘定帳(巳之暮金貸差引覚)	安政四年十二月	1857	12	0	48	横長	8・9丁目と裏表紙破損大
ぬ68	未之暮勘定仕出帳	安政六年十二月	1859	12	0	48 村木忠左衛門	横長	剥離紙1点あり

ぬ68	申暮勘定仕出帳	万延元年十二月	1860	12	0	48 村木忠左衛門	横長	挿入紙1点あり
ぬ68	酉之暮諸勘定仕出	文久元年十二月	1861	12	0	48 村木義旭扣	横長	挿入紙2点あり
ぬ68	戌之暮勘定仕出帳	文久二年十二月	1862	12	0	48 村木忠左衛門扣	横長	
ぬ69	亥年御年貢掟勘定帳	嘉永四年十二月日	1851	12	0	48 支配人と九郎	横長	
ぬ70	子年御年貢掟勘定帳	嘉永五年十二月日	1852	12	0	48 支配人と九郎	横長	
ぬ71	卯御年貢米掟勘定帳	安政貳年十二月日	1855	12	0	48 上曾我屋村村木与九郎	横長	
ぬ72	卯之掟米取立帳	天保十四年十二月	1843	12	0	48 村木忠左衛門	横長	
ぬ73	巳之掟米取立帳	弘化二年十二月	1845	12	0	48 村木忠左衛門	横長	剥離紙2点あり
ぬ74	午掟米取立帳	弘化三年十二月	1846	12	0	48 村木忠左衛門	横長	
ぬ75	未掟米取立帳	弘化四年十二月	1847	12	0	48 村木忠左衛門	横長	
ぬ76	申掟米取立帳	嘉永元年十二月	1848	12	0	48 村木忠左衛門	横長	表紙破損あり
ぬ77	酉掟米取立帳	嘉永二年十二月	1849	12	0	48 村木忠左衛門	横長	
ぬ78	戌掟米取立帳	嘉永三年十二月	1850	12	0	48 村木忠左衛門	横長	
ぬ79	亥掟米取立帳	嘉永四年十二月	1851	12	0	48 村木忠左衛門	横長	剥離紙2点あり
ぬ80	子掟米取立口(帳)	嘉永五年十二月	1852	12	0	48 村木口口口口(忠左衛門)	横長	表紙下部破損、綴じ紐切れ、剥離紙1点あり
ぬ81	寅之掟米取立帳	嘉永七年十二月	1854	12	0	48 村木忠左衛門扣	横長	表紙・裏表紙破損あり、剥離紙2点あり
ぬ82	田畑掟取立帳	(安政2年)卯二月日	1855	2	0	48 生津村棚橋平右衛門	横長	破損あり、表紙「安政元年寅十二月日 生津村 棚橋平右衛門」
ぬ83	卯之掟米取立帳	安政二年十二月	1855	12	0	48 村木忠左衛門扣	横長	
ぬ84	辰之掟米取立帳	安政三年十二月	1856	12	0	48 村木忠左衛門扣	横長	
ぬ85	生津村出作分田畑掟年貢米取立帳	安政三年辰十二月	1856	12	0	48 村木忠左衛門扣	横長	破損あり
ぬ86	午之掟米取立帳	安政五年十二月	1858	12	0	48 村木忠左衛門	横長	
ぬ87	未之掟米取立帳	安政六年十二月	1859	12	0	48 村木忠左衛門	横長	破損あり
ぬ88	申之掟米取立帳	万延元年十二月	1860	12	0	48 村木忠左衛門扣	横長	
ぬ89	酉之掟米取立帳	文久元年十二月	1861	12	0	48 村木忠左衛門扣	横長	
ぬ90	戌之掟米取立帳	文久二年十二月	1862	12	0	48 村木忠左衛門控	横長	
ぬ91	諸用留書番日記	安政二年乙卯正月吉辰 (1月1日～3月21日)	1855	1	0	1 河渡宿村木義旭手控	横	表紙「他見禁」
ぬ92	《諸用日記》	安政5年	1858	99	0	98		現在所在不明、『岐阜県史通史編近世下』pp.1133～1135参照
ぬ93	諸用留日記帳	安政五年午九月初日(9月1日～12月30日)	1858	9	0	1 美濃東村木義促控	横	表紙「他見堅制」
ぬ94	諸用日記留書番	安政六年己未正月元旦 (～10月15日)	1859	1	0	1 河渡駅村木義促控	横	表紙「他見堅制」
ぬ95	諸用細日記 弍卷	安政六年己未十月中旬 (10月16日～12月30日)	1859	10	0	16 河渡村木義促(花押)	横	表紙「他見禁制」
ぬ96	諸用細日記 弍卷	安政七年庚申正月元旦 (～9月20日)	1860	1	0	1 鳳皇川西辺村木義促(花押)	横	表紙「他見禁制」
ぬ97	諸用日記 弍	万延二年辛酉正月吉日 (1月1日～9月2日)	1861	1	0	1 鳳川西村木義促(花押)	横	表紙「他見禁制」
ぬ98	諸用日記 二	文久元年酉九月(3日)ヨリ 戌三月(30日)迄	1861	9	0	3 村木義促(花押)	横	表紙「他見禁制」
ぬ99	諸用日記 二	文久二年壬戌四月(1日)ヨリ (文久3年)亥八月廿日迄	1862	4	0	1 村木義促(花押)	横	表紙「他見禁制」
ぬ100	諸用細日記 三	文久三年癸亥八月廿一日ヨリ (～12月30日)	1863	8	0	21 村木義促(花押)	横	表紙「他見禁制」
ぬ101	諸用細日記 乾	文久四年甲子正月(1月1日～10月17日)	1864	1	0	1 村木義促(花押)	横	表紙「他見禁制」
ぬ102	諸用細日記 坤	元治元年甲子十月中旬 (18日)ヨリ(慶応元年)乙丑四月晦日マテ	1864	10	0	18 村木義促(花押)	横	表紙「他見禁制」
ぬ103	諸用細日記 乾	四月十七日改元慶応元年乙丑五月(1日)ヨリ六月廿一日マテ	1865	5	0	1 村木義促(花押)	横	表紙「他見禁制」
ぬ104	諸用細日記	慶応元年乙丑六月廿二日ヨリ (～慶応2年2月29日)	1865	6	0	22 村木義促(花押)	横	表紙「他見禁制」
ぬ105	諸用日記	慶応二年丙寅三月朔日卯五月七日迄	1866	3	0	1 村木義促(花押)	横	表紙「他見禁制」

ぬ106	諸用日記 貳番	慶応三年丁卯五月八日ヨリ慶応四年戊辰閏四月廿日迄	1867	5	0	8	村木義促(花押)	横	表紙「他見禁制」
ぬ107	諸用日記 二	慶応四年戊辰閏四月廿一日ヨリ己巳正月晦日マテ	1868	4	1	21	村木義促(花押)	横	表紙「他見堅制」
ぬ108	貸附金・借入金覚帳	文政拾叁年二月改メ	1828	2	0	48		横半	
ぬ109	諸道買直段附帳	文政十三年寅正月ヨリ未年マテ(～明治17年)	1830	1	0	48	村木扣	横長	挿入紙1点あり
ぬ110	歳々両節季店払覚帳	文政十三年庚寅二月吉祥日(～文久2年12月)	1830	2	0	48	河渡宿村木忠左衛門	横長	綴じ紐切れ
ぬ111	扣高名寄帳	文政十三年寅十二月	1830	12	0	48	村木忠左衛門	横長	
ぬ112	借用指引勘定帳	天保十口(三)年寅正月日	1842	1	0	48		横長	破損あり
ぬ113	井戸・米蔵・馬家普請諸入用覚帳	嘉永七年甲寅正月吉祥日	1854	1	0	48		横長	
ぬ114	買物帳	安政三年辰九月七日	1856	9	0	7	茂兵衛	横半	
ぬ115	買物帳	安政三年辰十二月十六日	1856	12	0	16		横半	
ぬ116	買物帳	文久三亥年	1863	99	0	98	願明寺御花講	横半	
ぬ117	生津村分出作田畑掟年貢小前帳	安政三年辰十二月	1856	12	0	48	河渡宿村木忠左衛門	横半	破損あり
ぬ118	《泰治郎出府土産并見舞覚》	安政5年11月22日	1858	11	0	22			現在所在不明
ぬ119	種粃代小前継渡帳	安政六年未四月	1859	4	0	48	村木忠左衛門	横長	破損あり
ぬ120	種粃代手当小作帳	文久元年酉四月	1861	4	0	48	村木	横長	
ぬ121	出作反別仕分帳	万延元年申十月	1860	10	0	48	河渡宿村木忠左衛門	横長	
ぬ122	小作種粃割渡し(帳)	慶応四辰年五月	1868	5	0	48		横長	
ぬ123	〔諸取替・入金・差引など覚帳〕		9999	99	0	98		横長	
ぬ124	〔土産物・見舞物覚帳〕		9999	99	0	98		横長	破損あり
ぬ125	〔田畑反別・高・掟米など覚帳〕		9999	99	0	98		横長	
ぬ126	〔代金受取覚帳〕		9999	99	0	98		横長	印に「八幡町蔵前」とあり
ぬ127	〔金銀出入当座帳〕	安政七申年	1860	99	0	98		横長	表紙欠損
ぬ128	〔掟米取立帳〕	(安政4)巳年	1857	99	0	98		横長	剥離紙1点あり
ぬ129	〔銭預り・銭取替・米取替など覚帳〕		9999	99	0	98		横長	
ぬ130	〔長さ・巾・坪数など覚帳〕		9999	99	0	98		横長	
ぬ131	〔勘定仕出帳〕		9999	99	0	98		横長	挿入紙3点あり
ぬ132	覚(履物代・粃代銀など書付)		9999	99	0	98		横半	
ぬ133	〔金銀出入当座・秋作稲数など覚帳〕	(明治4未年)	1871	99	0	98		横長	挿入紙1点あり
ぬ134	〔屋号・金銭書付帳〕		9999	99	0	98		横長	明治期のもの
ぬ135	寅年諸勘定不足仕出シ(帳)	卯年暮改	9903	12	0	48		横長	
ぬ136	日向屋分(川船貫金覚帳)		9999	99	0	98		横長	ち8と関連
ぬ137	〔先触・継立人足貫銭など覚帳〕	(7月2日～8月10日)	9999	7	0	2		横長	
ぬ138	差引覚(金銭出入など)	酉之暮	9909	12	0	48		横長	
ぬ139	〔田畑反別・高・掟米・代金など覚帳〕		9999	99	0	98		横長	
ぬ140	〔金銀出入当座帳〕	安政六未年	1859	99	0	98		横長	挿入紙1点あり
ぬ141	御勘定差引(川々普請諸入用)		9999	99	0	98		縦	
ぬ142	〔金銀出入当座帳〕	(天保9年8月～天保10年12月)	1838	8	0	48		横長	
ぬ143	宿請負証文之事(郡上八幡金森矢部少輔浪人野田善蔵8月まで当地に滞留につき)	宝暦九年卯三月	1759	3	0	48	高山寺町親類村上屋嘉内(印)、同(高山寺町)組頭広瀬屋源右衛門(印)	矢島茂右衛門 一紙殿	
ぬ144	〔池坊門弟永代帳面留置状〕	文政八酉年六月	1825	6	0	48	洛陽六角堂池坊専明(花押)(印)	濃州村木登吉 折紙(包紙共) 破損あり	
ぬ145	〔水仙・朝顔・牡丹など生花伝授状〕	天保十一年子八月	1840	8	0	48	池坊専明(花押)(印)	濃州村木忠左 折紙(包紙共) 包紙破損あり	
ぬ146	〔草木集・定式巻伝授状〕	天保十二年丑正月	1841	1	0	48	池坊専明(花押)(印)	濃州村木忠左 折紙(包紙共) 衛門様	

ぬ147	差上申済口証文之事(質地滞出入訴の 処、金子返済にて納得熟談につき)	天保五年十月	1834	10	0	48 当御支配所方県郡河渡宿訴訟人忠次郎 (印)、差添庄屋長兵衛(印)、安藤対馬守 領分本巢郡宗慶村相手方 恒次郎(印)、 差添年寄文平(印)、郷宿幸七(印)・九右 衛門(印)、羽栗郡徳田新田庄屋取?人 寿 作(印)	笠松御役所	一紙	上部破損あり
ぬ148	乍恐以書付奉願上候(百姓七郎平らの掟 年貢并買物滞り・竹木掠取出入一件にて 掟年貢皆済など厳しく仰せくださるようにつ き)	弘化三年四月	1846	4	0	48 右(当支配所方県郡河渡村)願主庄屋年 寄兼忠左衛門(印)、差添年寄四郎右衛門 (印)	笠松御役所	一紙	庄屋長兵衛の奥印あり、ぬ152・ぬ154は関連
ぬ149	御請状之事(年貢に差詰りにて倅庄八を1 年間奉公に差出し、給金御蔵へ上納につ き)	嘉永元年申年十二月	1848	12	0	48 本人親庄平(印)、請人庄七	御主人忠左衛 門殿	一紙	
ぬ150	菊五郎容体書(糸貫川北方村地内堤切入 れ、河渡村外7か村水防中に口論あり、河 渡宿菊五郎疵受けるにつき疵の箇所など 書上)	嘉永七寅歳七月朔日	1854	7	0	1 安藤長門守領分本巢郡柱本村医師道碩 (印)、戸田隼人正知行所本巢郡北方村医 師勇策(印)	岩田鐵三郎様 御手代原継蔵 様、戸田隼人 正様御内河原 和太夫様	一紙	
ぬ151	太三郎容体書(糸貫川北方村地内堤切入 れ、河渡村外7か村水防中に口論あり、河 渡宿太三郎疵受けるにつき疵の箇所など 書上)	嘉永七寅歳七月朔日	1854	7	0	1 安藤長門守領分本巢郡柱本村医師道碩 (印)、戸田隼人正知行所本巢郡北方村医 師勇策(印)	岩田鐵三郎様 御手代原継蔵 様、戸田隼人 正様御内河原 和太夫様	一紙	
ぬ152	乍恐以書付奉願候(下地困窮者に借 用金ある処、難渋にて買物の屋敷など戻 すようにつき)	(天保14年)卯七月	1843	7	0	48 河渡村百姓願人七郎平	笠松御役所	一紙	ぬ148・ぬ154は関連
ぬ153	[急ぎ御用の儀申し上げて宿々早便に 差し送り、板橋宿着の砌、御方様へ差し上 げる様依頼状]	申九月二日	9908	9	0	2 中山道河渡宿問屋		切紙	
ぬ154	乍恐以書付奉申上候(庄屋より百姓七郎 平ら掟年貢滞りなどにて訴訟の処、七郎 平欠落ちの風聞あり、行方を親類より申し 聞きにつき届)	(弘化3年)午五月十四 日	1846	5	0	14 河渡村百姓七郎平親類惣代清左衛門、直 右衛門、組頭惣代、年寄四郎右衛門、庄 屋長兵衛	笠松御役所	一紙(包紙共)	ぬ148・ぬ152は関連、包紙「上」
ぬ155	[畑反別・掟米など書付図面]	慶応三年卯四月	1867	4	0	48		一紙	24.5×34.6cm、「北天流改」とあり、は18と関連
ぬ156	諸軍書名前写		9999	99	0	98 河渡駅村木義促(花押)		縦	「右江戸蔵前天乗町松前屋五郎兵衛之一条終」とあり
ぬ157	[井上源衛外2名共有地売却につき手続記 録]	(明治12年4月16日～6 月28日)	1879	4	0	16		縦	
る1	頼母子講人数覚帳	天保十一年子三月	1840	3	0	48 講元長蔵、セ話人直八、音八		横長	
る2	頼母子講人数覚帳	天保十二年丑十二月	1841	12	0	48 講元清右衛門		横長	
る3	牧田講規定帳	嘉永三年戌四月	1850	4	0	48 講元長兵衛控写		横長	
る4	大坂講規定帳	安政四巳年二月	1857	2	0	48 講元忠治郎控写		横長	
明治1	河渡宿附属村々草高之内諸引除之残高 取調帳	明治元年辰十一月	1868	11	0	48		縦	
明治2	七拾歳以上より八拾七歳迄人別取調書上 帳下書	明治元年辰十二月	1868	12	0	48 方県郡河渡村百姓代勇八、年寄忠左衛 門、庄屋広助	笠松御役所	横長	70歳以上は19人あり
明治3	辰御物成通	明治元年十二月	1868	12	0	48 忠左衛門		横半	挿入紙1点あり、表紙「北組」
明治4	辰御物成通	明治元年十二月	1868	12	0	48 忠左衛門		横半	表紙「南組」
明治5	《小前門十郎市左衛門文助より村役人 江相掛り給米減方二而出入一件日記》	明治2年12月	1869	12	0	48			現在所在不明、1976年発行『岐阜大学教育学部郷土資料(7) 幕末維新期美濃地方の村方騒動関係史料』に収載
明治6	附属助郷勤高書上帳	明治二年巳三月	1869	3	0	48 笠松県支配所中山道河渡宿伝馬所取締 役助三郎、当三郎	駒込御役所	縦	
明治7	夫食米貸渡帳	明治二年巳正月より	1869	1	0	48 村木忠左衛門		横長	
明治8	巳之当座帳	明治二年巳正月吉日	1869	1	0	48 村木忠左衛門		横長	表紙の綴じ紐部分に結び文2点あり
明治9	[御年貢勘定写・御年貢米割付之覚など 綴]	(安政3～明治2年)	1856	99	0	98		綴	
明治10	巳之田方立毛差引野帳	明治二年九月	1869	9	0	48 村木扣		横半	
明治11	従加納宿守山宿迄宿々七倍五割御定貢 銭宿助郷割符取調帳	明治二年巳二月	1869	2	0	48		横長	
明治12	諸用日記二	明治二年己巳二月朔日 午三月十一日マテ	1869	2	0	1 村木義促(花押)		横	表紙「他見堅禁」
明治13	諸日記弐番	明治三年庚午三月十二 日ヨリ明治四年辛未八 月八日マテ	1870	3	0	12 村木義促扣		横	表紙「他見禁制」

明治14	諸日記貳番	明治四年辛未八月九日 ヨリ明治五年壬申十二月二日マテ	1871	8	0	9 邨木義促扣	横	表紙「他見禁止」
明治15	第二号勉務日記	明治六年十一月一日同 明治七年一月より九月迄	1873	11	0	1 村木	横半	
明治16	諸用日記	明治六年癸酉一月一日 (~10月31日)	1873	1	0	1 村木義促控	横半	
明治17	式号用務日記	明治七年十月(1日)より 明治八年五月(31日)迄	1874	10	0	1 村木控	横半	
明治18	三号諸務日記	明治八年從六月一日 (~12月31日)	1875	6	0	1 村木控	横半	挿入紙あり
明治19	諸用日記簿	明治九年丙子一月一日 丑二月廿日迄	1876	1	0	1 村木義促	横半	
明治20	諸事務日記簿	明治十年二月廿一日ヨ リ(~12月31日)	1877	2	0	21 村木忠一控	横半	
明治21	諸事務日記	明治十一年戊寅一月一 日(~12月31日)	1878	1	0	1 村木忠一	横半	
明治22	両村組合諸日記	明治十一年二月	1878	2	0	48 総代	横半	
明治23	諸事務日記簿	明治十二年己卯一月一 日(~12月31日)	1879	1	0	1 村木忠一	横半	
明治24	諸事日記簿	明治十三年庚辰一月一 日(~12月31日)	1880	1	0	1 邨木忠一	横半	挿入紙あり
明治25	日記簿	明治十四年辛巳一月一 日(~12月31日)	1881	1	0	1 村木忠一	横半	
明治26	日記簿	明治十五年壬午一月一 日(~12月31日)	1882	1	0	1 村木忠一	横半	
明治27	日記簿	明治十六年癸未一月一 日(~12月31日)	1883	1	0	1 村木忠一	横半	
明治28	諸事日誌	明治十七年甲申一月一 日(~12月31日)	1884	1	0	1 村木忠一	横半	
明治29	諸事日誌	明治十八年乙酉一月一 日(~12月31日)	1885	1	0	1 村木忠一	横半	
明治30	諸事日誌	明治十九年丙戌一月一 日(~12月31日)	1886	1	0	1 邨木忠一	横半	
明治31	御請印帳(別紙触書の趣承知、村高・諸引 残高書上)	明治三年午十二月	1870	12	0	48 方県郡河渡宿百姓代勇八(印)・年寄儀右 衛門(印)・庄屋広助(印)・芦鋪村百姓代 安左衛門(印)・年寄祐平(印)・庄屋与八 郎(印)・芦鋪村百姓代作兵衛(印)・年寄 治郎兵衛(印)・庄屋作右衛門(印)・佐野 村百姓代半右衛門(印)・年寄源兵衛 (印)・庄屋時之丞(印)・雛倉村百姓代治 三郎(印)・年寄勘十郎(印)・庄屋九右衛 門(印)・雛倉村百姓代与平(印)・年寄庄 藏(印)・庄屋金十郎(印)・秋沢村百姓代 佐兵衛(印)・年寄儀太郎(印)・庄屋権之 助(印)・則松村百姓代基左衛門(印)・年 寄忠左衛門(印)・庄屋儀左衛門(印)・則 松村年寄忠左衛門(印)・後見庄屋貞藏 (印)・則松村年寄忠左衛門(印)・庄屋幾 治(印)・則松村百姓代藤助(印)・年寄久 兵衛(印)・庄屋八右衛門(印)・則松村年 寄久兵衛(印)・庄屋庄左衛門(印)・鷺山 村百姓代藤八・年寄儀左衛門(印)・庄屋 六左衛門(印)・鷺山村年寄嘉右衛門 (印)・兼帯茂左衛門(印)・正木村百姓代 武三郎(印)・年寄又兵衛(印)・庄屋与三 右衛門(印)・正木村百姓代六左衛門 (印)・兼帯庄屋三ツ又村茂左衛門(印)・ 則武村百姓代権右衛門(印)・年寄又左衛 門(印)・庄屋平兵衛(印)・御望村百姓代 半九郎(印)・年寄増右衛門(印)・庄屋八 郎治(印)・御望村百姓代為八・年寄周助 (印)・庄屋万治郎(印)・洞村百姓代幸助 (印)・年寄貞治(印)・庄屋左治平(印)・洞 村百姓代栄作(印)・年寄寛左衛門(印)・	縦	表紙「中山道河渡宿附属村々」、挿入紙1点あり

明治32	[大嘗会開催・新貨幣発行・電信線掛け渡しなどの御布告留帳並びに諸品売買取引心得方定書など綴]	(明治4年5~12月)	1871	5	0	48	綴	
明治33	《陸運会社規則書上帳》	明治4年9月	1871	9	0	48		現在所在不明
明治34	明治四未年正月神祭二付船人組三右衛門宅二而新規高帳挑灯幕相張所北組南組より障出御出訴奉申上候一件(願書・侘状など)	(明治4年1~2月)	1871	1	0	48	村木忠左衛門扣	綴
明治35	戸籍取調品々日記	明治四年辛十月	1871	10	0	48		綴
明治36	《飯盛奉公人名録 両組》	明治4年8月	1871	8	0	48		現在所在不明、『岐阜市史史料編近代一』pp.782~783に記載
明治37	金銀出入当座帳	明治三年庚午正月吉日	1870	1	0	48	村木忠左衛門	横長 表紙・裏表紙の綴じ紐部分に1点ずつ結び文あり、資料には「明治四三-二」と番号が書かれている
明治38	金銀出入当座帳	明治五年壬申正月吉日	1872	1	0	48	邨木勝手	横長 挿入紙あり、資料には「明治三七号」と番号が書かれている
明治39	金出入当座帳	明治六年二月三日	1873	2	0	3	村木忠一	横長 資料には「明治三八号」と番号が書かれている
明治40	宍番当座帳	明治七年一月一日	1874	1	0	1	村木	横長 挿入紙あり、資料には「明治三九号」と番号が書かれている
明治41	金銭出入当座帳	明治八年乙亥一月上院	1875	1	0	48	村木忠一控	横長 資料には「明治四〇号」と番号が書かれている
明治42	金銭出入当座帳	明治九年丙子一月一日	1876	1	0	1	村木控	横長 資料には「明治四三-三号」と番号が書かれている
明治43	金銭出入当座帳	明治十年丁丑一月	1877	1	0	48	村木忠一	横長 結び文あり、資料には「明治四三-四号」と番号が書かれている
明治44	金銭出入当座帳	明治十一年戊寅一月一日	1878	1	0	1	村木忠一	横長 資料には「明治四三-五号」と番号が書かれている
明治45	金銭出入当座帳	明治十二年己卯一月一日	1879	1	0	1	邨木忠一	横長 資料には「明治四三-六号」と番号が書かれている
明治46	金銀出入当座帳	明治十四年辛巳一月一日	1881	1	0	1	邨木忠一	横長 資料には「明治四三-七号」と番号が書かれている
明治47	金銭出入当座簿	明治十五年壬午一月一日	1882	1	0	1	河渡駅村木忠一	横長 資料には「明治四三-八号」と番号が書かれている
明治48	金銭出入当座簿	明治十六年癸未一月一日	1883	1	0	1	河渡駅村木忠一	横長 裏表紙の綴じ紐部分に結び文1点あり、資料には「明治四一-号」と番号が書かれている
明治49	金銭出入当座帳	明治十七年甲申一月一日	1884	1	0	1	村木忠一	横長 資料には「明治四三-九号」と番号が書かれている
明治50	金銭出納当座帳	明治十八年乙酉一月一日	1885	1	0	1	河渡駅邨木忠一扣	横長 資料には「明治四二号」と番号が書かれている
明治51	金銭出納当座帳	明治十九年丙戌一月一日	1886	1	0	1	河渡駅村木忠一	横長 資料には「明治四三号」と番号が書かれている
明治52	組合用動向日記	明治五壬申割後ヨリ西一月日	1872	99	0	98	伏越樋会所	綴 裏表紙下部欠損、資料には「明治四四号」と番号が書かれている
明治53	第四十七区入籍出生寄留送籍死亡出入分家移住絶家記録	明治五壬申年二月ヨリ	1872	2	0	48	六ヶ村戸長村木忠平、同(六ヶ村戸長)副曾我部俊治	綴 資料には「明治四五号」と番号が書かれている
明治54	第四十七区寄留人員御届ケ書取調帳	明治五壬申二月ヨリ	1872	2	0	48	戸長村木忠平、同(戸長)副曾我部俊治	綴 資料には「明治四六号」と番号が書かれている

明治55	御布告小前請印帳(火薬取締り方、僧尼の服忌・神社参詣についての達しなど承知につき)	明治五壬申年七月	1872	7	0	48 安藏(印)、門吉(印)、半平(印)、新藏(印)、しう、茂平(印)、和作(印)、権吉(印)、甚四(印)、長藏(印)、つる、直八(印)、久作(印)、松三(印)、龜七(印)、丈平(印)、与市(印)、源八(印)、柳三(印)、重松(印)、庄平(印)、利平(印)、竹三(印)、甚兵衛後家きく、磯八、才平(印)、彦八(印)、重吾(印)、直七(印)、伝吉(印)、万四(印)、安太(印)、宇平(印)、国二(印)、金作(印)、喜七(印)、甚吾、治吉(印)、与七(印)、庄七(印)、庄八(印)、勝三(印)、千八、久平、太八、文七後家つま、太七(印)、直二(印)、丈衛、清吉(印)、万七(印)、政八(印)、三祿(印)、市太(印)、利八(印)、長八(印)、秀成(印)、米三(印)、慶二(印)、喜市(印)、喜三(印)、市平(印)、久吾(印)、吉太(印)、惣三(印)、源三(印)、貫一、伊七(印)、寿八(印)、房治(印)、徳八(印)、芳太(印)、文四、治衛(印)、徳弥、源七(印)、こかつ、両吉(印)、惣平(印)、金二(印)、善三(印)、藤八(印)新八、豊七(印)、丈治(印)、市衛(印)、三四(印)、小作(印)、新平(印)、又三(印)、権藏(印)、久七(印)、喜八(印)、定吉、久六(印)、伝六(印)、太藏(印)、作藏(印)、喜作(印)、文弥、市郎(印)、孫七(印)、安衛(印)、庄藏(印)、用吉(印)、久平(印)、弥七(印)、藤吉(印)、宇平(印)、亦二(印)、勘三(印)、鍋藏(印)、伝治(印)、藤七(印)、新七(印)、甚九(印)、要八(印)、辰二(印)、作平(印)、 48 伏越組合	横長	資料には「明治四七号」と番号が書かれている
明治56	諸事割二入分拾出し簿	明治六(年)七月より同七年七月至	1873	7	0	48 伏越組合	横長	表紙「戌七月割」、資料には「明治四八号」と番号が書かれている
明治57	村方盆前小弘覚帳	明治六年七月	1873	7	0	48 村木忠一	横長	資料には「明治四九号」と番号が書かれている
明治58	杵筑(築)社境外竹木代価(覚帳)	明治二十年三月十二日	1887	3	0	12 市川愛吉、稲葉栄二(印)、白木茂一	横長	表紙「明治六年九月廿九日」、資料には「明治五〇号」と番号が書かれている
明治59	教員・取締・鑑務出頭記	明治六年十月	1873	10	0	48 有隣学校	横長	破損大、後ろに「生徒石盤渡記」などあり、資料には「明治五一号」と番号が書かれている
明治60	地券印税小前帳	明治六年十一月	1873	11	0	48	横長	挿入紙2点あり、資料には「明治五二一号」と番号が書かれている
明治61	癸酉小請取(酉御年貢米寄帳)	明治六年十二月	1873	12	0	48 戸長村木忠一	横長	表紙印「曾我」、資料には「明治五二二号」と番号が書かれている
明治62	甲戌小受取一(戌御年貢米寄帳)	明治七年十二月	1874	12	0	48 戸長村木忠一	横長	表紙印「曾我」、資料には「明治五二三号」と番号が書かれている
明治63	甲戌小受取二(戌御年貢米寄帳)	明治七年十二月	1874	12	0	48 戸長村木忠一	横長	表紙印「曾我」、資料には「明治五二四号」と番号が書かれている
明治64	酉之暮差引并金納請取勘定帳	明治七年一月	1874	1	0	48	横長	資料には「明治五三号」と番号が書かれている
明治65	伏越留樋其外割符帳	明治七年戌一月廿三日	1874	1	0	23 十五ヶ村組合	横長	資料には「明治五四号」と番号が書かれている
明治66	舗地米渡區別村々(書上帳)	明治七年二月	1874	2	0	48 村木扣	横長	後ろに明治十一年改正穂積・只越村渡し米勘定覚あり、資料には「明治五五号」と番号が書かれている
明治67	遞送并廻状留	明治七年四月下旬同年十二月迄	1874	4	0	48 戸長村木忠一	横長	縦じ紐切れ、表紙印「曾我」、資料には「明治五六号」と番号が書かれている、『岐阜市史史料編近代一』pp.654～655に一部分掲載
明治68	書籍並器械新調簿	明治七甲戌年十月	1874	10	0	48 第三十二番中学区七十七番小学有隣義校監事	横長	末尾に「明治八年七月十二日啓味舎ト合併ニ付寺田村内成寺ヲ当分仮開業ニ付差送候器械之記」あり、資料には「明治五七号」と番号が書かれている
明治69	戌之村小入用当座帳	明治七年二月	1874	2	0	48 戸長村木忠一	横長	縦じ紐切れ、表紙印「曾我」、資料には「明治五八号」と番号が書かれている
明治70	証印帳簿取調帳	明治七年十二月	1874	12	0	48	横長	資料には「明治五九号」と番号が書かれている
明治71	生徒授業料受納簿	明治七甲戌年十月	1874	10	0	48 有隣舎監事	横長	明治71～74はこより紐で綴られている、資料には「明治六〇号」と番号が書かれている
明治72	小使人足並諸品附込簿	明治七甲戌年十月	1874	10	0	48 有隣舎監事	横長	資料には「明治六一号」と番号が書かれている
明治73	参観日記簿	明治七甲戌年十一月七日	1874	11	0	7 有隣舎取締	横長	資料には「明治六二号」と番号が書かれている
明治74	金銭出納当坐簿	明治七甲戌年十月	1874	10	0	48 有隣舎取締	横長	明治74(回)～(月)はこより紐で綴られている、資料には「明治六三号」と番号が書かれている

明治74	書籍・石筆・石盤生徒販売簿	明治七甲戌年十月	1874	10	0	48 第三十二番中学区七十七番小学校有隣 義校取締	横長	
明治75	戌亥割目録	明治七年十二月分 明治 八年一月勘定	1874	12	0	48 安造(印)、与一(印)、柳三(印)、彦八 (印)、重吾(印)、伝吉(印)、宇平(印)、国 治(印)、金作(印)、甚吾、庄七(印)、庄八 (印)、太七(印)、万平(印)、丈衛(印)、儀 三(印)、万七(印)、利八(印)、長平(印)、 秀成(印)、米造(印)、喜三(印)、源造 (印)、宗太郎(印)、房治、久造(印)、徳八 (印)、芳太(印)、勇八(印)、文四、治衛 (印)、忠衛(印)、豊七(印)、市衛(印)、三 四(印)、小作(印)、豊松(印)、又三(印)、 久七(印)、喜八(印)、平六(印)、一郎 (印)、伝六(印)、太造(印)、作造(印)、喜 作(印)、文弥(印)、市郎(印)、孫七(印)、 権四(印)、久六(印)、庄造(印)、用吉 (印)、弥七(印)、宇平(印)、又治(印)、勘 三(印)、恵了(印)、藤七(印)、新七(印)、 甚九(印)、作平(印)、伊平(印)、直衛 (印)、市造(印)、甚八(印)、新作(印)、円 七(印)、与造(印)、彦平(印)、弥吉(印)、 祐吾(印)、弁八(印)、善七(印)、政一 (印)、嘉平(印)、丈四(印)、増平(印)、藤 造(印)、磯七(印)、為吉(印)、長四(印)、 宗作(印)、治平(印)、柳七(印)、善七 (印)、善八(印)、半四(印)、林七(印)、豊 造(印)、藤平(印)、菊造(印)、為八(印)、 市治(印)、万治(印)、友造(印)、幾四 (印)、常八(印)、勇八(印)、丈八(印)、儀 一(印)、定吉(印)、幸七(印)、嘉造(印)、 寺田村 伊八(印)、六平(印)、遠慶(印)、 鏡島村 治郎一、穂積村 源衛、祖父江村 三治郎	正副戸長御中 縦	表紙貼紙「(印:白木)第四十四号二百十九号」(朱書)、表紙印 「曾我」、資料には「明治六四号」と番号が書かれている
明治76	生徒授業料受納簿	明治八乙亥年一月	1875	1	0	48 有隣舎監事	横長	資料には「明治六五号」と番号が書かれている
明治77	地券印税過金割渡簿	明治八年一月	1875	1	0	48 戸長村木忠一	横長	資料には「明治六六号」と番号が書かれている
明治78	牧田講規定簿	明治八年三月	1875	3	0	48 講元村木吉太	横長	資料には「明治六七号」と番号が書かれている
明治79	牧田講勘定帳	明治八年三月	1875	3	0	48 講元村木吉太	横長	資料には「明治六八号」と番号が書かれている
明治80	諸入用割符御村々当書抜帳(伏越組合諸 入用割出金されたきにつき)	明治八年十月日	1875	10	0	48 伏越会所惣代(印:村木)	右御村々戸長 御中 横長	資料には「明治六九号」と番号が書かれている
明治81	廻達書並通送人記	明治八年十月四日 明治 九年五月十三日迄	1875	10	0	4 戸長村木忠口(一)	横長	綴じ紐切れ、表紙下部破損あり、資料には「明治七〇号」と番 号が書かれている
明治82	明治八年ヨリ明治十二年五月迄正副戸長 費用諸負中仲間勘定帳	(明治8~12年5月迄)	1875	99	0	98 三名社	横長	明治82(日)~(木)はこより紐で綴られている、綴じ紐切れ、資料に は「明治七一号」と番号が書かれている
明治82	[仲間勘定覚・入用割合記]	(明治10年9月14日)	1877	9	0	14	横長	挿入紙あり
明治82	請負勘定簿	明治十一年三月七日	1878	3	0	7 三名社	横長	
明治82	正副仲間取替記	(明治10年~12年)	1877	99	0	98	横長	
明治82	記(明治11年分仲間勘定につき)	明治十二年十月五日	1879	10	0	5 邨木忠一、白木門一、邨木勘吾	横長	
明治83	伏越樋修繕費野帳	明治九年二月ヨリ(明治 10年3月)	1876	2	0	48 十四ヶ村組合惣代	横半	資料には「明治七二号」と番号が書かれている
明治84	扣反別地価名寄帳	明治九年午三月十三日 改	1876	3	0	13 村木忠一	横長	明治84(日)~(火)はこより紐で綴られている、挿入紙あり、資料に は「明治七三号」と番号が書かれている
明治84	[字別土地図面など書付帳]	(明治13~22年)	1880	99	0	98	横長	
明治84	[敷地米記・反別並びに地価など書付帳]	(明治19~27年)	1886	99	0	98	横長	
明治85	[御掛金請取・講金受取通帳]	(明治9年12月~明治22 年12月)	1876	12	0	48	横長	資料には「明治七四号」と番号が書かれている
明治86	八年掬米(取米勘定にて積算されたきにつ き)	(明治)九年三月	1876	3	0	48 生津村加藤幸七	河渡村邨木忠 一殿 一紙	明治86(日)~(火)はこより紐で綴られている、資料には「明治七五 号」と番号が書かれている
明治86	記(取立方計算されたきにつき)	明治十年二月十七日	1877	2	0	17 生津村加藤栄三(印)	河渡邨村木忠 一殿 一紙	
明治86	記(取米計算されたきにつき)	(明治)十一年三月七日	1878	3	0	7 生津邨加藤栄三	河渡邨邨木忠 一殿 一紙	
明治87	諸色人足其外拾出し帳	明治十年二月	1877	2	0	48 伏越組合会所	横長	資料には「明治七六号」と番号が書かれている
明治88	曾我屋村地内六ヶ村組合割符帳	明治十年十二月	1877	12	0	48 河渡村、高屋村、生津村、柱本村、馬場 村、寺田村	横長	表紙「伏越組合へ加へ勘定済」、資料には「明治七七号」と番 号が書かれている

明治89	丑小入用当座帳	明治十年二月并寅明治十一年分共	1877	2	0	48 口(村)木忠口(一)	横長	表紙朱書「○第四十九号ノ一 武冊之内」、破損大、資料には「明治七八号」と番号が書かれている
明治90	惣代日記	明治十年四月ヨリ	1877	4	0	48 旧八ヶ村組合	横長	資料には「明治七九号」と番号が書かれている
明治91	曾我屋村地内横小堤修繕費仮割賦帳(横小堤一件費用仮割賦にて出金されたきにつき)	明治十年八月廿五日	1877	8	0	25 (七ヶ村)組合惣代(印)	横長 組合御村々正副戸長御中	表紙「七ヶ村組合」、資料には「明治八〇号」と番号が書かれている
明治92	河渡川渡船水主請印(渡船改正にて舟棹得業の者と元舟人を合併し新規組合取究につき)	明治十年一月廿九日	1877	1	0	29 森卯平(印)、森嘉七(印)、清水久四(印)、江崎園七(印)、青木与平(印)、森田伝治(印)、森田仲八(印)、武藤作平(印)、森弥吉(印)、武藤儀平(印)、武藤斧八(印)、青木辰治(印)、白木幸七(印)、白木喜平(印)、白木伊三(印)、鷺見治平(印)、白木為八(印)、白木為吉(印)、鷺見善七(印)、鷺見市治(印)、白木磯七(印)、細野菊造(印)、山田基四(印)、馬淵庄八(印)、馬淵長七(印)、江崎彦八(印)、鷺見竹造(印)、山田勝造(印)、白木柳七(印)、後藤長造(印)、後藤長四(印)、武藤喜作(印)、水野万平(印)、白木嘉造(印)、鷺見恩治(印)、鷺見増平(印)、細野徳三(印)、後藤松平(印)、鷺見芳平(印)、鷺見祐八(印)、水谷善吾(印)、水野磯八(印)、後藤文平(印)、馬淵庄平(印)、馬淵久作(印)、高橋権吉(印)、山下半三(印)、市側カ啓治(印)、水野重松(印)、馬淵庄七(印)、後藤才平(印)、馬淵庄吾(印)、細野喜造(印)、細野宗作(印)、鷺見藤平(印)、白木平七(印)、鷺見藤弥カ(印)、鷺見藤衛(印)、富川喜八(印)、細野祭造(印)、馬淵重吾(印)、高橋亀七(印)、後藤喜三郎(印)、青木門吉(印)、山下新造(印)、北川文衛(印)、高橋基三(印)、中山善三(印)、江崎源四(印)、水野太八(印)、山田松造(印)、水野万四(印)、馬淵長八(印)、山田半平(印)、山田基平(印)、森田弥作(印)、富川卯平(印)、山田直七(印)、白木豊造(印)、細野社七(印)、高橋	横長	表紙「戸長役場」、資料には「明治八一号」と番号が書かれている
明治93	壱号田面取繕野帳	明治十年丑六月一日	1877	6	0	1	横半	明治93(回)~(月)はこより紐で綴られている、資料には「明治八二号」と番号が書かれている
明治93	貳号田面取繕野帳	明治十年丑六月一日	1877	6	0	1	横半	
明治94	九ヶ村組合惣代出頭記	明治十一年一月	1878	1	0	48 組合会所	横長	資料には「明治八三号」と番号が書かれている
明治95	融通講勘定帳	明治十一年一月	1878	1	0	48 社中	横長	表紙「絳方 村木忠一」、資料には「明治八四号」と番号が書かれている
明治96	貳号丁丑勘定簿	明治十一年戊寅二月	1878	2	0	48 方県郡河渡村	横長	挿入紙2点あり、資料には「明治八五号」と番号が書かれている
明治97	横小堤定杭打換修繕費諸拾出簿	明治十一年八月廿八日	1878	8	0	28 旧八ヶ村組合	横長	資料には「明治八六号」と番号が書かれている
明治98	用水伏越樋伏替費分賦拾出簿	明治十一年八月廿三日	1878	8	0	23 旧九ヶ村組合	横長	資料には「明治八七号」と番号が書かれている
明治99	地券証下渡受印帳	明治十一年九月三日	1878	9	0	3 第七大区十一小区方県郡河渡村	横長	挿入紙1点あり、資料には「明治八八号」と番号が書かれている
明治100	河渡村扱所諸帳簿目録	明治十二年五月三十日	1879	5	0	30 白木嘉平	横長	挿入紙1点あり、資料には「明治八九号」と番号が書かれている
明治101	寅之金納庭長	明治十二年卯二月	1879	2	0	48 方県郡河渡村事務扱所	横長	破損あり、資料には「明治九〇号」と番号が書かれている
明治102	河渡川架橋一件出頭記	明治十三年五月十二日ヨリ(明治14年1月19日まで)	1880	5	0	12	横長	挿入紙1点あり、表紙「但従は以来役場ニ記載有之候也」、資料には「明治九一号」と番号が書かれている
明治103	伏越江筋修繕野帳	明治十三年二月ヨリ	1880	2	0	48 組合関代	横半	資料には「明治九二号」と番号が書かれている
明治104	治水共同社事務出頭日記	明治十三年八月	1880	8	0	48 治水共同社事務掛榎木忠一	横長	資料には「明治九三号」と番号が書かれている
明治105	勘定帳	明治十三年十二月一日	1880	12	0	1	横半 村木忠一様	資料には「明治九四号」と番号が書かれている
明治106	勘定帳	明治十三年十二月九日	1880	12	0	9	横半 村木光郎様	資料には「明治九五号」と番号が書かれている
明治107	勘定帳	明治十四年巳一月	1881	1	0	48	横半 村木忠一様	資料には「明治九六号」と番号が書かれている
明治108	曾我屋村地面組合六ヶ村助高・河渡村地内比津免伏越往還溝敷・馬場村地内井料米河渡地内九ヶ村・生津村地内伏越九ヶ村五分米割・明治十五年一月廿日生津村地内改正極ル清算并改正共割賦帳	明治十四年一月十七日	1881	1	0	17 榎木扣	横長	資料には「明治九七号」と番号が書かれている
明治109	差引勘定帳	明治十四年巳四月廿日	1881	4	0	20	横長	綴じ紐切れ、資料には「明治九八号」と番号が書かれている

明治110	村木伊七負債金年賦仕法帳	明治十九年二月	1886	2	0	48		横長	挿入紙2点あり、資料には「明治九九ノ一号」と番号が書かれている	
明治111	書留郵便継立証印記	明治二十年四月	1887	4	0	48	河渡美江寺間河渡郵便局	縦	資料には「九九ノ二号」と番号が書かれている	
明治112	明治廿年度上半期六ヶ村修繕賦課帳	(明治)二十年八月廿七日	1887	8	0	27	総代	横長	破損あり、資料には「明治一〇〇号」と番号が書かれている	
明治113	豆腐御通	明治廿八年三月一日 (~明治29年2月)	1895	3	0	1	(印:美濃国河渡駅村木新八)	村木光郎様	横半	表紙朱書「印税済」、資料には「明治一〇一号」と番号が書かれている
明治114	《掬米取立帳》	明治11年	1878	99	0	98				現在所在不明
明治115	卯之掬米取立帳	明治十二年己十二月	1879	12	0	48	村木忠一	横長	資料には「明治一〇三号」と番号が書かれている	
明治116	辰之掬米取立帳	明治十三年庚十二月	1880	12	0	48	村木忠一	横長	剥離紙あり、資料には「明治一〇四号」と番号が書かれている	
明治117	巳之掬米取立帳	明治十四年辛十二月	1881	12	0	48	村木忠一	横長	挿入紙2点あり、表紙朱書「検査済」、資料には「明治一〇五号」と番号が書かれている	
明治118	午之掬米取立帳	明治十五年壬十二月	1882	12	0	48	村木忠一	横長	表紙朱書「検査済」、資料には「明治一〇六号」と番号が書かれている	
明治119	未之掬米取立帳	明治十六年癸十二月	1883	12	0	48	村木忠一	横長	挿入紙1点あり、表紙朱書「検査済」、資料には「明治一〇七号」と番号が書かれている	
明治120	酉之掬米取立帳	明治十八年乙十二月	1885	12	0	48	河渡駅村木忠一	横長	挿入紙1点あり、資料には「明治一〇八号」と番号が書かれている	
明治121	戌之掬米取立帳	明治十九年丙十二月	1886	12	0	48	河渡駅村木忠一	横長	挿入紙2点あり、資料には「明治一〇九号」と番号が書かれている	
明治122	亥之掬米取立帳	明治二十年丁十二月	1887	12	0	48	河渡駅村木忠一	横長	資料には「明治一一〇号」と番号が書かれている	
明治123	子之掬米取立帳	明治二十一年戊十二月	1888	12	0	48	河渡村村木忠一	横長	挿入紙1点あり、資料には「明治一一一号」と番号が書かれている	
明治124	丑之掬米取立帳	明治二十二年己十二月	1889	12	0	48	河渡村村木忠一	横長	明治124回~(月)はこより紐で綴られている、挿入紙2点あり、資料には「明治一一二号」と番号が書かれている	
明治124	丑之掬米取立帳	明治二十二年己十二月	1889	12	0	48	河渡村村木光郎	横長		
明治125	寅之掬米取立帳	明治二十三年庚十二月	1890	12	0	48	河口(渡)村口(村)木忠一	横長	明治125・126はこより紐で綴られている、前半部分破損大、挿入紙2点あり、資料には「明治一一三ノ号」と番号が書かれている	
明治126	寅之掬米取立帳	明治二十三年庚十二月	1890	12	0	48	河渡村村木光郎	横長	資料には「明治一一三ノ二号」と番号が書かれている	
明治127	卯之掬米取立帳	明治二十四年辛十二月	1891	12	0	48	河渡村村木忠一	横長	明治127・128はこより紐で綴られている、資料には「明治一一四ノ号」と番号が書かれている	
明治128	卯之掬米取立帳	明治二十四年辛十二月	1891	12	0	48	河渡村村木光郎	横長	資料には「明治一一四ノ二号」と番号が書かれている	
明治129	辰之掬米取立帳	明治廿五年壬十二月	1892	12	0	48	河渡村村木秀雄後見人村木光郎	横長	後半部分に「明治二十五年壬十二月 辰之掬米取立帳 村木光郎控」あり、資料には「明治一一五号」と番号が書かれている	
明治130	巳之掬米取立帳	明治二十六年癸十二月	1893	12	0	48	村木秀雄後見人村木光郎控	横長	資料には「明治一一六号」と番号が書かれている	
明治131	午之掬米取立帳	明治二十七年甲十二月	1894	12	0	48	村木忠一後見人村木光郎控	横長	資料には「明治一一七号」と番号が書かれている	
明治132	未之掬米取立帳	明治二十八年二月	1895	2	0	48	村木忠一後見人村木光郎控	横長	資料には「明治一一八号」と番号が書かれている	
明治133	申之掬米取立帳	明治二十九年丙二月	1896	2	0	48	村木忠一後見人村木光郎	横長	剥離紙あり、資料には「明治一一九号」と番号が書かれている	
明治134	酉之掬米取立帳	明治三拾年丁二月	1897	2	0	48	村木忠一後見人村木光郎	横長	挿入紙1点あり、資料には「明治一二〇号」と番号が書かれている	
明治135	戌之掬米取立帳	明治三十一年戊二月	1898	2	0	48	村木忠一控	横長	資料には「明治一二一」と番号が書かれている	
明治136	亥之掬米取立帳	明治三十二年己二月	1899	2	0	48	村木忠一、村木光郎	横長	挿入紙1点あり、資料には「明治一二二号」と番号が書かれている	
明治137	子之掬米取立帳	明治三十三年庚二月調	1900	2	0	48	村木忠一、同(村木)光郎	横長	資料には「明治一二三号」と番号が書かれている	
明治138	丑之掬米取立帳	明治三拾四年辛二月	1901	2	0	48	村木忠一、同(村木)光郎	横長	資料には「明治一二四号」と番号が書かれている	
明治139	寅之掬米取立帳	明治参拾五年壬二月	1902	2	0	48	村木忠一、同(村木)光郎 控	横長	表紙の綴じ紐部分に結び文あり、資料には「明治一二五号」と番号が書かれている	
明治140	卯之掬米取立帳	明治参拾六年癸二月	1903	2	0	48	村木忠一、村木光郎 控	横長	表紙の綴じ紐部分に結び文あり、資料には「明治一二六号」と番号が書かれている	
明治141	辰之掬米取立帳	明治参拾七年十二月	1904	12	0	48	村木忠一、村木光郎 控	横長	表紙の綴じ紐部分に結び文あり、資料には「明治一二七号」と番号が書かれている	
明治142	巳之掬米取立帳	明治参拾八年乙二月	1905	2	0	48	村木忠一控	横長	資料には「明治一二八ノ一号」と番号が書かれている	
明治143	巳之掬米取立帳	明治参拾八年乙二月	1905	2	0	48	村木忠一控	横長	資料には「明治一二八ノ二号」と番号が書かれている	
明治144	午之掬米取立帳	明治参拾九年丙十二月	1906	12	0	48	村木忠一	横長	明治144・145はこより紐でつながっている、表紙の綴じ紐部分に結び文あり、資料には「明治一二九ノ号」と番号が書かれている	
明治145	午之掬米取立帳	明治参拾九年丙十二月	1906	12	0	48	村木光郎	横長	資料には「明治一二九ノ二号」と番号が書かれている	
明治146	未之掬米取立帳	明治四拾年丁十二月	1907	12	0	48	村木忠一	横長	資料には「明治一三〇号」と番号が書かれている	

明治147	申之掬米取立帳	明治四拾一年戊十二月	1908	12	0	48	村木忠一	横長	明治147・148はこより紐で綴られている、資料には「明治一三ノ一号」と番号が書かれている
明治148	申之掬米取立帳	明治四十一年戊十二月	1908	12	0	48	村木口口	横長	破損あり、資料には「明治一三ノ二号」と番号が書かれている
明治149	酉之掬米取立帳	明治四拾二年己十二月	1909	12	0	48	村木忠一	横長	明治149・150はこより紐で綴られている、資料には「明治一三ノ一号」と番号が書かれている
明治150	酉之掬米取立帳	明治四十二年己十二月	1909	12	0	48	村木富平	横長	資料には「明治一三ノ二号」と番号が書かれている
明治151	戌之掬米取立帳	明治四拾参年庚拾貳月	1910	12	0	48	村木忠一	横長	資料には「明治一三三号」と番号が書かれている
明治152	亥之掬米取立帳	明治四拾四年辛拾貳月	1911	12	0	48	村木忠一	横長	資料には「明治一三四号」と番号が書かれている
明治153	子之掬米取立帳	大正元年壬拾貳月	1912	12	0	48	村木忠一	横長	資料には「明治一三五号」と番号が書かれている
明治154	丑之掬米取立帳	大正貳年度癸拾貳月	1913	12	0	48	村木忠一	横長	資料には「明治一三六号」と番号が書かれている
明治155	寅之掬米取立帳	大正参年度甲拾貳月	1914	12	0	48	村木忠一	横長	資料には「明治一三七号」と番号が書かれている
明治156	卯之掬米取立帳	大正四年度乙拾貳月	1915	12	0	48	村木忠一	横長	表紙の綴じ紐部分に結び文あり、資料には「明治一三八号」と番号が書かれている
明治157	辰之掬米取立帳	大正五年度丙拾貳月	1916	12	0	48	村木忠一	横長	資料には「明治一三九号」と番号が書かれている
明治158	巳之掬米取立帳	大正六年度丁拾貳月	1917	12	0	48	村木忠一	横長	資料には「明治一四〇号」と番号が書かれている
明治159	午之掬米取立帳	大正七年度拾貳月吉日	1918	12	0	48	村木忠一	横長	資料には「明治一四一号」と番号が書かれている
明治160	未之掬米帳	大正八年度拾貳月吉日	1919	12	0	48	村木忠一	横長	資料には「明治一四二号」と番号が書かれている
明治161	掬米取立帳	大正拾年度酉拾貳月吉日	1921	12	0	48	村木忠一扣	横長	資料には「明治一四三号」と番号が書かれている
明治162	子之掬米取立帳	大正拾参年度拾貳月	1924	12	0	48	村木鍊太郎	横長	資料には「明治一四四号」と番号が書かれている
明治163	丑之掬米取立帳	大正拾四年度拾貳月吉日	1925	12	0	48	村木鍊太郎	横長	資料には「明治一四五号」と番号が書かれている
明治164	寅之掬米取立帳	大正拾五年及昭和元年度拾貳月吉日	1926	12	0	48	村木鍊太郎	横長	資料には「明治一四六号」と番号が書かれている
明治165	掬米取立帳	昭和四年度乙之拾貳月	1929	12	0	48	村木鍊太郎	横長	資料には「明治一四七号」と番号が書かれている
明治166	掬米取立帳	昭和五年度庚午拾貳月	1930	12	0	48	村木鍊太郎控	横長	資料には「明治一四八号」と番号が書かれている
明治167	掬米取立帳	昭和六年度辛未拾貳月	1931	12	0	48	村木鍊太郎	横長	資料には「明治一四九号」と番号が書かれている
明治168	掬米取立帳	昭和七年度壬申拾貳月	1932	12	0	48	村木鍊太郎	横長	資料には「明治一五〇号」と番号が書かれている
明治169	掬米取立帳	昭和八年度酉拾貳月	1933	12	0	48	村木鍊太郎	横長	資料には「明治一五一号」と番号が書かれている
明治170	掬米取立帳	昭和九年度甲戌十二月	1934	12	0	48	村木鍊太郎	横長	資料には「明治一五二号」と番号が書かれている
明治171	掬米取立帳	昭和十年度乙亥十二月	1935	12	0	48	村木鍊太郎	横長	資料には「明治一五三号」と番号が書かれている
明治172	掬米取立帳	昭和十一年度丙子十二月	1936	12	0	48	村木鍊太郎	横長	資料には「明治一五四号」と番号が書かれている
明治173	掬米取立帳	昭和十二年度	1937	99	0	98	村木鍊太郎	横長	表紙裏に「昭和十二年度分河渡地内田方減免解決案」が貼り付けられている、資料には「明治一五五号」と番号が書かれている
明治174	掬米取立帳	昭和十三年度	1938	99	0	98	村木鍊太郎	横長	資料には「明治一五六号」と番号が書かれている
明治175	大正九年度田方掬米差引勘定帳	(大正9年度)	1920	99	0	98		横長	資料には「明治一五七号」と番号が書かれている
明治176	〔明治10年分田面取繕受負記〕	(明治10年)	1877	99	0	98		横長	明治176(日)～(月)は綴られている、資料には「明治一五八号」と番号が書かれている
明治176	〔明治11年田面入足記・諸色記など書付帳〕	(明治11年)	1878	99	0	98		横長	
明治177	記(地番・など級・反別・掬米・地価など書付)		9999	99	0	98		横長	資料には「明治一五九号」と番号が書かれている
明治178	仕稼帳(拝殿入用材木など書付)		9999	99	0	98		横長	資料には「明治一六〇号」と番号が書かれている
明治179	十年二月伏越払(河渡新町・上河渡・河渡西町別の人数・人名など書付)	(明治10年2月)	1877	2	0	98		横長	資料には「明治一六一号」と番号が書かれている
明治180	記(鮎塩焼・酒など代金受取につき)	未一月	9907	1	0	48	台屋常次郎(印)	横長	資料には「明治一六二号」と番号が書かれている
明治181	中町借家年改	五月十九日	9999	5	0	19		一紙	資料には「明治一六三号」と番号が書かれている
明治182	〔金銭差引計算など書付〕	(明治7～10年)	1874	99	0	98		横長	資料には「明治一六四号」と番号が書かれている
明治183	〔長・坪数など覚帳〕		9999	99	0	98		横長	「不用」とあり、資料には「明治一六五号」と番号が書かれている
明治184	村方盆前払	(明治)十年	1877	99	0	98		横長	資料には「明治一六六号」と番号が書かれている
明治185	〔伏越組合取替払・九尺堀一件三か村分取替払・学校取替金・講一件入費記など覚帳〕	(明治12～14年)	1879	99	0	98		横長	挿入紙1点あり、資料には「明治一六七号」と番号が書かれている
明治186	地持中間(仮割の金銭出金されたきにつき)	(明治)十年八月割 八月三十一日	1877	8	0	31	白木門一、村木忠一	横長	資料には「明治一六八号」と番号が書かれている

明治187	渡船出入一件地持連中割(割賦金など書付)	(明治)十二年四月	1879	4	0	48		横長	資料には「明治一六九号」と番号が書かれている
明治188	記(酒・美濃紙など代金請取につき)		9999	99	0	98	みのや徳八	御惣代御中 横長	資料には「明治一七〇号」と番号が書かれている
明治189	〔諸入用帳〕	(明治21～25年)	1888	99	0	98	河渡橋事務所	横半	帖の一部分がこより紐で綴じられている、資料には「明治一七一号」と番号が書かれている
明治190	記(酒など代金書付)	寅八月	9902	8	0	48	井桁屋源蔵	九ヶ村御戸長 一紙 御中様	資料には「明治一七二号」と番号が書かれている
明治191	〔地価割・戸数割金銭差引など書付〕	(明治23～24年)	1890	99	0	98		一紙	資料には「明治一七三号」と番号が書かれている
明治192	惣代持(支払金銭差引など書付)		9999	99	0	98		横長	資料には「明治一七四号」と番号が書かれている
明治193	当家積金講(8会日より14会目満講までの元利金など書付並びに出金依頼)	明治二十年一月廿三日	1887	1	0	23	邨木宗三	邨木忠一殿 一紙	資料には「明治一七五号」と番号が書かれている
明治194	記(酒肴など代金受取につき)	巳一月	9905	1	0	48	井桁屋源造	敷地調一件委員御衆中様 一紙	資料には「明治一七六号」と番号が書かれている
明治195	〔江崎村学舎年内借料・営繕料など学校蔵入・蔵出覧〕		9999	99	0	98		縦	資料には「明治一七七号」と番号が書かれている
明治196	記(年賦金返済額など書付)	(明治19年9月より本年4月まで)	1886	9	0	98	水谷源造	縦	資料には「明治一七八号」と番号が書かれている
明治197	記(板谷川敷地弁米村々割当書付)		9999	99	0	98		一紙	資料には「明治一七九号」と番号が書かれている
明治198	〔砂利・石積など入札金額など書付〕	二月十五日開札	9999	2	0	15		縦	資料には「明治一八〇号」と番号が書かれている
明治199	村木安吉積合講口秀成加入組合勘定(カ)	(明治17年11月～明治20年11月)	1884	11	0	48		一紙	資料には「明治一八一号」と番号が書かれている
明治200	(欠番)		9999	99	0	98			
明治201	御触書之写(駅通御役所よりの助郷組替などの件並びに駅通規則)	(明治元年)辰九月十九日到来	1868	9	0	19		横長	
明治202	差入申内熟一札之事(和宮下向の節の諸入用向きの夫銭割差支えにて役所へ願ひ上げの処、熟談し村役人給米・村方取替金利足の義など示談につき)	明治元辰年十二月	1868	12	0	48	方県郡河渡村高持惣代茂三郎・市左衛門・門十郎・文助・善兵衛、百姓代勇八、年寄儀右衛門・忠左衛門、年寄後見四郎右衛門、庄屋広助、庄屋後見忠兵衛	古市場村助三郎殿、交人村清市殿、馬場村孫右衛門殿 縦	
明治203	乍恐以書付奉歎願候(河渡村含む15か村累年水災難洪にて、文久元年板谷川堤築立などの諸入用取賄い出来ず金銭借用願ひにつき)	明治二巳年三月	1869	3	0	48	組合村々連印	笠松県御役所 縦	
明治204	御布告(天長節の再布告・百姓町人の士列に紛らわしき風体にての通行禁止など留帳)	(明治3～4年)庚午辛未	1870	99	0	98	邨木扣	縦	挿入紙1点あり
明治205	〔正金引換の儀にて至急罷出の件、陸運会社開業についての条例などの布告書付〕	(明治2年7月7日～明治4年8月24日)	1869	7	0	7		縦	
明治206	乍恐以書付奉願上候(村役名改称にて市川長平を戸長、村木忠一・市川愛吉を副戸長として御用勤許可願ひ)	明治五壬申六月	1872	6	0	48	元庄屋後見村木忠平、元庄屋村木忠衛、市川広助、元年寄後見市川久造、元年寄村木忠一、水谷儀三、市川愛吉、同断(元年寄)村木勘衛、元百姓代村木勇八	岐阜県御役所 縦	
明治207	奉願住職之事(願明寺明恵病氣にて実子恵了後住職に願ひたきにつき)	明治五年壬申七月	1872	7	0	48	厚見郡今泉村真宗本願寺出張所輪番 唯念寺印	岐阜県御役所 縦	明治437と関連

明治208	小前請印帳(山蚕養法告諭、旧習を以って(明治5年)壬申九月十家格を立てる儀禁止の事など触れの趣承 九日知につき)	1872	9	0	19	安造(印)、門吉(印)、半平(印)、新造(印)、和作(印)、権吉(印)、基四(印)、長造(印)、つる(印)、直八(印)、久作(印)、松三(印)、亀七(印)、文平(印)、源八(印)、柳三(印)、重松(印)、庄平(印)、利平(印)、竹三(印)、基之丞後家きく(印)、磯八(印)、才平(印)、彦八(印)、重吾(印)、直七(印)、伝吉(印)、万四(印)、安太(印)、宇平(印)、国治(印)、金作(印)、喜七(印)、庄七(印)、庄八(印)、勝三(印)、久平、太八(印)、文七後家つま(印)、多七(印)、直治(印)、丈衛(印)、清吉(印)、万七(印)、政八(印)、利八(印)、長八(印)、米造(印)、慶二(印)、喜三(印)、徳弥(印)、源七(印)、丈治(印)、藤八(印)、市太、秀成(印)、吉太(印)、平八、基五、与七、こう(印)、与市(印)、茂平(印)、みね(印)、久吾(印)、勘衛(印)、惣三(印)、源造(印)、貫一(印)、伊七(印)、寿八(印)、房治(印)、徳八(印)、芳太(印)、文四、治衛(印)、小かつ(印)、両吉(印)、新八(印)、勇八(印)、豊七(印)、市衛(印)、三四(印)、惣平(印)、金治(印)、善三(印)、小作(印)、新平(印)、又三(印)、権造(印)、久七(印)、喜八(印)、定吉(印)、久六(印)、伝六(印)、多造、作造(印)、喜作(印)、文弥(印)、孫七(印)、安衛(印)、庄造(印)、用吉(印)、久平(印)、孫七(印)、藤吉(印)、宇平(印)、亦治(印)、勘三(印)、鍋造(印)、伝治(印)、新七(印)、基九(印)、要八(印)、辰二、作平(印)、伊平(印)、清衛(印)、吉造(印)	縦		
明治209	御布令留(大祓再興にて式次第・伊勢両宮御祭典還拜式の心得・地券渡方規則なりど)	1872	11	0	48	榎木扣	縦		
明治210	[玉占口寄などの所業禁止、平民相互金穀借貸の動産・不動産・質物は慶応3年12月晦日以前の件も裁判に及ぶ旨など布告留帳]	1873	1	0	48		縦	印刷物	
明治211	[船税規則布告にて50石積以上の荷船は鑑札願出につき、無鑑札者を取調べ期日までに届け出るよう達し]	明治六年一月廿八日	1873	1	0	28	岐阜県令長谷部愨連	一紙	縦じ穴跡あり
明治212	河渡川渡船賃改正見込何書 下書(最初の見込みより通行多により渡船賃引下げ願いにつき)	明治六年三月廿一日上納	1873	3	0	21	中山道河渡川渡船取締役惣代市川愛吉(印)、村木忠一(印)	縦	『岐阜市史資料編近代一』pp.655～656に収載
明治213	[徴兵相当の人員名取調べにつき徴兵連名簿及び免役連名簿を区内村々取纏め作製し、学区取締中へ差出すよう達留]	(明治6年4月15日)	1873	4	0	15	(小崎岐阜県参事)	縦	(席田郡九十九区、方県郡第百区、第百一区、第百二区、第百三区、第百四区、第百五区、第百六区右区々々番戸長)
明治214	[徴兵令取調べの義にて府県奉職者などは別簿に認める事、徴兵連名簿及び免役連名簿への追記事項など陸軍省より達しにつき廻状]	(明治6年第6月初2)	1873	6	0	2	(第三中学区取締方県郡川部村福島積次)	縦	(三浦儀左衛門棟、野々村佐兵衛棟、村木忠一棟)
明治215	貴属寄留御届	明治六年五月	1873	5	0	48	第七大区十一ノ小区年番戸長村木忠一(印)	縦	小崎岐阜県参事殿
明治216	[奉職之者連名簿などの年齢別雛形]	(明治6年6月)	1873	6	0	48		縦	
明治214								縦	明治214と明治215の間に「岐阜県管轄第七大区十一ノ小区美濃国方県郡渡渡(ママ)村副戸長 村木勘吾」と書かれた紙あり
明治215								縦	挿入紙1点あり

明治217	乍恐以書付奉願上候(村木忠一・村木勘吾・白木門一らに戸長・副戸長の御用向き勤めたく許可願ひ)	明治六年六月	1873	6	0	48	右(河渡)村戸長市川長平、副戸長村木忠一、市川愛吉、元庄屋村木忠衛(印)、元年寄水谷儀三(印)・村木勘衛(印)、元百姓代村木勇八(印)、高持惣代水谷文四(印)・白木門一・後藤市郎(印)・村木秀成(印)・村木豊七(印)・水谷房治(印)・白木儀一(印)・白木丈八	小崎岐阜県参事殿		
明治218	約定証(寺田村の内下曾我屋村外2か村切手分地券証御下げの処、地券願取調帳の書き入れが地券証には無きにて改正の節は書き載せるようにつき)	明治六年十二月	1873	12	0	48	方県郡寺田村戸長小林文吾(印)、下曾我屋村戸長渡辺二郎(印)、一日市場村戸長国井為造(印)、小島村戸長戸部新衛(印)、証人河渡村戸長村木忠一(印)		縦	
明治219	江崎村より河渡村江掛漁場差障出入御裁許写(明治7年長良川境界訴訟にての江崎村証書)	宝暦十一年巳九月十一日	1761	9	0	11	訴訟方永井伊賀守領分濃州厚見郡江崎村庄屋源兵衛、組頭長右衛門、百姓惣代七十郎、相手方戸田采女正御預り所同国方県郡河渡宿庄屋忠兵衛、年寄長兵衛、百姓惣代惣五郎	御評定所	縦	明治219～252はビニール紐・袋一括、袋「明治七年從六月十八日至 長良川通經界江崎村ヨリ河渡村外二ヶ村江掛出入一件書類 村木扣」、表紙「河渡村」、明治7年に写したもの
明治220	長良川通境界之儀二付江崎村より河渡・生津・只越三ヶ村に相掛り訴出御糺中日誌	明治七年六月十八日以來(～明治8年8月1日)	1874	6	0	18	村木忠一扣		縦	
明治221	証書写(長良川境界訴訟につき江崎村より現今絵図面・免状・御請書など写)	明治七年七月七日	1874	7	0	7	厚見郡江崎村農原告代言人塩谷新吾、農原告人真鍋半市、同(厚見)郡上加納村商代書人清水鎌太郎	岐阜県参事小崎利準殿	縦	
明治222	御免状写(長良川境界訴訟につき江崎村よりの証書、川高5石記載の明治4年江崎村御物割割付状写)	明治七年七月七日	1874	7	0	7	厚見郡江崎村農原告代言人塩谷新吾、副戸長農原告人真鍋半市、同(厚見)郡上加納村商代書人清水鎌太郎	岐阜県参事小崎利準殿	縦	表紙貼紙「第六百六拾三号」
明治223	川經界不当申掛之訴答書(江崎村より長良川境界訴訟にて、漁撈川年貢に基づき川一円自村へ抱込む申立ては意を得難いなど返答につき)	明治七年七月廿七日	1874	7	0	7	(方県郡河渡村戸長農被告人)村木忠一、(本巢郡生津村副戸長農被告人)棚橋東一、(本巢郡只越村農被告人)人)広瀬十郎平、安八郡中野村代書人	岐阜県参事小崎利準殿	縦	「本巢郡生津村戸長農 被告人 加藤耕三、同(本巢)郡只越村戸長農 同断(被告人) 広瀬源平」の奥書あり
明治224	裁判申渡書(川敷境界訴訟にて江崎村よりの証書は川敷の証拠に不採用などにて、境界は長良川現今水流中央との判決につき)	明治八年七月三十一日	1875	7	0	31	岐阜県庁印	原告美濃国厚見郡江崎村戸長川口弥一代兼小前惣代塩谷新吾、副戸長服部甚九郎代兼元副戸長真鍋半一、被告同国方県郡河渡村戸長村木忠一、副戸長村木勘吾、同国本巢郡生津村戸長加藤耕三代兼副戸長棚橋東一、小前惣代西堀弥市・同国同(本巢)郡只越村戸長広瀬源平代言広瀬重郎平・小前惣代加藤藤内	縦	明治257の写
明治225	川經界不当申掛之訴状(長良川境界訴訟につき河渡・生津・只越村から証書披見の処、熟議整わず別冊の絵図に照準境界の裁断願ひ)	明治七年七月	1874	7	0	48	(厚見郡江崎村農原告代言人)塩谷新吾、(副戸長農原告人)真鍋半市、厚見郡上加納村商代書人清水鎌太郎	岐阜県参事小崎利準殿	縦	表紙朱書「第六百六十三号卷」、「厚見郡江崎村戸長農 原告人 塩谷宇内」の奥書あり
明治226	川經界申掛之訴答書之復答書(長良川通境界訴訟にて被告から答書差上げの処、復答仰付けにより申上げ)	明治七年八月八日	1874	8	0	8	(厚見郡江崎村農原告代言人)塩谷新吾印、(厚見郡江崎村副戸長原告人)真鍋半市印、厚見郡上加納村商代書人西部久七印	岐阜県参事小崎利準殿	縦	表紙「六百六十三号」
明治227	河渡村・生津村・只越村・江崎村立会分間野帳(長良川境界訴訟につき)	明治七年九月三十日ヨリ十月四日ニ至リ終ル	1874	9	0	30	村木扣		横長	
明治228	[長良川境界訴訟にての書料明細記・出頭手当明細記並びに裁判申渡書受取証]	(明治7年6月18日～明治8年7月31日)	1874	6	0	18	(方県郡河渡村戸長村木忠一、本巢郡生津村副戸長棚橋東一、本巢郡只越村戸長広瀬源平代言広瀬十郎平)	(六等判事小崎利準殿代理七等判事斯波有造殿)	横長	
明治229	川經界御見分二付記(ママ)	明治八年五月五日	1875	5	0	5	村木		横半	

明治230	境界論所御見分受書留(長良川境界訴訟の論所見分承知などにつき)	明治八年五月五日	1875	5	0	5	方県郡河渡村	縦		
明治231	長良川通川敷境界一件訴訟入費取調帳	明治八年八月二日	1875	8	0	2	河渡村、生津村、只越村	横長		
明治232	長良川通川敷境界一件訴訟入費取調帳	明治八年八月二日	1875	8	0	2	河渡村、生津村、只越村	横長		
明治233	[長良川境界訴訟にての書料明細記・出頭手当明細記など書付帳]	明治八年八月四日	1875	8	0	4	被告方県郡河渡村村木忠一・本巢郡生津村棚橋東一・同(本巢)郡只越村広瀬十郎平、代書人池田郡片山村 松岡直三郎	縦	朱書きで訂正などあり	
明治234	訴訟入費不渡之訴状(明治8年7月裁断の長良川境界事件の訴訟入費、被告人へ催促の処、出金せず難渋につき)	明治八年九月廿日	1875	9	0	20	(池田郡片山村農原告代理人)松岡直三郎、厚見郡富茂登村差添人園部才治郎	六等判事小崎利準殿	縦	明治234回～(用はこより紐で綴られている、「原告人 方県郡河渡村農戸長 村木忠一・本巢郡生津村農副長 棚橋東一・同(本巢)郡只越村農 広瀬十郎平、明友差添人 厚見郡富茂登村 園部才次郎」の奥印あり
明治234	証拠書類之写書(長良川境界訴訟入費の儀、原則は規則通り原告人より被告人へ償却にて書料明細・出頭明細など書上)	明治八年九月廿日	1875	9	0	20	池田郡片山村農原告代理人松岡直三郎印、厚見郡富茂登村明友差添人園部才治郎印	六等判事小崎利準殿	縦	
明治235	[長良川境界訴訟入費不渡之訴状・訴済口答書など留帳]	(明治9年2月2日～3月12日)	1876	2	0	2			縦	
明治236	記(江崎・河渡・生津・只越村4か村、長良川通川鋪境界立会丈量書上)	明治九年三月三日	1876	3	0	3	右(厚見郡)江崎村真鍋半一(印)、(方県郡)河渡村村木忠一(印)、(本巢郡)生津村棚橋東一(印)、(本巢郡)只越村加藤浅吉(印)	地租御改正御庁	縦	
明治237	[長良川境界事件の訴訟入費の件、松岡直三郎に委任にて被告人へ催促の処、出金せずにて訴状下書]	明治九年	1876	99	0	98	(厚見郡今泉村寄留)松岡直三郎、厚見郡富茂登村商明友差添人園部才次郎	七等判事斯波有造殿	縦	「原告人 方県郡河渡村農戸長 村木忠一・本巢郡生津村農 棚橋東一・同(本巢)郡只越村農 広瀬十郎平」の奥印あり
明治238	証(種痘済につき)	明治三十年三月四日	1897	3	0	4	美濃国安八郡浅草中村医師鈴木隆(印)、美濃国安八郡内阿原村廿八番戸種痘擔理医大橋半蔵	一紙	一紙	
明治239	証(種痘済につき)	明治三十年三月四日	1897	3	0	4	美濃国安八郡浅草中村医師鈴木隆(印)、美濃国安八郡内阿原村廿八番戸種痘擔理医大橋半蔵	一紙	一紙	
明治240	証(種痘済につき)	明治三十年三月四日	1897	3	0	4	美濃国安八郡浅草中村医師鈴木隆(印)、美濃国安八郡内阿原村廿八番戸種痘擔理医大橋半蔵	一紙	一紙	
明治241	元禄十四辛未年御改図之抜図(明治7年長良川境界訴訟につき河渡村よりの証書)	(元禄14年)	1701	99	0	98			一紙	
明治242	[明治7年長良川境界訴訟につき、嘉永2酉年・文久元酉年・嘉永2酉年・文久元酉年和宮様下向の節渡船場縮図]	(嘉永2酉年・文久元酉年)	1849	99	0	98			一紙	明治242回～(用は糊で貼り付けられている、朱書で「第貳号添」とあり
明治242	[明治7年長良川境界訴訟につき、天保2卯年有君様御下向の節渡船場縮図]	(天保2卯年)	1831	99	0	98			一紙	
明治243	[明治7年長良川境界訴訟につき、正保2乙酉年美濃国山川里一國郷帳附高石御改絵図・元禄14辛巳年12月御改絵図記載人名など写]	(正保2乙酉年・元禄14辛巳年)	1645	99	0	98			一紙	
明治244	現今境界図(厚見郡江崎村・方県郡河渡村・本巢郡生津村・本巢郡只越村間の長良川通絵図)	明治七年十二月	1874	12	0	48	原告厚見郡江崎村戸長代塩谷新吾、被告方県郡河渡村戸長村木忠一(印)・本巢郡生津村副戸長棚橋東一(印)・同(本巢)郡只越村戸長代広瀬十郎平		一紙	43.4×95.2cm、付箋あり、「以百間為貳寸」とあり、裏に印(曾我)あり
明治245	[江崎村より長良川境界訴訟につき訴答書下書]	(明治7年7月カ)	1874	7	0	27			縦	
明治246	[長良川境界訴訟入費にて出訴につき、裁判下書本紙貸してくるよう依頼状]	(明治9年)一月廿八日	1876	1	0	28	岐阜七軒丁松岡直三郎	河渡村御戸長村木忠一様	切紙	
明治247	現今地形(河渡・寺田村と西鏡島・江崎村間の長良川中洲絵図)	(明治7年カ)	1874	99	0	98			一紙	明治254の関連絵図カ
明治248	[小島・寺田・河渡・生津・只越村と鏡島・江崎村間の長良川通絵図]	(明治7年カ)	1874	99	0	98			一紙	
明治249	二十八星(図)		9999	99	0	98			一紙	
明治250	長良川通現今流水中央境界丈量立会取調	(明治9年)	1876	99	0	98			縦	
明治251	[興行日の変更届・実地丈量手直しの儀天候などにより延長願・水陸運会社よりの舟鑑礼伺書など願書留]	(明治7年7月24日～明治8年3月24日)	1874	7	0	24			縦	
明治252	[長良川境界訴訟につき不当申掛の訴答書並びに訴状再答書下書]	(明治7年7～8月カ)	1874	7	0	48			縦	

明治253	癸酉地租皆済目録	明治七年九月	1874	9	0	48	岐阜県庁(印)	右(美濃国方 岐阜河渡)村 正副戸長、惣 百姓	一紙	
明治254	謹而奉款願候(長良川通中洲境界の儀、 鏡島村より出訴の趣、中洲は寛永12年の 検地帳などにより河渡村地内に紛れなき につき)	明治七年十一月	1874	11	0	48	方県河渡村副戸長白木門一(印)・村木 勘吾(印)、戸長村木忠一(印)	岐阜県参事小 崎利準殿	縦	
明治255	謹而奉款願候(生津・河渡村立会普請の 儀、過築・出水などにて入費當り普請金 内借願い)	明治八年六月十三日	1875	6	0	13	本巢郡生津村副戸長棚橋東一(印)、戸長 加藤耕三(印)、方県河渡村副戸長村木 勘吾(印)、戸長村木忠一(印)	六等判事小崎 利準殿代理七 等判事斯波有 造殿	縦	「堤防締役関谷耕二(印)」の奥書あり
明治256	[江崎村よりの長良川境界訴訟につき訴 状再答状・証書写など留帳]	(明治6年8月～明治8年 7月)	1873	8	0	48			縦	
明治257	裁判申渡書(川敷境界訴訟にて江崎村よ りの証書は川敷の証拠に不採用などに て、境界は長良川現今水流中央との判決 につき)	明治八年七月三十一日	1875	7	0	31	岐阜県庁(印)	原告美濃国厚 見郡江崎村戸 長川口弥一代 兼小前惣代塩 谷新吾・副戸 長服部甚九郎 代兼元副戸長 真鍋半一、被 告同国方県郡 河渡村戸長村 木忠一・副戸 長村木勘吾・ 同国本巢郡生 津村戸長加藤 耕三代兼副戸 長棚橋東一・ 小前惣代西堀 弥市・同国同 (本巢)郡只越 村戸長広瀬源 平代言広瀬重 郎平・小前惣 代加藤藤内	縦	明治224は明治257の写
明治258	[穂積村の者より出訴にて貸金出入吟味 の上、所有物の入札代金にて借財方済ま すようにつき通知]	明治八年十一月十二日	1875	11	0	12			一紙	
明治259	四ヶ村重田一件熟談書写(河渡・生津・馬 場・高屋村は水災極難にて、銘々低所の 分重田にするは障り村もあるにつき)	明治八年十二月	1875	12	0	48	方県河渡村副戸長白木門一、戸長村木 忠一		縦	
明治260	約定書之事(運送人継立の儀、河渡・生 津・馬場・本田・美江寺村順村にて継送る 処、河渡村より美江寺村まで継立諸費・手 数料を定めるにつき)	明治九年子四月一日	1876	4	0	1	本巢郡本田村戸長馬淵禎哉(印)、同(本 巢)郡馬場村戸長河合愛平(印)、同(本 巢)郡生津村戸長加藤耕一(印)	方県河渡村 正副戸長御中	一紙	
明治261	[七等郵便取扱役手当として1か月金20 銭、筆・紙・墨料10銭渡すにつき辞令]	明治九年九月一日	1876	9	0	1	駅通頭前島密(印)	七等郵便取扱 役村木忠一	一紙	明治261～266はこより紐一括
明治262	[七等郵便取扱役辞令]	明治九年九月一日	1876	9	0	1	駅通頭前島密(印)	村木忠一	一紙	
明治263	[その地郵便局を五等郵便局と定めるに つき申付状]	明治九年九月一日	1876	9	0	1	駅通寮	七等郵便取扱 役村木忠一	一紙	
明治264	[四等郵便取扱役辞令]	明治十三年六月廿一日	1880	6	0	21	駅通総官従四位前島密(印)	村木忠一	一紙	
明治265	[四等郵便取扱役手当として1か月金50 銭、筆・紙・墨料10銭給与につき辞令]	明治十四年八月一日	1881	8	0	1	駅通局	四等郵便取扱 役村木忠一	一紙	
明治266	[四等郵便取扱役手当として1か月金50銭 給与につき辞令]	明治十六年三月一日	1883	3	0	1	駅通局	四等郵便取扱 役村木忠一	一紙	
明治267	[曾我屋村地内以樋の儀、出水の節の戸 締方は注意するにて組合村々も注意す よう請書差上げにより、その旨承知するよ う依頼状]	明治九年十月	1876	10	0	48	堤防締役春日善三郎(印)	六ヶ村組合正 副戸長御中	縦	
明治268	郵便集配并御出方郵便切手売下月計簿	(明治9年9月～明治23 年3月)	1876	9	0	48			縦	挿入紙3点あり、朱書「明治九年九月一日開局」、『岐阜市史資 料編近代一』pp.652～653に収載
明治269	願書(曾我屋村地内横小堤の修繕を板谷 川通伏越樋修繕などにて怠り、定杭打替・ 堤修繕の打合わせに上下村々立会わざる により説諭くださるようにつき)	明治十年六月	1877	6	0	48	方県河渡村、寺田村、曾我屋村、本巢 郡柱本村、高屋村、馬場村、生津村、右村 惣代本巢郡生津村戸長加藤栄三、方県 郡曾我屋村副戸長鷺見善六、同(方県)郡 河渡村戸長村木忠一	岐阜県権令小 崎利準殿	縦	

明治270	謹而奉願上候(板谷川通伏越樋築造などにて曾我屋村地内横小堤修繕怠り築き立て申す取、上下村々不服申すにて規定の通り築き立てを説諭くださるようにつき)	明治十年六月廿六日	1877	6	0	26	方県郡河渡村、寺田村、曾我屋村、本巢郡柱本村、高屋村、馬場村、生津村、右村々惣代生津村戸長加藤栄三(印)、曾我屋村副戸長鷺見善六(印)、河渡村戸長村木忠一(印)	岐阜県権令小 縦 崎利準殿	
明治271	水除切所築立ノ訴御願下(川部村戸長外12人に曾我屋村地内横小堤切所の築立ての義を訴え上げの処、疎漏の虞あるにて願下げにつき)	明治十年七月九日	1877	7	0	9	右(第七大区十一小区方県郡河渡村平民戸長原告人)村木忠一(印)、(第七大区十一小区方県郡曾我屋村平民副戸長原告人)鷺見善六(印)、(第七大区三小区本巢郡馬場村平民戸長原告総代)河合真弥(印)、(第一大区七小区厚見郡馬屋村平民農差添人小塩寿太郎(印))	松本裁判所長 縦 代理 岐阜支 庁長判事補長 谷文殿	明治271(回)~(月)はこより紐で綴られている。「願之趣聞届候事 明治十年七月九日(印:松本裁判所岐阜支庁)」と朱書あり
明治271	水除切所築立之訴状(板谷川樋の管繕などにて曾我屋村地内水除横小堤切所の築立方不行届、定杭の打替などの催促に応じずにつき)	明治十年七月	1877	7	0	48	右(第七大区十一小区方県郡河渡村平民戸長原告人総代)村木忠一(印)、(第七大区十一小区方県郡曾我屋村平民副戸長原告人総代)鷺見善六(印)、(第七大区三小区本巢郡馬場村平民戸長原告総代)河合真弥(印)、(第一大区七小区厚見郡馬屋村平民農差添人小塩寿太郎(印))	松本裁判所長 縦 代理 岐阜支 庁長判事補長 谷文殿	奥書に方県郡河渡村副戸長村木勘吾外13人の名前あり
明治272	待罪書(曾我屋村地内横小堤の堤敷は水下組合より敷地米取り来る処、地券改正の際に堤敷切処を池成に編入につき)	明治十年八月廿九日	1877	8	0	29	第七大区十一小区方県郡曾我屋村副戸長鷺見善六、戸長渡辺二郎	岐阜県権令小 一紙 崎利準殿	
明治273	待罪書(曾我屋村横小堤の切所築立の処、地価取調への際に堤切所を池成にて調進など不都合行ひにつき)	明治十年九月八日	1877	9	0	8	第七大区十一小区方県郡曾我屋村副戸長鷺見善六、戸長渡辺二郎	岐阜県権令小 縦 崎利準殿	
明治274	御請書(東雲学校本月暴風雨により河水暴漲し校舎・諸器械一切流出の処、金100円扶助につき)	明治十年十一月五日	1877	11	0	5	第三十二番中学区内方県郡寺田村東雲学校主者村木忠一	一紙	
明治275	[堤防修繕費賦課・堤防組合費用の儀、旧高にて賦課の処、地租改正により地価に変換につき申上書など綴]	(明治10年12月)	1877	12	0	48		縦	6点あり、挿入紙あり
明治276	本巢郡穂積村井上源衛・同市造・同郡祖父江村豊田与市三名江係り明治八年分村費賦課方并郷借割不服唱出訴中手続書	明治十一年五月四日以後(～9月28日)	1878	5	0	4	村木忠一扣	縦	勸解願、請書、訴訟入費調書などあり
明治277	証印税取立(帳)	明治十一年六月十七日	1878	6	0	17		横長	
明治278	御届(穂積村原告より敷地米不渡し勸解願上げの処、組合14か村より課出する村費にて答弁につき)	明治十一年六月廿五日	1878	6	0	25	右(方県郡河渡村平民農戸長兼組合村惣代役)村木忠一	岐阜区裁判所 一紙 長判事補富田 恒一殿	「二千八百八十号 御係脇屋殿」とあり
明治279	[伏越組合村々悪水路借地代米・水腐手当米、地価算出に用いる地元平均相場を見据え代金定め、金員を穂積・只越村役場へ渡すにつき証券]	(明治11年7月26日)	1878	7	0	26		縦	2点あり
明治280	約定証(河渡村外13か村伏越樋組合悪水路の穂積村地内借地掟米の儀、地租改正にて旧税法の見込みにて熟議し、減米及び内約するにつき)	明治十一年七月廿七日	1878	7	0	27	方県郡黒野村副戸長惣代中村喜平(印)、同(方県)郡曾我屋村戸長惣代曾我部俊治(印)、同(方県)郡河渡村戸長惣代村木忠一(印)、本巢郡穂積村地持惣代井上市造(印)、副戸長松野周司(印)	縦	作成印には墨で×としてある、奥書に第七大区二小区・三小区・十一小区・十五小区・十二小区の副区長の名前あり
明治281	証書写(郷借割賦金延滞一件につき明治元年12月5日付の金60両請取証文写)	明治十一年九月十九日	1878	9	0	19	原告方県郡河渡村村木忠一・白木門一	名古屋裁判所 一紙 岐阜支庁判事 芹沢政温殿	明治281～291・293・294は「明治十一年七月三十一日ヨリ九月廿八日御裁判相成り 八月十三日ヨリ支庁江訴 郷借金割賦延滞ノ訴 八月廿一日ヨリ支庁江訴 村費立換金請求ノ訴 右二事件九月廿八日御裁判相成候 本巢郡穂積村井上源衛同市造同郡祖父江村豊田与市三人江係ル」と書かれた袋に重ね折られ一括されていた
明治282	記(村費立換金請求一件にて区裁判所より差紙1通受取につき)	(明治)十一年七月三十一日	1878	7	0	31	豊田与市(印)	村木忠一殿	切紙
明治283	記(郷借割賦金延滞一件勸解にて本月9日呼出状1通請取につき)	明治十一年八月六日	1878	8	0	6	井上市造(印)	村木忠一殿	切紙
明治284	[村費立換金請求の儀、勸解願い不調につき却下の通知]	明治十一年八月十九日	1878	8	0	19	岐阜区裁判所	一紙	縦じろ跡あり、朱書「勸第三千七百九十号」
明治285	[郷借割賦金延滞の儀、勸解願い不調につき却下の通知]	明治十一年八月十日	1878	8	0	10	岐阜区裁判所	一紙	縦じろ跡あり、朱書「第三千六百六十七号」、明治285と明治286の間に明治11年8月14日付けの訴状請取覚あり
明治286	村費立換金請求之訴(明治8年村費賦課方法の儀、旧高と地券金高にて割賦の処、不服申立て村費勘定差支へにつき)	明治十一年八月廿一日	1878	8	0	21	第七大区十一小区方県郡河渡村平民原告村木忠一外各人	縦	明治286(回)~(月)はこより紐で綴られている。表紙朱書「第二百九十一号」「御係田中殿 八月廿六日呼出」、表紙付紙「本月十四日勸解願上 同月十九日不調 三千七百九十一号 御担当富田殿」

明治286	村費立換金請求之訴/答(村費賦課方法は地価反別割が至当にて、賦課方法不服につき)	明治十一年八月二十六日	1878	8	0	26 右(第七大区二小区本巣郡穂積村平民被告惣代)井上市造○、第七大区十一小区方県郡河渡村二番地平民者差添人後藤秀一○	名古屋裁判所 縦 岐阜支庁判事 芹沢政温殿		
明治287	[郷借金の原因は悪水抜きのための糸貫川筋伏込み入費にて村方身元ある者へ割賦、地券発行後も旧高にて割賦の処、不服あり郷借金滞るにつき訴状]	明治十一年八月廿三日	1878	8	0	23 原告岐阜県美濃国方県郡河渡村平民 戸長村木忠一・副戸長白木門一	縦		
明治288	[郷借金割賦延滞一件勸解願いにつき裁判所へ罷り出るよう通知]	明治十一年十月一日	1878	10	0	1 名古屋裁判所管内岐阜区裁判所印	方県郡河渡村 一紙 村木忠一	「第四千八百五号」とあり	
明治289	記(村費立換金請求一件にて明日15日出状請取につき)	明治十一年八月十四日	1878	8	0	14 小見山方ニテ井上市造(印)	村木忠一殿、切紙 外御言人殿		
明治290	明治廿七年度掬米勘定(皆済覚)	(明治27年11月~明治28年1月)	1894	11	0	48		一紙	
明治291	[郡中出動料高割などにつき金銭書付]		9999	99	0	98		切紙	
明治292	《郷借金割賦淹滞之訴など関係書類》	明治11年7月31日~	1878	7	0	31			該当資料確認出来ず
明治293	記(村費立換金請求一件にて明日8月2日出頭状請取につき)	(明治)十一年八月一日	1878	8	0	1 本巣郡穂積村井上源衛(印)	方県郡河渡村 切紙 村木忠一殿		
明治294	[郷借割賦金延滞の儀、8月6日勸解願いの処、不調にて却下につき郷借割賦金淹滞之訴並びに訴答書]	(明治11年8月13~19日)	1878	8	0	13		縦	朱書「御係田中殿」
明治295	御伺(明治8年分民費は8月割・11月割は旧高にて賦課し、その他の諸費は地券金高にて割賦の処、不服申し立て民費勘定出来ずにつき)	明治十一年八月三日	1878	8	0	3 右(方県郡河渡)村副戸長村木勘吾(印)、戸長村木忠一(印)	岐阜県権令小 縦 崎利準殿		明治295日回(火)は紙証では綴られている、「双方協議之上賦課取計候儀」と返答あり、朱書「明治十一年八月廿一日 第二百九十一号判事補田中碌郎閣(印)」
明治295	御伺(明治8年各大区々費・村費など賦課方法の儀、地価反別割至当の処、改正中にて旧高割での賦課につき)	明治九年一月十日	1876	1	0	10 総大区月番宇佐美宗平印、守屋小十郎印	岐阜県権令小 縦 崎利準殿		「従前戸数人員等二賦課仕来候分ヲ除クノ外ハ都テ地価に分賦之儀」と返答あり
明治295	伺書(明治8年分区村費賦課方法は従前戸数・人員割以外は地価にて分賦の指令ある処、本村々費は旧高にて課すべきもの多く指令に拘泥しがたきにつき)	明治十一年八月十七日	1878	8	0	17 方県郡河渡村戸長村木忠一(印)	岐阜県令小崎 縦 利準殿		「實際不得巳事情者之向ハ明治九年副区長総代伺指令而已ニ拘泥スルニ及ハス一村協議之上賦課法相定不苦候事」と返答あり、朱書「明治十一年八月廿一日 第二百九十一号判事補田中碌郎閣(印)」
明治296	被告井上源衛外貳人江係ル村費立換金請求之訴入費調書(8月21日~9月28日までの分)	明治十一年九月廿八日	1878	9	0	28 第七大区十一小区方県郡河渡村平民 原告戸長村木忠一(印)・副戸長白木門一(印)	名古屋裁判所 縦 岐阜支庁判事 芹沢政温殿		被告惣代人井上市造の奥書あり
明治297	[明治9年免割目録証書写並びに被告村費立換金請求の儀上訴につき手続書下書]	(明治11年8月27日)	1878	8	0	27		縦	
明治298	被告井上源衛外貳人へ係ル郷借割賦淹滞ノ件訴訟入費調書(8月13日~9月28日までの分)	明治十一年九月十八日	1878	9	0	18 第七大区十一小区方県郡河渡村原告 戸長村木忠一(印)・副戸長白木門一(印)	名古屋裁判所 縦 岐阜支庁判事 芹沢政温殿		被告惣代人井上市造の奥書あり
明治299	悪水溝渠流通差障ノ訴復答(和宮通輿の節、悪水貫仮土橋架設後、生津村地内九尺堀溝渠を往還まで塞閉し悪水落とす処、近年小樋埋伏せ被害受けるにて上訴の処、被告答弁につき)	(明治12年7月28日)	1879	7	0	28 岐阜県美濃国方県郡河渡村平民原告代人村木忠一、同県同国本巣郡馬場村平民原告関谷五平、同県同国同(本巣)郡高屋村平民同断(原告)八代久平	縦		明治313月と同内容
明治300	組合割賦法改正差拒之控訴(14か村組合板谷川堤防及び糸貫川伏越樋諸入費は改正地価により割賦すること判断などにつき控訴写)	明治十一年十月八日	1878	10	0	8 右(岐阜県美濃国本巣郡生津村平民地持総代原告西堀弥市、岐阜県第七大区二小区本巣郡生津村平民原告加藤栄三、岐阜県方県郡河渡村地持総代原告後藤市郎、岐阜県第七大区十一小区方県郡河渡村平民戸長原告村木忠一、右四名代人大坂府第一大区五小区備後町二丁目四十七番地寄留京都府平民)侯野誠之助印、大坂府平民差添人吉見安次郎印	東京上等裁判 縦 所西瀧(カ)判 事殿		
明治301	組合割賦法改正差拒ミ控訴之答(14か村組合板谷川堤防及び糸貫川伏越樋入費訴訟控訴につき答弁書)	明治十一年十一月三十日	1878	11	0	30 右(岐阜県美濃国方県郡寺田村外九ヶ村総代木田村被告)坂口太八郎印、(被告)坂口藤一郎印、(曾我屋村被告)曾我部俊治印、東京府麹町区麹町五丁目拾八番地平民差添人 片岡新兵衛印	東京上等裁判 縦 所西瀧(カ)判 事殿		奥書に岐阜県美濃国方県郡又丸村総代戸長被告人大野幸一郎外7人の名前あり、証拠書類2通書付
明治302	組合割賦法改正差拒ノ控訴ノ副答(14か村組合板谷川堤防及び糸貫川伏越樋入費訴訟控訴にて被告答弁書差し上げにつき副答書)	明治十一年十二月七日	1878	12	0	7 右(岐阜県美濃国本巣郡生津村平民地持総代西堀弥市外三名代人大坂府備後町二丁目四十七番地寄留京都府平民原告代人)侯野誠之助印、東京府浅草区白柳原町貳丁目壹番地同府土族差添人田中質直印	東京上等裁判 縦 所西瀧(カ)判 事殿		明治303と同内容

明治303	組合割賦法改正差拒控訴/副答(14か村組合板谷川堤防及び糸貫川伏越樋入費割賦訴訟控訴にて被告答弁書差し上げにつき副答書)	明治十一年十二月七日	1878	12	0	7	右(岐阜県美濃国本巣郡生津村平民地持総代西堀弥市外三名代人大坂府備後町二丁目四十七番地寄留京都府平民原告代人)俣野誠之助印、東京府浅草区白柳原町式丁目番地同府土族差添人田中賢直印	東京上等裁判所西濶(カ)判事殿	明治302と同内容
明治304	三州豊川妙巖寺図	同(明治11年)八月十二日刻成	1878	8	0	12	三河豊橋奥服町第八番地居住者兼出板人山田橋之助蔵版印	一紙	37.6×51.5cm、「彫工 玉木昇五郎」とあり
明治305	申渡(郷借金淹滞訴訟は糸貫川伏込入費年々高割により償却の処、地租改正後の旧高賦課を不当と主張するにて、被告は元金・利子を償却すべきにつき)	明治十一年九月廿八日	1878	9	0	28	原告岐阜県美濃国方県郡河渡村平民戸長村木忠一・副戸長白木門一、被告岐阜県美濃国本巣郡穂積村平民井上源衛・同(本巣)郡祖父江村平民豊田与一・右代人兼同(本巣)郡穂積村平民井上市造	名古屋裁判所 岐阜支庁(印)	朱書「明治十一年第二百八十号」
明治306	申渡(村費立換金請求訴訟は明治8年分村費上半期分は旧償、下半期分は地価にて賦課の処、賦課に応じずにより、被告は元金と利子を償却すべきにつき)	明治十一年九月廿八日	1878	9	0	28	原告岐阜県美濃国方県郡河渡村平民戸長村木忠一・副戸長白木門一、被告岐阜県美濃国本巣郡穂積村平民井上源衛・同(本巣)郡祖父江村平民豊田与一・右代人兼同(本巣)郡穂積村平民井上市造	名古屋裁判所 岐阜支庁(印)	朱書「明治十一年第二百九十一号」
明治307	申渡(14か村組合板谷川堤防及び糸貫川伏越樋入費割賦改正差拒み訴訟にて出費区分は利益の厚薄による賦課の契約により割賦改正棄却につき)	明治十一年六月廿九日	1878	6	0	29	原告岐阜県美濃国本巣郡馬場村平民戸長関谷五平・本巣郡高屋村平民戸長八代久平・同(本巣)郡生津村平民戸長加藤栄三・方県郡河渡村平民戸長村木忠一、右総代村木忠一、加藤栄三、被告岐阜県美濃国方県郡寺田村平民戸長小林市平・同(方県)郡曾我屋村平民戸長曾我部俊次・同(方県)郡下尻毛村平民戸長森欣次・同(方県)郡川部村平民戸長福島精一、方県郡又丸村平民戸長大野幸一郎・同(方県)郡上尻毛村平民戸長村瀬藤三九・同(方県)郡木田村平民戸長坂口太八郎・同(方県)郡東改田村平民戸長近藤半兵衛・同(方県)郡黒野村平民戸長伊藤治八・本巣郡柱本村平民戸長木ノ村元三郎、右総代坂口太八郎、曾我部俊治、石川県越前国南条郡武生橋町土族中島又五郎	名古屋裁判所 岐阜支庁(印)	朱書「明治十一年第八十八号」、朱印「民事課」
明治308	組合割賦改正差拒ミノ控訴之再答書(14か村組合板谷川堤防及び糸貫川伏越樋入費訴訟控訴により被告答弁書差し上げ、原告副答下げ渡しにつき再答書)	明治十一年十二月二十日	1878	12	0	20	右(外七名総代兼木田村戸長被告)坂口太八郎〇、(曾我屋村戸長被告)曾我部俊治〇、麴町五丁目十番地差添人片岡新兵衛〇	東京上等御裁 判所西濶(カ)判事殿	明治308回〜(火)はこより紐で綴られている
明治308	[14か村組合板谷川堤防及び糸貫川伏越樋入費割賦法改正差拒み訴訟につき、代人委任の確認、副答書・再答書の確認などの口供書]	(明治12年2月)	1879	2	0	48		縦	
明治308	[14か村組合板谷川堤防及び糸貫川伏越樋入費割賦法改正差拒み訴訟控訴にて被告答弁書差出し、原告副答の処、被告再答につき追申書]	明治十二年二月八日	1879	2	0	8	岐阜県美濃国本巣郡生津村平民地持総代西堀弥市外三名代人大坂府第一大区五小区備后町二丁目四十七番地寄留京都府平民俣野誠之助印	東京上等裁判所西濶(カ)判事殿	
明治309	代人御届(14か村組合板谷川堤防及び糸貫川伏越樋の諸入費割賦法改正差拒み訴訟の東京上等裁判所の裁判へ上告にて、代人依頼につき)	明治十二年四月廿日	1879	4	0	20	右(岐阜県美濃国本巣郡生津村地持総代)西堀弥市(印)、(生津村戸長)加藤栄三(印)、(岐阜県美濃国方県郡河渡村地持総代)後藤市郎(印)、(河渡村戸長)村木忠一(印)、右四名代人(大坂府東区備後町二丁目四拾七番地寄留京都府平民)俣野誠之助	大審院長判事 玉乃世履殿	「第百十五号」とあり
明治310	[穂積村井上源衛外2名共有の河渡村地内地所売却にて代金など書付・約定証・約定履行の訴済口答]	(明治12年6月)	1879	6	0	48		縦	
明治311	[約定証掛紙5か所未確定につき、各位立会の上詳細取調記入すべき事など約定添書]	明治十二年六月廿日	1879	6	0	20	右加藤栄三不在拙者工委任受戻候二付代印村木忠一(印)	西堀弥市殿、岡田文太郎殿	
明治312	証(金100円預かりにつき)	明治十二年六月廿日	1879	6	0	20	方県郡河渡村郡木忠一(印)	本巣郡生津村 西堀弥市殿、岡田文太郎殿	印は×と書かれている
明治313	悪水溝渠流通差障之訴状(和宮通輿の節、悪水貫仮土橋架設後、生津村地内九尺堀溝渠を往還まで繋開し悪水落とす処、近年小樋埋伏せ被害を受けるにつき)	明治十二年七月十六日	1879	7	0	16	方県郡河渡村平民原告村木忠一外二名	縦	明治313回〜(出)はこより紐で綴られている。表紙朱書「明治十二年第四百七十八号」、表紙「掛紙 第五千五百九十五号 明治十一年十一月十九日勅解 同年十二月廿五日不調 御担当 岩崎殿」

明治313	悪水溝渠流通差障ノ訴復答(和宮通興の節、悪水貫仮土橋架設後、生津村地内九尺堀溝渠を往還まで繋開し悪水滲とす処、近年小樋埋伏せ被害受けるにて上訴の処、被告答弁につき)	明治十二年七月廿八日	1879	7	0	28 右(岐阜県美濃国方県郡河渡村平民原告 名古屋裁判所 縦 代人)村木忠一、(本巢郡馬場村平民戸長 岐阜支庁判事 原告)関谷五平、(本巢郡高屋村平民戸長 芹沢政温殿 原告)八代久平、厚見郡島屋村平民小塩 寿太郎	明治299と同内容	
明治313	[河渡村外2か村より生津村へ悪水溝渠流通差障訴訟にて、九尺堀に伏込みの枳樋寸尺及び九尺堀の間尺など取調べにつき上申書]	明治十二年八月七日	1879	8	0	7 岐阜県美濃国中島郡須賀村平民被告代 名古屋裁判所 縦 言人丸井作十郎〇、同県同国本巢郡生津 岐阜支庁判事 村平民被告惣代西堀弥市〇、同県同国同 芹沢政温殿 郡馬場村平民原告関谷五平〇、同県同 国本巢郡高屋村平民同(原告)八代久平 〇、同県同国方県郡河渡村平民同(原告) 村木忠一〇		
明治313	記(悪水溝渠流通差障訴訟にて生津村地内九尺堀枳樋寸尺、原告・被告立会い改めにつき)	(明治)十二年八月三日	1879	8	0	3 原告村木忠一、関谷五平、八代久平、被告 西堀弥市、棚橋弥平、大工 原告村木丘 半、被告藤橋藤蔵	一紙	
明治313	[悪水溝渠流通差障訴訟の箇所、実地検査につき往還添悪水溝取調書]	明治十二年八月七日	1879	8	0	7 右(方県郡河渡村平民原告代人)村木忠 一、(本巢郡馬場村平民原告)関谷五平、 (本巢郡高屋村平民同断)八代久平	一紙	
明治313	上申書(悪水溝渠流通差障訴訟にて審理願い上げにつき)	明治十二年八月十一日	1879	8	0	11 右(岐阜県美濃国方県郡河渡村平民原告 名古屋裁判所 縦 代人)村木忠一〇、(本巢郡馬場村平民原 岐阜支庁判事 告)関谷五平〇、(本巢郡高屋村平民原 芹沢政温殿 告)八代久平〇	奥書に方県郡寺田村戸長小林市平外4名の名前あり	
明治313	[悪水溝渠流通差障訴訟につき、原告口供書]	(明治12年)	1879	99	0	98 岐阜県美濃国方県郡河渡村平民戸長白 木嘉平代村木忠一、同県同国本巢郡馬場 村平民戸長関谷五平、同県同国同(本巢) 郡高屋村平民戸長八代久平	縦	
明治314	[悪水溝渠流通差障訴訟につき、裁判所への出頭通知]	明治十二年十月十八日	1879	10	0	18 名古屋裁判所岐阜支庁(印)	方県郡河渡村 一紙 村木忠一、本 巢郡馬場村関 谷五平、同(本 巢)郡高屋村 八代久平	朱書「第四百七十八号」
明治315	[14か村組合板谷川堤防及び糸貫川伏越樋入費割賦法改正差拒み訴訟、東京上等裁判所裁判不法にて大審院への上告状写など関連書類留帳]	(明治)12年4月20日~11 月27日)	1879	4	0	20	縦	
明治316	[大・小会議開会につき議事録]	(明治)12年7月17日~21 日)	1879	7	0	17	縦	挿入紙あり
明治317	委任証(悪水溝渠流通差障訴訟の件、戸長事務差支にて村木忠一へ委任し、権限代理につき)	明治十二年七月	1879	7	0	48 方県郡河渡村戸長白木嘉平(印)	一紙	
明治318	約定違変之訴状(悪水溝渠流通差障訴訟にて上申につき)	明治十二年七月	1879	7	0	48 右(方県郡河渡村農平民原告代人)村木 忠一、(本巢郡馬場村農戸長原告人)関谷 五平、(本巢郡高屋村農戸長原告人)八代 芹沢政温殿 久平	名古屋裁判所 縦 岐阜支庁判事 芹沢政温殿	奥書に方県郡河渡村戸長白木嘉平の名前あり
明治319	村会規則(町村々会議事規則雛形・村会議事傍聴心得)	明治十二年七月	1879	7	0	48 方県郡河渡村(印)	縦	第一条~第十七条まであり、村会議事傍聴人取扱心得、村会議事傍聴心得もあり
明治320	記(本巢郡下真桑学校寄附帳・卒業届・教員履歴など学校関連書類引渡しにつき)	明治十二年三月十三日	1879	3	0	13 横山弥五郎(印)	河合愛平殿 縦	
明治321	[穂積村松野回司外2名よりの伏越組合悪水路の件、勸解願上げにて一同回答の処、職務上差支により村木忠一・長屋三郎に総代を依頼につき調印状]	明治十三年六月廿八日	1880	6	0	28 岐阜県美濃国本巢郡生津村平民戸長加 藤栄三、関谷五平、八代久平、木之村桂 治郎、白木嘉平、小林市平、菅我部冲衛、 大野嘉左衛門、福島精一、春日善三郎、 村瀬一三九、近藤半兵衛、坂口太八郎、 伊藤治八	名古屋裁判所 縦 管内岐阜区裁 判所長判事補 羽野知野殿	「第三千百拾九号」とあり

明治322	委任状之事(事務差支にて村木忠一・長屋三郎を部理惣代と定め、伏越組合悪水路の件の権限代理につき)	明治十三年六月	1880	6	0	48 本巢郡生津村平民戸長加藤栄三(印)、同(本巢)郡馬場村平民戸長関谷五平(印)、同(本巢)郡高屋村平民戸長八代久平(印)、同(本巢)郡柱本村平民戸長木之村桂次郎(印)、方巢郡又丸村平民戸長大野嘉左衛門(印)、同(方巢)郡川部村平民戸長福島精一(印)、同(方巢)郡下尻毛村平民戸長春日善三郎(印)、同(方巢)郡上尻毛村平民戸長村瀬一三九(印)、同(方巢)郡東改田村平民戸長近藤半兵衛(印)、同(方巢)郡木田村平民戸長坂口太八郎(印)、同(方巢)郡黒野村平民戸長伊藤治八(印)、同(方巢)郡曾我屋村平民戸長曾我部冲衛(印)、同(方巢)郡寺田村平民戸長小林市平(印)、同(方巢)郡河渡村平民戸長白木嘉平(印)	縦		
明治323	架橋新設有志社中申合規則(河渡川渡船を廃し架橋設立工事は県庁担当、費用金上納の仰せあり、有志者協議し株数取ために取締まり并に取扱い方規則)	明治十四年二月	1881	2	0	48 方巢郡河渡村何之誰〇、-〇、-〇、-〇、-〇、-〇	縦	13条あり	
明治324	河渡橋株券(架橋株2分)	明治十四年五月十三日	1881	5	0	13 中仙道河渡橋事務所(印)	方巢郡河渡村 一紙 持主森田政八	裏朱書「頭取村木忠一(印)、副頭取上松万造(印)、副頭取白木門一(印)、事務懸塩谷新吾(印)、事務懸村木勘吾(印)、事務懸稲葉栄二(印)」	
明治325	渡船継続願(明治25年の大洪水にて河渡橋落橋後に渡船許可の処、橋再設の資本金5ヶ年間積立にて、その間仮渡船継続につき)	明治廿七年四月廿三日	1894	4	0	23 右(方巢郡河渡橋)会社員村木光郎、村木勘吾、後藤市郎、稲葉栄二、上松万造、塩我部道夫殿	岐阜県知事曾谷新吾	縦 明治405と同内容	
明治326	手続書ヲ以上申仕候(板谷川堤塘坎樋修繕中、暴風雨により切入れ曾我屋村横小堤危難の処、村内人民木田村へ推参の事実承知せずにつき)	明治十四年九月十八日	1881	9	0	18 伏越極板谷川組合総代方巢郡河渡村 村木忠一	岐阜警察署長 八等警部柴田正直殿	縦	
明治327	暴動所業御取締願(暴風雨にて板谷川堤塘切入れ、上郷村役人・人足共曾我屋村横小堤上で暴動し横小堤切入り下郷輪中横書につき)	明治十四年九月十七日	1881	9	0	17 方巢郡曾我屋村・寺田村・河渡村、本巢郡生津村・馬場村・高屋村・柱本村、右村総代村木国吉、村木忠一	岐阜警察署長 八等警部柴田正直殿	縦	
明治328	水防聯合組合申合規則(柱本村以下7か村水防輪中の村々、堤塘修理のための堤塘補助金を設け堤塘維持の基礎を創立し、申合せ規則取極めにつき)	明治十四年九月	1881	9	0	48		縦	表紙「十二月三日会議」
明治329	〔貸金催促勧解願など書類留帳〕	(明治9年9月30日～明治14年10月6日)	1876	9	0	30		縦	挿入紙4点あり
明治330	〔岐阜及び大垣郵便局取扱役発起により郵便事務上研究の為、相談会取開きにて出頭するよう申入状〕	明治十五年一月廿七日	1882	1	0	27 出巢勸業係駅通掛り印	河渡郵便局村木忠一殿、美江寺郵便局和田浅之丞殿	一紙	
明治331	悪水除嵩上土取払并定杭変換回復ノ訴岐阜始審裁判弁明書写(明治14年洪水による横小堤修繕にて、堤上に嵩上土をなし定杭を交換するなどの契約違反は認め難く、原告の要求成立せずにつき)	明治十五年二月廿日	1882	2	0	20 岐阜始審裁判所(印)	原告岐阜県美濃国方巢郡川部村外六ヶ村総代同巢同国同(方巢)郡同村平民福島精一・同総代同巢同国同(方巢)郡上尻毛村平民村瀬一三九代官人同巢同国厚見郡鏡島村平民馬淵三郎、被告同巢同国方巢郡曾我屋村外六ヶ村総代曾我部冲衛外一人代官人同巢同国中島郡須賀村平民丸井作十郎	縦	明治331～340はこより紐で綴られている、明治331(回)～(月)はこより紐で綴られている、表紙「榎木扣」、朱書「明治十四年第九百九十三号」

明治331	〔悪水除嵩上土取払并定杭変換回復ノ訴訟控訴にて答弁書など持参し、名古屋控訴裁判所へ出頭するよう通知〕	明治十五年五月廿二日	1882	5	0	22	名古屋控訴裁判所判事山岡(印)、判事木暮祐順(印)、書記山住才三(印)	岐阜県美濃国方県郡曾我屋村、寺田村、河渡村、同県同国本県郡生津村、高屋村、馬場村、柱本村	縦判所判事小畑美福殿	朱書「十五年第貳百貳拾二号」
明治332	悪水除嵩上土取払并定杭変換回復ノ控訴状(明治14年洪水による横小堤修繕を名目とした堤上の嵩上げ土の事実などあるにより再検覆審を上請につき)	明治十五年五月十九日	1882	5	0	19	岐阜県方県郡川部村原告惣代福島精一印、愛知県名古屋区上園町同(原告惣代) 代理人吉村明道	名古屋控訴裁判所判事小畑美福殿	縦判所判事小畑美福殿	朱書「十五年第貳百廿二号」、絵図2枚あり
明治333	悪水除嵩上土取払并定杭変換回復ノ控訴答書(明治14年洪水による横小堤修復時は雨降り、人足らの踏荒しのため凹所出来、埋土するなど事実供述につき)	明治十五年七月十四日	1882	7	0	14	右(岐阜県美濃国方県郡曾我屋村外六ヶ村惣代兼岐阜県美濃国方県郡曾我屋村平民被控訴者)村木国吉、(方県郡曾我屋村外六ヶ村惣代兼方県郡河渡村平民被控訴者)村木忠一、(方県郡曾我屋村外六ヶ村惣代兼本県郡生津村平民被控訴者)西堀弥市代人中島郡須賀村平民当時厚見郡小熊村寄留丸井作十郎	名古屋控訴裁判所判事山岡 惣殿	縦判所判事山岡 惣殿	朱書「山住書記 山岡判事 第二百廿二号」
明治334	証拠物写(悪水除嵩上土取払并定杭変換回復ノ控訴答書の証拠として明治10年9月曾我屋村地内水除横小堤切所築立の儀、勸解願上にて熟談約定書など写)	明治十五年七月十四日	1882	7	0	14	岐阜県美濃国方県郡曾我屋村外六ヶ村惣代人同県同国同(方県)郡曾我屋村平民被控訴者村木国吉・同県同国同(方県)郡河渡村平民 同(被控訴者)村木忠一・同県同国本県郡生津村平民西堀弥市代 言人同県同国中島郡須賀村平民当時同国厚見郡小熊村寄留丸井作十郎	名古屋控訴裁判所判事山岡 惣殿	縦判所判事山岡 惣殿	朱書「第二百廿二号」
明治335	上申書(悪水除嵩上土取払并定杭変換回復控訴一件、審理中に論所の横小堤定杭の東西を何者が削り掘返すなどにて岐阜警察署へ届けにつき)	明治十五年八月十九日	1882	8	0	19	岐阜県美濃国方県郡曾我屋村外六ヶ村惣代兼村木国吉、外二人	縦判所判事山岡 惣殿	縦判所判事山岡 惣殿	朱書「第二百廿二号」、上申書は明治342と同内容、「明治十五年八月十九日 番外証拠物」あり
明治336	第壹原告弁明書写(悪水除嵩上土取払并定杭変換回復控訴一件、横小堤上の定杭は拔出し変換の実徴あるなど弁明につき)	明治十五年八月十一日	1882	8	0	11	岐阜県美濃国方県郡川部村原告総代 福島精一、名古屋区上園町同(原告惣代) 代理人吉村明道	名古屋控訴裁判所判事山岡 惣殿	縦判所判事山岡 惣殿	朱書「本年第二百廿二号」
明治337	第貳原告弁明書ノ写(悪水除嵩上土取払并定杭変換回復控訴一件、横小堤上の基礎とすべき定杭に關しての弁明につき)	明治十五年八月十七日	1882	8	0	17	岐阜県美濃国方県郡川部村外六ヶ村原告惣代福島精一、愛知県名古屋区上園町同(原告惣代) 代理人吉村明道	名古屋控訴裁判所判事山岡 惣殿	縦判所判事山岡 惣殿	
明治338	弁駁書(悪水除嵩上土取払并定杭変換回復控訴一件、原告弁明書より定杭の認識差異など陳述につき)	明治十五年九月十五日	1882	9	0	15	被告岐阜県美濃国方県郡曾我屋村外六ヶ村総代兼同(曾我屋)村平民村木国吉・右同断(方県郡曾我屋村外六ヶ村総代兼)同県同国同(方県)郡河渡村平民村木忠一、右(被告) 代理人同県同国中島郡須賀村平民当時同国厚見郡小熊村寄留丸井作十郎	名古屋控訴裁判所判事山岡 惣殿	縦判所判事山岡 惣殿	
明治339	原告上申書(悪水除嵩上土取払并定杭変換回復控訴一件、控訴審理中實地に臨み、横小堤上の杭を脱き出したる景状・証跡はなきなどにつき)	明治十五年十月七日	1882	10	0	7	岐阜県方県郡川部村原告惣代福島精一、原告代理人吉村明道	名古屋控訴裁判所判事山岡 惣殿	縦判所判事山岡 惣殿	朱書「本年第貳百廿二号」

明治349	水開キ場所障害ノ訴答(曾我屋村外1か村、河渡村地内用水路西縁作場道を北方道定尺まで削除すべき事を請求につき答弁書)	明治十六年十月十一日	1883	10	0	11	右(岐阜県美濃国方県郡河渡村平民市側安造外総代河渡村平民被告) 耶木忠一・後藤市郎	岐阜始審裁判所長判事藤崎成言殿	縦	
明治350	賃金請求勸解済口御届(勸解に基づき滞金皆済につき)	明治十六年四月六日	1883	4	0	6	岐阜県美濃国方県郡河渡村原告耶木忠一、同県同国同(方県)郡曾我屋村被告鷲見彦七	岐阜治安裁判所長判事補三ツ村正立殿	一紙	
明治351	戸籍写(美濃国方県郡河渡村2番地居住村木忠一外4名)	明治十七年四月十一日	1884	4	0	11	右(河渡)村戸長後藤市郎(印)		一紙	
明治352	戸籍写(美濃国方県郡河渡村2番地居住村木忠一外4名)	明治十七年四月十一日	1884	4	0	11	右(河渡)村戸長後藤市郎(印)		一紙	
明治353	第壹回論弁書(水開場所障害訴訟にて河渡村地内用水路西縁作場道揚土削除請求控訴にて論弁書)	明治十七年五月十三日	1884	5	0	13	原告代理人戸崎仁平、原告人村木国吉	名古屋控訴裁判所判事小杉通吉殿	縦	明治353(回)~(火)は繰られている、明治355と同内容、朱書「小杉殿 十七年 第百廿四号」
明治353	第二論弁書(水開場所障害訴訟にて河渡村地内用水路西縁作場道揚土削除請求にて、論弁書)	明治十七年十二月十七日	1884	12	0	17	原告代理人大谷木備一郎、原告人小林市平	名古屋控訴裁判所判事近藤秀寛殿	縦	表紙「第百廿四号 本年 近藤判事殿」
明治353	願書(水開場所障害訴訟にて河渡村地内用水路西縁作場道揚土削除請求の儀、論所実地に見極めるよう照会されたいにつき)	明治十八年一月十三日	1885	1	0	13	原告惣代小林市平、原告代理人大谷木備一郎	名古屋控訴裁判所判事近藤秀寛殿	縦	「十七年 第百廿四号」とあり
明治354	方県郡一小区等級表(48か村の一村毎の田・畑・宅地の地価平均表)		9999	99	0	98			縦	「十七年五月十三日」と鉛筆書きあり
明治355	第壹回論弁書(水開場所障害訴訟にて河渡村地内用水路西縁作場道揚土削除請求控訴にて論弁書)	明治十七年五月十三日	1884	5	0	13	原告代理人戸崎仁平、原告人村木国吉	名古屋控訴裁判所判事小杉直吉殿	縦	明治353(回)と同内容
明治356	受負証(小家1棟入用諸色、金11円79銭)	明治十七年七月廿七日	1884	7	0	27	受負人島川新平(印)	河渡橋頭取・事務掛御中	縦	
明治357	記(50銭金子入書状1通請取にて受取合符渡す処、受取人より幸便出来、合符引換えて書状渡す儀につき上申書)	明治十八年三月	1885	3	0	48	美濃国方県郡河渡郵便局詰村木忠一(印)	駅通局監察掛御中	一紙	
明治358	明治十八年西七月一日水災ニ付救助候ニテ下付金(一覽表)	(明治18年7月1日)	1885	7	0	1			縦	挿入紙3点あり
明治359	[金100円借用につき借入金割済証券並びに講金借用証書の抵当地内重筆の所、一筆取消につき約定書]	(明治11年12月~明治19年1月8日)	1878	12	0	48			縦	
明治360	約定書(講金借用証書の抵当地内重筆の所、一筆取消につき)	明治十九年一月八日	1886	1	0	8	大野郡森村大平忠兵衛借用証保証人大平小三郎(印)、公証人広瀬政七(印)	村木豊七講取締村木忠一殿、吉田友十郎殿、国井為造殿	一紙	
明治361	請書(金員貸附の処、田租不納により抵当地所公売にて剰余金下げ渡しにつき)	明治十九年十二月廿一日	1886	12	0	21	方県郡河渡村村木豊七講取締村木忠一、国井為造	大野郡唐栗村外六ヶ村戸長矢野才治郎殿	一紙	
明治362	[厚見郡鳥屋村内地所売渡証券並びに地券書換願]	(明治19年4月20日)	1886	4	0	20			縦	
明治363	養蚕新説(写)	(明治19年5月15日)	1886	5	0	15	同(岩代)信夫佐藤源之助著		縦	「岩代伊達 渡辺明義校正」とあり
明治364	宅地借用証書(河渡村内宅地、2か年期限にて借用につき)	明治十九年十二月三十一日	1886	12	0	31	方県郡河渡村森田安衛(印)、保証人高橋徳松(印)	地主村木秀成殿	一紙	
明治365	庶乙第一三二号(郵便電信局及郵便局電信局、図書取扱手續定めるにつき)	明治二十年六月九日	1887	6	0	9	名古屋通信管理局長吉村恕介	郵便電信局、郵便局、電信局	縦	
明治366	[郵便切手売下廃業願並びに郵便切手売下継続御許可願]	明治二十年八月九日	1887	8	0	9			一紙	
明治367	[美濃国河渡郵便局市内外集配部内村数・戸数・人口書上]	明治二十一年三月廿四日	1888	3	0	24	美濃国方県郡三等河渡郵便局長村木忠一	名古屋通信管理局庶務課御中	一紙	『岐阜市史史料編近代一』p.653に収載
明治368	[号外訓諭及び信書秘密の意義につき通信省の解釈書送付状]	明治廿二年三月廿六日	1889	3	0	26	通信大臣秘書官若宮正音	河渡郵便局長村木忠一殿	縦	
明治369	渡船継続願(明治22年7月岐阜県令第50号を遵守し渡船営業継続許可下されたいにつき下書)	(明治27年5月)	1894	5	0	48	方県郡河渡村六十三番戸平民稲葉栄二、同郡同村六十六番戸平民村木勘吾、同郡同村七十四番戸平民村木光郎、厚見郡鏡島村上松万造、同(厚見)郡江崎村、方県郡河渡村総代後藤市郎、厚見郡江崎村総代、同(厚見)郡鏡島村総代	岐阜県知事曾我部道夫殿	一紙	明治366(回)と同内容

明治370	〔災害時の田方損毛歩合詳細取調べ実地検査の上、地損額算与願雜形〕	明治廿二年十月	1889	10	0	48		縦		
明治371	登記願(曾我屋村地内の地所など買受け登記済にて、抵当書入れ願いつき)	明治廿二年十一月十一日	1889	11	0	11	方県郡曾我屋村村木国吉	縦		
明治372	〔郵便切手買下請求書など綴〕	(明治23年1月9日～3月31日)	1890	1	0	9		(河渡郵便局御中)	綴	15点あり
明治373	意見書(鏡島村に切手売下所新設願あるにて土地の状況など陳述につき)	明治二十三年二月	1890	2	0	48	美濃国方県河渡郵便局長村木忠一	岐阜郵便電信局長古市八音殿	縦	
明治374	〔郵便受取所開始につき請書・郵便帳簿類返納届など綴〕	(明治23年3月25日～明治26年2月12日)	1890	3	0	25			綴	17点あり、『岐阜市史史料編近代一』pp.653～654に一部分収載
明治375	〔郵便局長奉職中事務勉勵につき慰労金給与辞令〕	明治二十三年四月一日	1890	4	0	1	通信省	元河渡郵便局長村木忠一	一紙	
明治376	〔郵便局長奉職中事務勉勵につき慰労手当金給与辞令及び伝達の条、請書差出すようにつき達し〕	明治廿三年四月一日	1890	4	0	1	岐阜郵便電信局長古市八音(印)	元河渡郵便局長村木忠一殿	一紙	朱書「岐乙第一二四号」
明治377	後見人証明願(村木秀雄は私後見人につき)	明治廿四年六月十日	1891	6	0	10	右(方県郡河渡村 番戸)村木忠一	方県郡河渡村外三ヶ村組合村長鷺見初治殿	一紙	
明治378	後見人証明願(村木秀雄は私後見人につき)	明治廿四年六月十日	1891	6	0	10	右(方県郡河渡村 番戸)村木忠一	方県郡河渡村外三ヶ村組合村長鷺見初治殿	一紙	
明治379	〔河渡村外3か村組合村々税勘定書など綴〕	(明治24年4月29日～9月7日)	1891	4	0	29			綴	4点あり
明治380	〔郵便受取所取扱人更迭により、規則に準じ事務受渡届書差出すようにつき通牒〕	明治廿四年十二月廿一日	1891	12	0	21	岐阜郵便電信局郵便課(印)	河渡郵便受取所御中	一紙	朱書「郵第一三三六号」
明治381	地目変換届(河渡村地内元宅地・畑の地目変換につき)	明治廿四年四月十四日	1891	4	0	14	右地主村木忠一(印)、方県郡河渡村外三ヶ村組合村長鷺見初次(印)	岐阜県知事小崎利準殿	一紙	
明治382	御願(長良川通河渡村橋梁、6月23日の洪水の為破潰・流出にて修繕・落成まで渡船許可につき)	明治廿五年七月十八日	1892	7	0	18	方県郡河渡村橋株主惣代稲葉栄二(印)・後藤市郎(印)・村木光郎(印)・村木勘吾消印代印村木敬四郎		縦	
明治383	渡船継続願(明治25年6月洪水の為、落橋後に渡船許可にて営業の処、年限本月末までにて向こう5年間営業許可につき)	明治廿七年五月	1894	5	0	48	方県郡河渡村六十三番戸平民渡船営業人稲葉栄二、同郡同村六十六番戸平民同上(渡船営業人)村木勘吾、同郡同村七十四番戸平民同上(渡船営業人)村木光郎、厚見郡鏡島村同上(渡船営業人)上松万造、同(厚見)郡江崎村同上(渡船営業人)、方県郡河渡村総代後藤市郎、厚見郡江崎村総代、同(厚見)郡鏡島村惣代		一紙	明治386用と同内容
明治384	御願(河渡橋落橋後、仮渡船許可にて営業の処、指令の買銭では船越人夫買も払い兼ねるにつき買銭更正につき)	明治二十五年十一月十六日	1892	11	0	16	方県郡河渡橋惣代村木光郎(印)、稲葉栄二(印)	岐阜県知事小崎利準殿	一紙	明治384(回)～(火)はこより紐で綴られている
明治384	渡船賃(請求の人馬・人力車など渡船賃書上)	(明治25年11月)	1892	11	0	48			一紙	
明治384	〔渡船賃改正願許可通知〕	明治廿五日十二月二日	1892	11	0	30	方県郡河渡村外三ヶ村組合役場(印)	河渡村村木勘吾殿外五名	一紙	朱書「岐阜県指令戊第九五六五号」
明治385	〔河渡郵便受取所書類引継の内、引継ぎ洩れの由にて取調べの上、引継書調製の上渡すようにつき照会〕	明治廿六年六月一日	1893	6	0	1	美江寺郵便局(印)	元河渡郵便受取所御中	一紙	
明治386	渡船継続願(明治22年7月岐阜県令第50号を遵守し渡船営業継続許可下されたきにつき)	明治廿七年五月	1894	5	0	48	方県郡河渡村六十三番戸平民稲葉栄二、同郡同村六十六番戸平民村木勘吾、同郡同村七十四番戸平民村木光郎、厚見郡鏡島村上松万造、同(厚見)郡江崎村、方県郡河渡村総代後藤市郎、厚見郡江崎村総代、同(厚見)郡鏡島村総代	岐阜県知事曾我部道夫殿	一紙	明治386(回)～(火)はこより紐で綴られている、明治369と同内容、「不用」とあり

明治386	渡船継続願(明治25年6月洪水の為、落橋後に渡船許可にて営業の処、年限本月末までにて向こう5年間営業許可につき)	明治廿七年五月十六日	1894	5	0	16 方県郡河渡村六十三番戸平民元河渡橋総代渡船営業人稲葉栄二、同郡同村六十六番戸平民同上(元河渡橋総代渡船営業人)村木勘吾、同郡同村七十四番戸平民同上(元河渡橋総代渡船営業人)村木光郎、厚見郡鏡島村同上(元河渡橋総代渡船営業人)上松万造、同(厚見)郡江崎村同上(元河渡橋総代渡船営業人)、方県郡河渡村総代後藤市郎、厚見郡江崎村総代塩谷柳平、同(厚見)郡鏡島村総代加藤又四郎	岐阜県知事曾我部道夫殿	一紙	明治383と同内容、「扣」とあり、奥書に方県郡河渡村外三ヶ村組合村長村木敬次郎の名前あり
明治386	[河渡村渡船路絵図]	(明治27年5月)	1894	5	0	48		一紙	
明治387	登記変更願(改名にて河渡・曾我屋村地内田地などの登記簿訂正につき)	明治廿七年十一月十六日	1894	11	0	16 方県郡河渡村村木忠一後見人村木光郎(印)	岐阜区裁判所北方出張所御中	縦	
明治388	地所売渡証書謄本(河渡村地内畑5畝26歩、代金41円余にて売渡しにつき)	明治廿九年三月三十一日	1896	3	0	31 方県郡河渡村七十四番戸同居村木忠一後見人村木光郎(印)、方県郡河渡村親戚保証人村木忠衛(印)、村木勘吾	方県郡河渡村村木敬次郎殿	一紙	
明治389	明治三十年水災二付地租特免願(8月5日・9月30日の洪水にて収穫無く、本年法律第22号により地租特免願いにつき)	明治三十一年八月三十日	1898	8	0	30 青木文次(印)、村木忠衛(印)、後藤市郎(印)、加藤栄三(印)、上松治一郎(印)、後藤市平(印)、森田安造(印)、白木徳次(印)、森まつゑ(印)、江崎よそ(印)、森新七(印)、高西富吉(印)、高西純一(印)、江崎彦八(印)、白木市次(印)、白木儀市(印)、細井政七(印)、後藤藤七(印)、村木忠一(印)、後藤増吉(印)、上松松平(印)、白木徳次、村木勘吾(印)、水谷徳八(印)、水谷徳太(印)、市川愛吉(印)、村木敬次郎(印)、水谷文造(印)、後藤松平(印)、馬淵利八(印)、稲葉栄二(印)、馬淵末吉(印)、村木勘吾(印)、関谷五平、森田勝太(印)、島川新平(印)、青木秀吾(印)	名古屋税務管理局長司税官大塚貢殿	縦	表紙「大字河渡分」
明治390	[生津村地内田地など地券変換・地盤丈量届]	(明治31年12月)	1898	12	0	48 (本巢都合渡村大字河渡地主村木光郎)		縦	
明治391	[生津村地内畑地土地分筆届・地盤丈量届]	(明治32年12月)	1899	12	0	48 (本巢都合渡村大字河渡地主村木光郎、村木敬次郎)	(名古屋税務管理局)	縦	
明治392	証明願(当事者間の岐阜区裁判所本年度721号事件取消につき)	明治三十七年十二月九日	1904	12	0	9 右(原告) 日比野ひで(印)、(被告) 森宗雄(印)	岐阜区裁判所執達吏役場御中	一紙	明治392-1~-2は重ね折られていた
明治392	支払命令申請書(途中書き)	(明治37年カ)	1904	99	0	98		一紙	
明治393	明治三十五年度決算書	明治三十六年三月	1903	3	0	48 美濃開墾合資会社理事村木敬次郎、社長 高木郁助	社員御中	縦	挿入紙1点あり
明治394	明治三拾六年度所得税減損届	明治三十七年一月	1904	1	0	48 本巢都合渡村字河渡村木忠一	北方税務署長岩田周次郎殿	縦	
明治395	為取替申済口一札之事(寺田村の内、曾我屋村外2か村より支配の高488石余を自村への引き戻し申すにて、3か村より旧来通りと申し立て出訴の処、内熟につき)		9999	99	0	98 方県郡寺田村戸長小林此造(印)、副長小林文吾(印)、下曾我屋村戸長鷺見順平(印)、副長鷺見幾治(印)、一日市場村戸長国井為造(印)、副長国井茂(印)、小島村戸長戸部新衛(印)、副長名和嘉七(印)		一紙	奥印に「下西郷村 野々村佐兵衛(印)、河渡村 村木忠一(印)」とあり
明治396	水防規則設置御願(水防組合名称、職務の区別、組員人数などの規則)		9999	99	0	98 第七大区十一小区方県郡河渡村、同大区二小区本巢郡生津村		一紙	
明治397	建学願書則 庶務課(小学義校開業願書雛形)	年月日	9999	99	0	98 七十四番有隣舎		縦	表紙「用美濃紙六十目」
明治398	架橋新設費消却法(諸経費・修繕費など書付)	(明治14~24年)	1881	99	0	98		縦	
明治399	「其地紛優ノ趣キ伝工間シヨリ…」[報仏の功德などについて書付]	(明治6年) 西三月	1873	3	0	48		縦	
明治400	河渡郵便局市外集配巡路取調明細図		9999	99	0	98		一紙	
明治401	帝国軍人後援会会員証(賛助会員)	明治四十年三月三日	1907	3	0	3 帝国軍人後援会会長子爵榎本武揚(印)	村木忠一殿	一紙	
明治402	[河渡村地籍図]	明治六年十一月	1873	11	0	48 第七大区十一ノ小区方県郡河渡村戸長村木忠一、副戸長村木勘吾・白木門一		一紙	
明治403	小学校役員事務章程議案(主者・監事・会計などの職務内容など)		9999	99	0	98		縦	朱書「第二号」

明治404	金三郎へ貸金之覚(元利金・引残金など書付)		9999	99	0	98		縦		
明治405	渡船継続願(明治25年の大洪水にて河渡橋落橋後に渡船許可の処、橋再設の資本金5か年間積立にて、その間仮渡船継続につき)	明治廿七年四月	1894	4	0	48	右(方県郡河渡橋)架橋総代稲葉栄二(印)、村木勘吾(印)、村木光郎(印)、後藤市郎(印)、上松万造(印)、塩谷新吾(印)、真鍋半一(印)	岐阜県知事曾我部道夫殿	明治325と同内容、奥書で「方県郡河渡村外三ヶ村組合長村木敬次郎(印)」とあり	
明治406	壬申十一ヶ月分死亡御届	(明治5年)壬申十二月	1872	12	0	48	第百区方県郡上曾我屋村超宗寺住職 鷺見了成	長谷部岐阜県令殿	縦	
明治407	聯合会議事規則		9999	99	0	98		縦	第1条～27条まであり	
明治408	[方県郡小学通常科・高等科教則原案並びに通常小学下等・上等教則、高等小学校下等・上等教則]		9999	99	0	98		縦	朱書「第一号」	
明治409	乙号議按明治十五年村社及学校費支出予算表	明治十五年九月会場	1882	9	0	48			一紙	「河渡村会記事第二号」とあり
明治410	証(金200円預かりにつき)	明治十二年六月廿日	1879	6	0	20	方県郡河渡村郷木忠一(印)	本巢郡生津村西堀弥市殿、岡田文太郎殿	一紙	
明治411	記(郵便葉書代金の前金上納にて郵便葉書渡されたきにつき)	明治十七年三月三日	1884	3	0	3	厚見郡鏡島村郵便切手売下所戸長 大洞俊吉(印)	河渡郵便局詰村木忠一殿	一紙	縦じ穴跡あり
明治412	呼出状(水開場所障害の上告事件にて答弁書携帯し大審院へ出頭につき)	明治十九年三月九日	1886	3	0	9	大審院(印)	岐阜県美濃国方県郡河渡村	一紙	
明治413	記(聯合会議長・副議長など投票結果・改正委員名など書付)	(9月8～14日)	9999	9	0	8			一紙	
明治414	請負証(坪代金など書付)	二月十一日	9999	2	0	11	西町市川元衛、森田永吉	役場御中	一紙	
明治415	[悪水路の件、勸解願出につき裁判所へ出頭通知]	明治十三年六月十八日	1880	6	0	18	岐阜区裁判所(印)	方県郡河渡村戸長白木嘉平(印)、同(方県)郡寺田村戸長小林市平(印)、同(方県)郡曾我屋村戸長曾我部仲衛(印)、同(方県)郡木田村戸長坂口太八郎(印)、同(方県)郡上尻毛村戸長村瀬伊作、同(方県)郡下尻毛村戸長春日善三郎(印)、同(方県)郡黒野村戸長伊藤治八(印)、同(方県)郡東改田村戸長近藤半兵衛、同(方県)郡又丸村戸長大野嘉左衛門(印)、同(方県)郡川部村戸長福島精一(印)、本巢郡生津村戸長	一紙	「第三千百十九号」とあり
明治416	奉公人御請書(高橋甚三俵甚吉、半年季奉公につき)	明治廿四年十二月十七日	1891	12	0	17	方県郡河渡村親高橋甚三(印)、保証人市側房吉(印)	御主人村木光郎殿	一紙	
明治417	方県郡各小学校聯合会規則		9999	99	0	98		縦	第1条～24条まであり	
明治418	原告訴訟用紙数記		9999	99	0	98		縦		
明治419	第一回上申書(水開場所障害訴訟にて河渡村地内用水路西縁作場道揚土削除請求にて、被告上申の趣意書下書)	(明治)十七年十二月三日	1884	12	0	3	ヒ告代言人早皮賢次	名古屋扣訴御才判所判事近藤秀雪殿	縦	
明治420	[長良川境界訴訟につき河渡村よりの不当申掛の訴答書]	(明治7年7月27日)	1874	7	0	27			縦	明治223の一部分と同内容
明治421	[北海道国有の未開地処分法により、十勝国河西郡帯広市街予定地貸下願・起業方法書・委任状]		9999	99	0	98	岐阜県本巢郡合渡村大字河渡	縦		

明治422	[14か村組合板谷川堤防及び糸貫川伏越樋入費割賦改正差拒み訴訟の名古屋裁判所岐阜支庁判決文への建議・弁解書]	(明治11年)	1878	99	0	98			縦	
明治423	現今切し残り堤高低改縮図(曾我屋村地内横小堤切所築立場所図)	明治十年九月	1877	9	0	48			一紙	「勸 第四千三百八十三号」とあり、27.4×40.7cm
明治424	[御東幸并大小候(侯)伯中下大夫上土之面々東下之節人馬遣高定・御東幸中人馬貫銭定など達し]	(明治2年)二月	1869	99	0	98	駅通御役所	中山道守山宿より板橋宿迄宿々伝馬所役人	縦	
明治425	万代鑑(大名番付)		9999	99	0	98			一紙	印刷物
明治426	[字中島・字土井内図面]		9999	99	0	98			一紙	「字中島段別八畝分」「字土居内段別畝二十分」とあり
明治427	曾我屋村地内横小堤切所築立約定(築立方法・人夫委託などの規則確守につき)		9999	99	0	98			縦	
明治428	[九尺堀・慶応込樋など寸尺など書付]	(明治12年7~8月)	1879	7	0	98			縦	
明治429	記(水開場所障害上告事件呼出状の送達貫銭受取につき)	明治十九年三月十四日	1886	3	0	14	岐阜始審裁判所使丁取締(印)	河渡村御中	切紙	明治429~434はこより紐一括
明治430	明治八年村費仮割写	(明治8年)	1875	99	0	98			切紙	
明治431	[明治8・9年勘定帳写]	(明治8・9年)	1875	99	0	98			切紙	
明治432	明治九年勘定帳写	(明治9年)	1876	99	0	98			切紙	
明治433	丑年勘定帳写	(慶応元年)	1865	99	0	98	(生津村)庄屋久米助	河渡忠兵衛	切紙	
明治434	地券税納通(地方税金3円39銭余りを納入につき)	(明治10年)	1877	99	0	98		第七大区十一小区方県郡河渡村村木忠一	切紙	印(加藤)あり
明治435	[宅地・敷反別など書付図面]		9999	99	0	98			一紙	
明治436	[日吉山王社周辺など書付図面]		9999	99	0	98			一紙	ほ1~3と関連
明治437	奉願上候(願明寺明恵病氣にて実子恵了へ後住相続願い上げにて、本山より県庁表へ添書申し渡すようにつき)	(明治5年7月)	1872	7	0	48	門徒惣代河渡村村木元忠、市川久三、同(河渡)村願明寺	御本坊	一紙	明治207と関連
明治438	晨損流出亡失破損手当願(筵・鍬などの流出・破損物など書上)	明治廿九年十月四日	1896	10	0	4	方県郡河渡村村木桑二(印)、家内 男三人・女式人	河渡村外三ヶ村組合長鷺見兵吉殿	一紙	
明治439	婦命无量寿如来(経)		9999	99	0	98			縦	
明治440	[日時計節季寸尺表]	于時慶応四戊辰年四月十二日作之毛ノ也	1868	4	0	12			一紙	
明治441	[日時計節季寸尺表]	于時慶応四戊辰年四月十二日作之者也	1868	4	0	12			一紙	
明治442	通常上等小学教則		9999	99	0	98	郡木		一紙	
明治442	高等小学教則		9999	99	0	98	郡木		一紙	
明治442	通常小学下等教則		9999	99	0	98	郡木		一紙	
明治443	記(村費延滞金清算にて奥印依頼につき)	明治十六年三月十二日	1883	3	0	12	郡木忠一(印)	戸長後藤市郎殿	一紙	
明治444	[税金・学校新築費など株金差引算表]		9999	99	0	98			縦	「毎会貳百個ノ抽籤ヲ以て税金ヲ出ス左ノ如シ」とあり
明治445	[郵便取扱役手当の外に職務取扱諸費支給につき辞令]	明治十六年三月一日	1883	3	0	1	駅通局	美濃国方県郡河渡郵便局	一紙	
明治446	改名候二付土地台帳名義変更届(村木秀雄義、忠一と改名につき)	(明治26年12月7日)	1893	12	0	7	方県郡河渡村七十二番戸村木忠一後見人同郡同村七十四番戸村木光郎(印)	岐阜県知事曾我部道夫殿	一紙	
明治447	[郵便受取所取扱人辞令伝達につき請書差し出すよう通知]	明治廿四年十二月廿一日	1891	12	0	21	岐阜郵便電信局郵便課長代理郵便電信局書記横山鎮雄(印)	美濃国方県郡河渡村村木光郎殿	一紙	朱書「親第一三一号」
明治448	[曾我屋・寺田村に係る水開場所障害の控訴答弁にて代言依頼につき約定書]	明治十七年四月廿四日	1884	4	0	24	美濃国方県郡河渡村惣代郡木忠一(印)、後藤市郎(印)	美濃部貞亮殿	一紙	
明治449	[濃尾震災見舞状]	明治廿四年十一月二日	1891	11	0	2	護持会(印)	故忠一殿遺族方御中	切紙	
明治450	[別紙の証書入用にて調製差出しなどにつき書状]	(明治)二十四年十二月二十一日	1891	12	0	21	松橋書記	村木光郎殿	切紙	
明治451	[河渡村持分地方税など納入証一括]	(明治18年1月15日~明治19年5月1日)	1885	1	0	15			縦	13枚、綴紐はとれていて、こより紐で一括されている
明治452	[郵便取扱役手当并に職務取扱諸費支給の旨、駅通局より辞令など回すにつき請書差し出すよう通知]	明治十六年三月九日	1883	3	0	9	岐阜県	河渡郵便局	一紙	明治452・453はこより紐で綴られている

明治453	御請書(手当金下賜并に郵便局職務取扱諸費支給の辞令・達書受取にて請書雛形)	年月日(明治16年3月)	1883	3	0	48 岐阜県管下何国何郡何村(又ハ何村之内何所)何等郵便取扱役何之誰印	駅通総官野村 一紙 靖殿	
明治454~500	(欠番)		9999	99	0	98		
明治501	乍恐以書付奉願上候(人力車持の者、宿稼生活にて御鑑礼差下げらるるようにつき)	明治六年四月	1873	4	0	48 右(河渡)村年番戸長村木忠一(印)	小崎岐阜県参 縦 事殿	
明治502	第百区出生死亡入籍送籍寄留出入御届書	明治六年一月ヨリ同十二月迄テ	1873	1	0	48 合六ヶ村年番戸長村木扣	縦	裏表紙の綴じ紐部分に結び文あり
明治503	記(作船艘数届)	(明治)七年十一月廿二日	1874	11	0	22 右(方県郡河渡)村戸長村木忠一(印)	一紙	裏に書き込みあり
明治504	他局照会書并切手売下所報告書	(明治)10年9月11日~明治16年12月19日	1877	9	0	11 河渡郵便局	縦	
明治505	[郵便経費勘定表]	(明治)17年1月~明治18年9月	1884	1	0	48(管下美濃国方県郡河渡郵便局)	綴	虫ピンで綴られていたが、資料保存のためはずす
明治506	[郵便切手・葉書代金上納にて下げ渡し依頼書類綴]	(明治)17年4月12日~12月30日	1884	4	0	12	(河渡郵便局 縦 詰村木忠一 殿)	一部分虫ピンで綴られていたが、資料保存のためはずす
明治507	[郵便切手・葉書請求書・戸数人口表など綴]	(明治)19年1月16日~明治21年1月2日	1886	1	0	16	(河渡郵便局) 縦	明治21年1月1日調の戸数人口表あり
明治508	貯金通帳受渡帳	明治二十一年二月	1888	2	0	48 河渡郵便局	縦	
明治509	通常費受領証	明治廿一年十一月	1888	11	0	48 河渡三等郵便局	縦	
明治510	検査簿(貯金高・経費金受払簿など確認につき)	(明治)19年8月31日~明治22年5月28日	1886	8	0	31 河渡三等郵便局	縦	
明治511	岐阜県下美濃国河渡駅郵便局集配絵図		9999	99	0	98	一紙	
明治512	[第五学区聯合村会議員当選につき達書]	明治十七年十二月十二日	1884	12	0	12 岐阜県厚見・各務・方県郡長駒田正忠(印)	方県郡河渡村 一紙 村木忠一殿	
明治513	御請(第五学区聯合村会議員当選にて承知につき)	明治十七年十二月十二日	1884	12	0	12 方県郡河渡村郡木忠一	岐阜県厚見・ 一紙 各務・方県郡 長駒田正忠殿	
明治514	当選状(聯合村会議員に当選につき通知)	明治十八年一月	1885	1	0	48 方県郡河渡村外三ヶ村戸長役場(印)	村木忠一殿 一紙	
明治515	[第五学区聯合村会へ郡長欠席にて、議長に指定につき依頼状]	明治十八年一月十六日	1885	1	0	16 岐阜県厚見・各務・方県郡長駒田正忠(印)	第五学区聯合 一紙 村会議員村木 忠一殿	
明治516	記(講利掛金請取につき)	明治十九年十二月廿一日	1886	12	0	21 河渡村村木貴七講取締人村木忠一(印)、 国井為造(印)	大平忠兵衛殿 一紙 代理大平小三 郎殿、大平柳 平殿	
明治517	[造酒方法書・酒桶容量取調書・酒造製造日誌など酒造関連書類綴]	(明治)16年3月~明治23年	1883	3	0	48 (村木忠一)	縦	挿入紙1点あり
明治518	[自家用料酒製造届・日誌など酒造関連書類綴]	(明治)21年9月29日~明治28年1月23日	1888	9	0	29 (村木忠一)	縦	
明治519	[後見人証明願・登記変更願]	(明治)27年11月16日	1894	11	0	16	縦	
明治520	御願(洪水により麦菜種収穫の目途無きにつぎ救助願)	(明治)25・26年カ	1892	99	0	98 方県郡河渡村	縦	
明治521	熟談約定書(河渡村外13か村組合悪水路の穂積村地内借地掘米の儀、地租改正にて減米につき)		9999	10	0	48 方県郡河渡村外十三ヶ村戸長惣代何之誰	縦	
明治522	甲号議按明治十二年度本村費支出予算表	明治十二年七月会場	1879	7	0	48	縦	「河渡村会記事第一号」とあり
明治523	御尋ニ付以書付奉願上候(文久元酉年の渡船場馬船打替え普請諸入用書付)	明治元辰年十二月	1868	12	0	48 河渡宿庄屋広助(印)、同(庄屋)後見忠兵 笠松県御役所 一紙 衛(印)		
明治524	[岐阜県令よりの下管我屋村鎮座津社を郷社に定めるの達し、心得るにつき請書]	明治六年一月	1873	1	0	48 右(第百区上管我屋村、下管我屋村、一 岐阜県庁 一紙 日市場村、小島村、河渡村、寺田村)戸 長、副長	綴じ穴跡あり	
明治525	記(板谷川組合諸経費割村高書付)	(明治)十九年一月十七日	1886	1	0	17 板谷川組合事務扱所(印)	河渡村御惣代 一紙 御中	明治525(日)~(月)は糊で貼り継がれている
明治525	記(地籍編纂集会用割合金など受取につき)	(明治)十八年九月六日	1885	9	0	6 みよしや勇助(印)	河渡村人民惣 一紙 代御中	
未1	覚(つるべなど代金受取につき)	(明治)廿五年二月	1892	2	0	48 桶屋由松	丸屋様 切紙	未1-1~36はビニール紐一括
未1	記(油・くずなど代金請取につき)	(明治)25年カ辰二月	1892	2	0	48 みのや徳八	村木光郎様 切紙	
未1	記(油代済みにつき)	辰二月	9904	2	0	48 万川や	丸屋様 切紙	

未1	〔括り紐〕		9999	99	0	98		こより紐	未1-4-1～-3はこより紐一括
未1	「証文 徳兵衛」〔包紙〕		9999	99	0	98		包紙	未1-4-2～-3は包紙一括
未1	〔高・掬米・代金など書付〕		9999	99	0	98		切紙	
未1	覚(上畑・屋敷の出来・徳米・代金など書付)		9999	99	0	98		切紙	
未1	〔田畑反別・高・掬米など書付〕	(天保14卯12月)	1843	12	0	48		一紙	
未1	覚(物成勘定並びに下田反別・高・掬米など書付)		9999	99	0	98		切紙	
未1	覚(田畑反別・高・掬米など書付)		9999	99	0	98		切紙	
未1	記(鍛やきなどの代金済みにつき)	(明治)廿七年二月	1894	2	0	48	ミナト鍛冶屋	河渡丸屋様	切紙
未1	覚(こんにやく・酒・砂糖など代金書付)	(明治)廿八年八月	1895	8	0	48	米屋	上町丸屋様	切紙
未1	記(味噌代金請取につき)	亥の二月	9911	2	0	48	丸一や	村木光郎様外 式人	切紙
未1	記(上たまり代金差引済みにつき)	四月十二日	9999	4	0	12	米や庄作	村木光郎様、 稲葉栄治様	切紙
未1	覚(春役御普請役人休泊并人足惣手并手限割賦差引不足金差上の間、請取につき)	戌十二月十五日	9910	12	0	15	一つ木村兼帯庄屋小忠太	杏手惣代河渡 宿忠左衛門様	切紙
未1	〔備中など代金受取につき〕	(明治)廿五年八月	1892	8	0	48	かじや国太郎	河渡丸屋様	切紙
未1	覚(岩崎村・高富村金銭書付)	(戌年12月)	9910	12	0	48			切紙
未1	記(当丑3月までの清算書面通りにて至急出金依頼)	明治十一年三月十七日	1878	3	0	17	村木忠一	加藤耕三殿	切紙
未1	記(年賦差引金額書付)	(明治)廿九年三月一日	1896	3	0	1	村木桑口	村木光郎様	切紙
未1	覚(不足金書付)		9999	99	0	98	水人嘉栄以	河渡泰次郎様	切紙
未1	記(木鎌など代金済みにつき)	(明治)廿五年二月	1892	2	0	48	みなとかじや	河渡丁村木忠 市様	切紙
未1	〔河渡源四郎分田畑反別・高・掬米書付〕		9999	99	0	98			切紙
未1	覚(天保14年より当戌までの7か年分居宅賃入代金・元利など書付)	(嘉永3年)	1850	99	0	98			切紙
未1	覚(田畑反別・高書付)		9999	99	0	98			切紙
未1	記(紙・油・縄など代金受取につき)	酉八月	9909	8	0	48	(印:美濃方県郡河渡駅伊奈波屋)	河渡村人民惣 代御中	切紙
未1	記(わりこ・うなぎ代金書付)	酉八月	9909	8	0	48	美よしや勇吾	御村方様村木 様	切紙
未1	〔人足数・賃銭・道直しなどの代金書付〕	酉八月	9909	8	0	48		村方御惣代村 木忠一様	切紙
未1	覚(岩崎村への返金書付)	戌十二月廿三日	9910	12	0	23	笠松御用会所(印)	河渡宿忠左衛 門様	切紙
未1	〔下曾我屋村庄次郎出掛けの件・利足金の件など承知、?人旅宿の件などにつき書状〕	十月廿一日	9999	10	0	21	河渡宿市川長兵衛	笠松二而 村 木忠左衛門	切紙(包紙共)
未1	〔括り紐〕		9999	99	0	98			紙紐
未1	記(ふのりなど代金受取につき)	(明治29年)申二月	1896	2	0	48	さわや勘吾	村木忠一様	切紙
未1	記(緋金巾など代金請取につき)	(明治29年)申二月	1896	2	0	48	三河屋	村木様	切紙
未1	記(料理代金済みにつき)	(明治)二十九年二月	1896	2	0	48	新町若竹屋(印:北方新町 若竹屋店)	河渡村村木光 郎様	切紙
未1	記(鍛先・備中代金受取につき)	(明治)廿九年二月	1896	2	0	48	ミナトか口口(じ屋)	河渡町丸屋様	切紙
未1	〔前立書付〕	(明治29年2月24日)	1896	2	0	24	北方新町若竹屋	河渡村村木様	切紙
未1	〔4月4・5日神事あるにて遊び来るよう誘いにつき書状〕	三月三十一日	9999	3	0	31	松井宗七	村木大君	切紙
未1	〔括り紐〕		9999	99	0	98			紐
未1	〔括り紐〕		9999	99	0	98			こより紐
未1	記「八年過米 一五斗七升三合 此金貳円…」(不足金差引勘定書付)	(明治8年)	1875	99	0	98			切紙
未1	記(組合割賦など決済にて清算につき)	三月十六日	9999	3	0	16	生津村加藤栄三	河渡村村木忠 一殿	切紙
未1	〔括り紐〕		9999	99	0	98			紙紐
未1	記(代金請取につき)	(明治27年)午八月	1894	8	0	48	さわや勘吾	架橋御中	切紙
未1	記(小豆など代金受取につき)	(明治27年)午八月	1894	8	0	48	米屋庄八	丸屋様	切紙

未1-25と関連、川々普請諸入用割賦金関連カ

下部破損

未1-14と関連、川々普請諸入用割賦金関連カ

未1-27-1～-5は紙紐一括

未1-29-1～-19は紐一括

未1-29-1-1～-2はこより紐一括

未1-29-2-1～-16は紙紐一括

未1	[年賦・利子金銭など書付]		9999	99	0	98		切紙	
未1	記(むきみなど代金請取につき)	(明治)廿七年八月	1894	8	0	48 魚源	村木光次様	切紙	
未1	記(酢・酒など代金勘定書付)	(明治27年)午八月	1894	8	0	48 塩谷桑二	村木光郎様	切紙	
未1	記(代金請取につき)	(明治27年)午八月	1894	8	0	48 さわや勘吾	村木光郎様	切紙	
未1	記(酒肴・寿司・鯨など代金請取につき)	(明治27年)午八月	1894	8	0	48 美よしや	河渡村木光郎様	切紙	
未1	記(水車代金受取につき)	(明治27年)八月	1894	8	0	48 いなばや	村木光郎様	切紙	
未1	記(たばこなど代金請取につき)	(明治27年)午八月	1894	8	0	48 中山商店	村木光郎様	切紙	
未1	記(鐵先など代金済みにつき)	(明治27年)午八月	1894	8	0	48 ミナトかじや	河渡中丁丸屋様	切紙	
未1	覚(桶代金受取につき)	(明治)廿七年八月	1894	8	0	48 桶屋由松	丸屋様	切紙	
未1	記(代金受取につき)	(明治)二十七年八月	1894	8	0	48 あいや久兵衛	河 村木光郎様	切紙	
未1	記(代金請取につき)	(明治27年)午八月	1894	8	0	48 三河屋辰治郎	村木忠一様	切紙	
未1	記(笠など代金受取につき)	(明治27年)午八月	1894	8	0	48 加登長	河 丸屋光太郎様	切紙	
未1	記(代金受取につき)	(明治27年)午八月	1894	8	0	48 加登長	河 丸屋内あい吉様	切紙	
未1	覚(代金済みにつき)	(明治27年)午八月	1894	8	0	48 大がき福五	河渡忠市様	切紙	
未1	[5か村伏越高内訳など書付]		9999	99	0	98		一紙	
未1	覚(天保11年買入れの地所、翌年より利足滞りにより買流にて田畑疋方差引勘定の件につき)	(弘化元年力)	1844	99	0	98		切紙	端裏「七郎平 質地一件」、未1-29-5と関連
未1	覚(質地代金・利金など書付)	(天保14年力)	1843	99	0	98		切紙	未1-29-4と関連
未1	[括り紐]		9999	99	0	98		こより紐	未1-29-6-1～-27はこより紐一括
未1	差上申熟証文之事(村方諸勘定出入一件にて、村役人給米1割減、村小入用取替金利足2分減など取極めにつき)	嘉永七寅年八月	1854	8	0	48 方県郡河渡村宿北之内訴訟方高持小前代市左衛門印・門十郎印、宿村役人惣代庄屋長兵衛印・忠兵衛印、宿役人惣代問屋八兵衛印、立入人多芸郡小倉村三郎右衛門印・武儀郡下有知村後倉印・桑名郡金廻村小十郎印、郷宿角屋内蔵助印・笹屋専治印	笠松御役所	切紙	『岐阜市史史料編近世二』pp.1082～1083の村方諸勘定出入内済証文と同内容、未1-33-41と関連
未1	記(字中島畑反別・地価・掬米など書付)		9999	99	0	98		切紙	未1-29-6-2-1の末尾に-2は重ねて折り込まれ、-3は-2の中に巻き込まれていた、「後藤平衛」とあり
未1	[字中島などの畑反別・地価・掬米・売渡代金など書付]		9999	99	0	98		切紙	「村木忠衛」とあり
未1	[西五月廿五日 吾人 善吉 田面直し][日付・人名など書付]		9999	99	0	98		切紙	付箋カ
未1	[小生手違いにより参上にて、再度伺うにつき書状]	廿九日	9999	99	0	29 加藤小三郎	村木忠一様	切紙	
未1	[当春諺の義、如何するか尋ねにつき書状]	五月九日	9999	5	0	9 塩谷新之恵	河渡宿村木泰治郎様	切紙	
未1	記(木代差引済につき)	(明治20年カ)亥八月	1887	8	0	48 沢屋勘吾	木挽分邨木光郎様、稲葉栄二様	切紙	
未1	記(味噌・酒など代金済みにつき)	(明治)廿年八月	1887	8	0	48 丸一や	村木光郎、外貳人様	切紙	
未1	[見物の件につき書状]	臘月朔日	9999	12	0	1 ギフ山梅長口庵	河渡宿村木忠右衛門様	切紙	
未1	口上(注文の手本4枚の内1枚不用などにつき書状)	九月四日夜	9999	9	0	4 逸司	泰次郎様、桂次郎様	切紙	
未1	[役所への下金断りの詫び並びに金銭差上げの相談につき書状]	七月十四日夕	9999	7	0	14 上曾我屋村木与九郎	河渡宿村木泰治郎様	切紙	
未1	[川成・堤下引などの石高、領主名など書付]		9999	99	0	98		切紙	
未1	覚「戌三月 一金沓両也…」(金銭差引勘定書付)		9999	99	0	98		切紙	
未1	覚(貸金利足など勘定書付)		9999	99	0	98		切紙	
未1	記(寿司など代金受取につき)	二月	9999	2	0	48 みよしや	河 村木忠市様	切紙	

未1	記(板・釘など代金請取につき)	二月	9999	2	0	48 金物や惣七	河渡村村木光郎様	切紙	
未1	覚(酒肴代金受取につき)	戌十二月	9910	12	0	48 玉屋又七	村木泰治郎様	切紙	
未1	[釘・酒など代金差引済みにつき覚]	酉八月三十日	9909	8	0	30 水谷文造	村木光郎殿、 稲葉栄治殿	切紙	
未1	おほへく(代金受取につき)	酉八月	9909	8	0	48 惣助	村方	切紙	
未1	覚(馬船打替金差引書付)		9999	99	0	98		一紙	
未1	記(代金済みにつき)	三月十八日	9999	3	0	18 戸崎店(印:厚見郡鏡島村戸崎商店)	丸屋様	切紙	
未1	キ(縄代金請取につき)	二月	9999	2	0	48 いなはや	村木忠一様	切紙	
未1	覚「二月廿六日より一貳貫百八十八文…」(金銭書付)	三月廿四日	9999	3	0	24		切紙	
未1	記(河渡橋用の檜・杉など代金書付)	明治二十一年七月五日	1888	7	0	5 三吾組	河渡稲葉栄治様	切紙	
未1	[市左衛門より忠左衛門へ質入の屋敷高・(天保13寅年)掟米など書付]		1842	99	0	98		一紙	
未1	記(代金請取につき)	十四日	9999	99	0	14 もじや船口	上様	切紙	
未1	講不金記(不足金など書付)		9999	99	0	98		切紙	
未1	記(金銭書付)	二月廿四日	9999	2	0	24 淡屋初助	村木光郎様	切紙	
未1	覚(酒・砂糖など代金書付)	(明治)廿九年二月	1896	2	0	48 米屋	上町丸屋様	切紙	
未1	記(油・厚紙など代金書付)	一月	9999	1	0	48 伊奈波や	河渡村人民惣代村木忠一様	切紙	
未1	覚(酒・酢など代金済みにつき)	(明治)廿八年二月	1895	2	0	48 米屋	上町丸屋様	切紙	
未1	記(小ふな・白味噌など代金差引済みにつ(明治27年カ)午八月き)		1894	8	0	48 みのや徳八	村木光郎様	切紙	
未1	「徳丸、両吉、甚三…」[人名書付]	十月四日	9999	10	0	4		切紙	2枚
未1	記(手間代、木・釘代など書付)		9999	99	0	98	鷲見正宣殿	切紙	裏に枚数書付あり
未1	記(代金受取につき)	(明治)十九年戌三月十日	1886	3	0	10 岐阜木造町米与	村木忠一様	切紙	
未1	回章(村社祭典はこれまで3月16日の処、上河渡新町より2月19日に執行願いあり、協議のため思召の有無を記すよう依頼状)	二月九日	9999	2	0	9 郡木忠一	稲葉栄二殿、 南組惣代市川 粟吉殿、水谷 徳八殿、水谷 文造殿、北組 惣代郡木忠衛 殿、白木茂一 殿、白木友造 殿	切紙	端裏「河渡村事務所(印)」、回答が書かれた付紙2枚あり
未1	記(木・金タガ・大工手間代金書付)	三月廿四日	9999	3	0	24 村木光朗	河渡村人民惣代御中	切紙	
未1	[拙宅隣家の借家の件につき書状]		9999	99	0	98 京都府下東中筋五条佐藤精兵衛拜	岐阜県下美濃 方県郡河渡駅 郡木忠一様	一紙	
未1	[要右衛門掟方、取調べ差引き書付の義、十二月廿一日認同人へ差遣す後に勘弁引きの件などにつき書状]		9999	12	0	21		切紙	
未1	覚(生津名中田・下田などの反別・高・掟米書付)		9999	99	0	98		切紙	
未1	記(わらじなど代金受取につき)	(明治)廿五年八月	1892	8	0	48 丸一屋豊七	村木光郎様	切紙	
未1	記(丸薬・膏薬など代金済みにつき)	辰八月	9904	8	0	48 永井葉堂	村木秀雄様	切紙	
未1	[括り紐]		9999	99	0	98		紙紐	未1-30-1~-7は紙紐一括
未1	[市左衛門分田畑反別・高・掟米書付]		9999	99	0	98		一紙	裏に問屋諸役米等の書付あり
未1	[田畑反別・高・掟米書付]		9999	99	0	98		切紙	
未1	記(代金受取につき)	亥八月	9911	8	0	48 七津屋長小	村木光郎様、 外二人様	切紙	
未1	[田畑・屋敷などの反別・高並びに掟米書付]		9999	99	0	98		横長	「北高」「南高」とあり
未1	[清左衛門分高・掟米書付]		9999	99	0	98		切紙	
未1	覚「高拾石三斗三升貳合九勺 忠次郎より入分…」(高・掟米など書付)		9999	99	0	98		切紙	
未1	[田畑反別・高・掟米書付]		9999	99	0	98		一紙	破損あり

未1	記「一拾貳人 此金壹円四銭四分…」(人数・金銭など書付)	(明治)十九年一月	1886	1	0	48 江崎繁造	人民惣代御中	切紙	
未1	〔括り紐〕		9999	99	0	98		紐	未1-32-1~-36は紐一括
未1	記(みかん・酢・人参など代金書付)	亥之二月	9911	2	0	48 青木や	まる屋様	切紙	
未1	覚(代金受取につき)	十月	9999	10	0	48 桶屋由松	まるや様	切紙	
未1	覚(料理代金など書付)	亥二月	9911	2	0	48	御連中様	切紙	
未1	記(谷藤代金済みにつき)	辰二月	9904	2	0	48 丹羽屋又四郎	河渡橋事務所 御中	切紙	
未1	記(代金受取につき)	(明治)廿七年二月	1894	2	0	48 沢屋店	村木光郎様	切紙	
未1	記(宿料・米など代金書付)	亥三月二日	9911	3	0	2 たまや万七	村木光太郎 様、稲葉栄治 様、森又治様	切紙	2枚
未1	〔訪ね下されたきにつき書状〕		9999	99	0	98 うたより	たい印様	切紙	
未1	〔上・中・下田反別・高・掬米など書付〕		9999	99	0	98		切紙	
未1	記(酢・酒代金書付)	午二月	9906	2	0	48 塩屋桑治	東町村木光郎 様	切紙	
未1	記(石灰など代金済みにつき)	(明治)廿七年二月	1894	2	0	48 かめや本店	河渡村木光郎 様	切紙	
未1	記(油・素麺など代金請取につき)	(明治)第廿七年二月	1894	2	0	48 湊 戸崎商店	河 村木光郎 様	切紙	
未1	記(油・小豆・人参代金受取につき)	(明治27年)午二月	1894	2	0	48 加登長	河 丸屋光郎 様	切紙	
未1	記(丸あげなど代金書付)	(明治27年)午二月二十八日	1894	2	0	28 みなと豆腐屋嘉作	河渡村丸屋忠 一様	切紙	後筆で「二十八日右正に請取候也」とあり
未1	おぼへ(四つ身代金渡すにつき)	(明治)廿七年二月	1894	2	0	48 桶屋惣助	村木忠一様	切紙	
未1	記(豆腐代金受取につき)	(明治27年)午二月	1894	2	0	48 米屋庄八	丸屋様	切紙	
未1	〔利子金返送の件につき書状〕		9999	99	0	98 京都府下弟子佐藤照久拝	河渡駅邨木師 公殿	切紙	
未1	キ(たばこなど代金書付)	良八月	9902	8	0	48 いなばや	丸屋様	切紙	
未1	記(筵代金済みにつき)	寅八月	9902	8	0	48 米長	河 村木忠一 様	切紙	
未1	〔登京願いなどにつき書状〕		9999	99	0	98 京弟子精兵衛	河渡師君様	切紙	
未1	「御守入開不許」(封筒)		9999	99	0	98 京都府佐藤精兵衛(印)	濃州河渡駅邨 木忠一様	封筒	中身はなし
未1	〔売家の件にて下国したきなどにつき書状〕	二月四日認め	9999	2	0	4 京都府民佐藤精平	濃州方県郡河 渡駅邨木忠一 様、邨木光郎 様	一紙	2枚
未1	〔罷越しの処、失敬にて赦免願いにつき書状〕	五月廿六日認め	9999	5	0	26 京都府下佐藤精兵衛拝	岐阜県下ミノ 河渡邨木忠一 殿	一紙	綴じ穴跡あり、京都府と記された罫紙使用
未1	〔金銭借用の件などにつき書状〕		9999	99	0	98 佐藤精兵衛拝	邨木師君様	一紙	
未1	〔お礼の件などにつき書状〕		9999	99	0	98 くらより	村木忠市様	切紙	
未1	〔明治18年度田租半期分納めにつき領収書〕	明治十九年三月廿七日	1886	3	0	27 岐阜県方県郡河渡村外三ヶ村戸長役場(印)	方県郡河渡村 納人一村惣持	一紙	
未1	覚(ろうそくなど代金済みにつき)	亥極月	9911	12	0	48 やま口口庄治郎	東丁若連中様	切紙	
未1	「一 貳百文 稲葉屋、一 四百八拾五文 油屋…」〔金銭・屋号・名前など書付〕		9999	99	0	98		切紙	未1-32-27-1~-2は重ね折られていた
未1	花講割「一 三百三拾四文 豊助…」(金銭・人名書付)		9999	99	0	98		切紙	
未1	「廿二日笠松御出立、廿二日・廿三日根古地新田…」〔勘定役人などの出立日・到着村名など書付〕		9999	99	0	98		切紙	川々普請関連カ
未1	記(水防竹切り・間竿拵手間代金済みにつき)	酉八月	9909	8	0	48 森和作(印)	御村方	切紙	
未1	記(大半紙・提灯など代金書付)	酉八月	9909	8	0	48 村方油や宗三	戸長様	切紙	
未1	覚(針金など代金済みにつき)	亥十二月	9911	12	0	48 材木屋	花御連中様	切紙	
未1	覚「一 三月十九日・廿日 中島能治郎様御上下貳人…」〔調落ち人数など書付〕		9999	99	0	98 河渡宿		切紙	川々普請関連カ
未1	覚(権吉・甚左衛門へ渡す金銭など書付)		9999	99	0	98		切紙	

未1	〔字中洲出作掬米の儀、本年より年季中の約定認める様につき書状〕	(明治)十九年四月十一日	1886	4	0	11	鏡島村民惣代加藤又四郎	河渡村民惣代御中	切紙	未1-32-34-1～2は重ね折られていた
未1	記(明治18年度字中洲出作掬米2俵受取につき)	(明治)十九年四月十一日	1886	4	0	11	加藤又四郎(印)	新右衛門殿	切紙	
未1	「高橋甚三、森和作…」〔16人の人名書付〕		9999	99	0	98			切紙	未1-32-35-1が2を挟みこんで、共に折られていた
未1	「山下新造、山田松造…」〔9人の人名書付〕		9999	99	0	98			切紙	
未1	〔約定延引により金片延引の侘びなどにつき書状〕	(明治)十七年七月六日	1884	7	0	6	松井宗七	村木忠一様	切紙(封筒共)	年代・作成・宛名は封筒より
未1	〔括り紐〕		9999	99	0	98			紐	未1-33-1～53は紐一括
未1	「村木 書状」〔原稿用紙〕		9999	99	0	98			一紙	
未1	御家流書会(案内)	卯月五日集同廿五日開	9999	4	0	5			一紙(帯封共)	印刷物、帯封「林玄教堂大人選」、「取集所 城屋敷朗月、狐穴 独歩軒、竹ヶ鼻竹城軒、世話人 キツネ穴独歩軒、ホンガウ園 清、アサヒラ龍草堂、アスケ喜旭、会主本郷九郎亭」とあり
未1	〔畑高など書付〕		9999	99	0	98			切紙	前欠
未1	〔村木吉太講一時皆済にて講金・人名など書付〕		9999	99	0	98			切紙	
未1	記(水車損料受取につき)	二月	9999	99	0	2	いなばや	村木光郎様	切紙	
未1	記(酒・なまぜなど代金書付)	(明治28年ヵ)未二月	1895	2	0	48	みのや徳八	村木光郎様	切紙	
未1	記(白味噌・かつおなど代金書付)	(明治28年ヵ)未二月	1895	2	0	48	みのや徳八	村木光郎様	切紙	
未1	記(酒代金、栄三弘渡しにつき)	酉八月	9909	8	0	48	ふじや	御村方中様	切紙	朱書「栄三弘済」
未1	記(寛永12年検地帳と寛永20・元禄元・同13・正徳元年免定を明治7年県庁へ差上げの件書付)	(明治)7年10月12日	1874	10	0	12			切紙	未1-33-9-1～2は重ね折られていた
未1	〔宝暦6年皆済目録・宝暦11年立会絵図・文久年和宮様渡船場絵図など12通を県庁へ差上げの件書付〕	(明治)7年10月12日	1874	10	0	12			切紙	
未1	覚(うなぎなど代金書付)	(明治26年ヵ)巳九月	1893	99	0	98	みのや 徳八	村木光郎様	切紙	
未1	〔味噌・米など代金書付〕	四月十二日	9999	4	0	12	いけ口や		切紙	
未1	〔一度祈らせ下さるようなどにつき書状〕		9999	99	0	98	木村より	たい印様	一紙	
未1	記(鍛先・鎌代金受取につき)	未二月	9907	2	0	48	ミナト かじ国	河渡町 丸屋様	切紙	
未1	覚(人馬賃の内訳並びに差引書付)		9999	99	0	98			一紙	未1-33-50と関連
未1	記(31歩余の割合請取につき)	二月廿八日	9999	2	0	28	美よしや	光治郎様	切紙	
未1	記(豆腐など代金済みにつき)	(明治27年)午二月	1894	2	0	48	(印:美濃国河渡駅 村木新八)	村木光郎様	一紙	未1-33-16-1が2を巻き込んでいた
未1	記(豆腐など代金済みにつき)	(明治26年)巳八月	1893	8	0	48	しんたるや新八	村木光郎様	一紙	
未1	〔上田反別・高・掬米など書付〕		9999	99	0	98			切紙	
未1	〔中田反別・高・掬米など書付〕		9999	99	0	98			切紙	
未1	〔困り入る事などあるにて来訪願いにつき書状〕		9999	99	0	98			切紙	前後欠
未1	〔括り紐〕		9999	99	0	98			紙紐	未1-33-20-1～2は紙紐一括
未1	記(塗り代金など請取につき)	八月卅一日	9999	8	0	31	四成村大泉 左官大場太郎吉	村木様	切紙	破損あり
未1	記(塗り代金など書付)		9999	99	0	98			切紙	破損あり
未1	〔括り紐〕		9999	99	0	98			こより紐	未1-33-21-1～6はこより紐一括
未1	覚(孫兵衛・周助・喜三郎・金三郎・喜与助・佐与吉分田畑反別・高など取調べにつき書付)	(天保8～天保12年)	1837	99	0	98			切紙	
未1	〔田畑など反別・高書付〕		9999	99	0	98			切紙	
未1	〔田反別・高・掬米など書付〕	(天保8～弘化3年)	1837	99	0	98			切紙	
未1	〔田畑・明屋敷反別・高など書付〕		9999	99	0	98			一紙	
未1	覚(天保10年新平より入る上田反別・高書付)	(天保10年)	1839	99	0	98			切紙	
未1	買受直段附之覚(田畑反別・高・掬米・徳米・代金など書付)		9999	99	0	98			一紙	
未1	記(油代金受取につき)	(明治)廿八年二月	1895	2	0	48	角長	河渡村村木忠一様	切紙	
未1	〔袋〕	明治廿八年八月	1895	8	0	48	(印:岐阜県病院調剤局)	村木みの殿	袋	未1-33-23-1の袋に2が入っていた、「散薬 一日三度 一度に一ぶくつ」とあり

未1	記(金銭書付)	口九年二月	9999	2	0	48	みたや	河渡光治郎様	切紙	破損あり
未1	記(油あげ代金請取につき)	(明治28年)未二月	1895	2	0	48	米屋庄八	丸屋様	切紙	
未1	おほへ(酒など代金書付)	うし七月	9901	7	0	48	ミキ八(カ)	河渡村木泰助様	切紙	
未1	[米高・人名など書付]	天保十五辰年九月	1844	9	0	48			切紙	
未1	[高金200円割の内、村当金32円50銭を出金するよう依頼状]	明治十八年十一月十九日	1885	11	0	19	板谷川組合事務扱所(印)	河渡村御惣代御中	切紙	
未1	記(酢・酒など代金書付)	未二月	9907	2	0	48	塩谷桑次	村木光郎様	切紙	
未1	[6か村悪水塚普請代相違なきにて、金員渡されたきにつき書状]	(明治)十八年五月八日	1885	5	0	8	稲葉栄二	村木光郎殿	切紙	未1-33-29-1が-2を包紙のように包んでいた
未1	記(6か村河渡悪水塚普請代見分の上、代金渡すよう依頼状)	(明治)十八年五月七日	1885	5	0	7	渡辺二郎	河渡村人民惣代御中殿	切紙	
未1	「書出し入勝手 架橋書出し」[袋]	明治廿五年八月	1892	8	0	48			袋	
未1	記(生酒代金済みにつき)	辰二月	9904	2	0	48	丹波屋又四郎	六ヶ村河渡村木光次郎様	切紙	
未1	「さつそくながら…」[書状]		9999	99	0	98		竹まつ様	切紙(包紙共) 2枚	
未1	記(巾巾など代金請取につき)	二月二十八日	9999	2	0	28	三河屋辰次郎	村木忠一様	切紙	
未1	記(茶碗代金請取につき)	(明治)第廿八年二月	1895	2	0	48	戸崎商店	村木光郎様	切紙	
未1	「長七間五寸…」[長さ・巾・高さなど書付]		9999	99	0	98			切紙	
未1	記(丈八前入口橋の橋木・竹・俵など数量・代金書付)	明治十九戌一月	1886	1	0	48	白木丈八	御役人様	切紙	
未1	「メ四拾七石八十貳升五合 掟方…」[掟方・手作など高書付]		9999	99	0	98			切紙	
未1	覚(菓子・たばこなど代金書付)	戌十一月九日	9910	11	0	9	井桁屋武八	御普請割御惣代中様	切紙	
未1	覚(酒・肴など代金書付)	戌十一月九日	9910	11	0	9	京屋清八(印)	御連中様	切紙	
未1	おほへ(代金払いにつき)		9999	99	0	98	京治	忠兵衛様	切紙	
未1	差入申一札之事(村方出入一件にて熟談証文取極めの内、夫銭滞りの義は皆済するよう、年寄助跡役願いの義は役繼になるようにつき)	嘉永七寅年八月	1854	8	0	48	取?人小倉村庄屋三郎右衛門印、下有知村庄屋俊蔵印、金廻村庄屋小十郎印、古市場村庄屋助三郎印	河渡宿村庄屋長兵衛殿・忠兵衛殿、村庄屋春兼忠左衛門殿、本陣善兵衛殿、問屋久右衛門殿、八兵衛殿、年寄四郎右衛門殿、年寄助儀右衛門殿、百姓代宇右衛門殿	切紙	未1-29-6-1と関連
未1	覚(酒・料理など代金書付)	霜月九日	9999	11	0	9	吉万入	井桁や御客様	切紙	
未1	[銀高など書付]		9999	99	0	98			切紙	
未1	口上(清書会の件につき)	九月十八	9999	9	0	18			切紙	
未1	記(代金払済みにつき)	五月二十一日	9999	5	0	21	ぬりきや両吉	村木様	切紙	
未1	[依頼の諸用紙郵送につき、代金は切手にて送付願状]	二月十四日	9999	2	0	14	岐阜同局片桐	河渡郵便局村木様	切紙	
未1	[上下穂積村・真桑村など支払金額書付]		9999	99	0	98			一紙	
未1	記(埋葬地修繕費・釈加弥陀堂建築費割の戸数取立て金銭書付)	(明治)十八年十月	1885	10	0	48	河渡村事務所		切紙	
未1	記(2月メ金銭など書付)	午八月	9906	8	0	48	材木店	村木光郎様	切紙	
未1	おほへ(人馬賃の河渡・生津・6か村分担金書付)		9999	99	0	98			切紙	未1-33-14と関連
未1	記(煎餅代金書付)	未二月	9907	2	0	48	丸一屋豊七	村木忠一様	切紙	
未1	記(年賦・利子など渡しにつき)	三月一日	9999	3	0	1	村木桑二	村木光郎様	切紙	
未1	「[]穂積村井上源衛外氏名其合地所売却[]八郎ト加藤栄三ト兩人江約定取結混雑[]訴訟相成御審理之未熟談取扱イ」[袋]	口口口口(明治12)年六月廿八日終ル	1879	6	0	28	村木忠一扣		袋	未1-33-53-1～5は袋一括
未1	[預置きの約定証などの書類・入費立換金も渡し下されたく願ひ上げにつき書状]	(明治12年6月カ)三十日	1879	6	0	30	西堀拜	村木忠一殿	切紙	

未1	記(先般苦勞の一件にて先に金100円差上げにつき)	(明治12年)七月六日	1879	7	0	6 加藤栄三	村木忠一殿	切紙	
未1	記(井上一件熟談方取扱の謝儀として金5円差送るにつき)	(明治)十二年八月十三日	1879	8	0	13 邨木忠一	西堀弥一殿	切紙	
未1	記(訴訟入費金12円50銭入手につき)	明治十二年八月十三日	1879	8	0	13 西堀弥市(印)	井上源衛外氏名御中	切紙	
未1	[惣計反別・畑地価普通掟米・歩訳平均調など書付帳]	(明治12年カ)	1879	99	0	98		横長	
未1	「被成候処御勝益…」[括り紐]		9999	99	0	98		こより紐	未1-34-1~-12はこより紐一括
未1	覚[一 北高拾貳石五斗五升叁合…(北高差引・南高など書付)		9999	99	0	98		切紙	後欠カ
未1	覚(米高・人名など書付)		9999	99	0	98		切紙	
未1	覚(金銭勘定など書付)		9999	99	0	98		一紙	反故紙使用、人足賃銭など書付
未1	[句会の件につき書状]	辰の卯月	9904	4	0	48 催主夜露	届濃(カ) 笠松沢久、大光	切紙	
未1	権七質地流れ込調(上田代金など書付)		9999	99	0	98		切紙	
未1	[上田反別・高・掟米など書付]		9999	99	0	98		切紙	
未1	「天待貳石貳十八斗内…」[石高など書付]		9999	99	0	98		切紙	反故紙使用、大雨による出水の件など書付
未1	覚(成村入用金10両受取につき)	戌七月十日	9910	7	0	10 庄屋長兵衛(印)	忠左衛門殿	切紙	
未1	覚(反別・高など書付)		9999	99	0	98		切紙	
未1	覚(取立米など書付)		9999	99	0	98		切紙	
未1	覚(米高など書付)		9999	99	0	98		切紙	
未1	覚(年貢高など書付)		9999	99	0	98		切紙	
未1	[封筒]	十月廿七日認	9999	10	0	27 大工町荒川弥太郎拝	岐阜県下方郡河渡駅村木忠市様	封筒	「自桑名」とあり
未1	記(檜材・松杉材・釘など代金書付)	酉八月	9909	8	0	48 丸屋店	人民総代御中	切紙	
未2	[代価金延引にて万事依頼などにつき書状]	十二月廿七日前六時認メ	9999	12	0	27 京都府下市川姓佐藤精兵衛拝	濃河渡駅邨木忠一様	一紙	未2-1~-10はビニール紐一括
未2	[新年の挨拶並びに下国延引などにつき書状]	明治十五年一月八日	1882	1	0	8 西京精兵衛	濃河渡東町村木忠市様、邨木光郎様	一紙	
未2	[音信不通にて申し訳なきなどにつき書状]	明治十七年九月廿六日認メ	1884	9	0	26 京都府下京区第拾七組天使突抜貳町目佐藤精兵衛	岐阜県下美濃国方県郡河渡東町邨木忠一様	切紙(封筒共)	年代・作成・宛名は封筒より
未2	「約定書一通在中」[封筒]	(明治21年9月23日)	1888	9	0	23 大野茂作、脇田すみ	方県郡河渡村村木忠一殿	封筒	未2-4-1~-2は封筒一括
未2	[敷地米売買約定書送付にて領収するようなどにつき書状]	(明治21年)九月廿三日	1888	9	0	23 大野茂作、脇田すみ	村木忠一殿、加藤栄三殿	切紙	
未2	仮約定書(板谷川通堤敷地米など組合協議にて永世売買につき)	明治二十一年七月十三日	1888	7	0	13 方県郡木田村総代坂口太郎(印)・長屋三郎(印)、同(方県)郡黒野村総代伊藤治八(印)・伊藤太六(印)・中村善平(印)、本巢郡高屋村総代八代久平代印 豊田定(印)、同(本巢)郡馬場村総代関谷五平代印河合愛平(印)、同(本巢)郡生津村総代加藤栄三(印)、同(本巢)郡柱本村総代木之村勝太郎代印豊田定(印)、方県郡曾我屋村総代鷺見忠衛代印村木国吉(印)、同(方県)郡寺田村総代森岡清平代印小林秀造(印)、同(方県)郡河渡村総代村木忠一(印)、同(方県)郡下尻毛村総代森欣治(印)		縦	付札あり
未2	[新年の挨拶並びに種々の伝言への弁解の件などにつき書状]	明治十七年第一月十三日	1884	1	0	13 京都府下京区第拾七組天使突抜貳町目佐藤精兵衛(印)	岐阜県下みの方県郡河渡宿邨木忠一様	切紙(封筒共)	年代・作成・宛名は封筒より
未2	[無事帛京の連絡並びに伏見稲荷社の祭の案内などにつき書状]		9999	99	0	98 西京住弟子佐藤精兵衛	濃河渡宿村木御師君様、同御家中様	一紙	
未2	[金段一件遅延にて返済金の期限などの件につき書状]	明治十五年七月廿五日認発	1882	7	0	25 西京佐藤精兵衛	河渡宿邨木忠一様	一紙(封筒共)	2枚、綴じ穴跡あり

未2	[利子金送付の件などにつき書状]	明治十五年九月四日発	1882	9	0	4 京都ヨリ下十七組天使突抜式丁目佐藤精兵衛(印)	岐阜県下美濃国河渡宿邨木忠一様	一紙(封筒共)	年代・作成・宛名は封筒より、綴じ穴跡あり
未2	[夏よりの音信不通の詫び並びに葉書・封書を親へ渡す者あるにて桑名への照会は暫く延引などにつき書状]	明治十六年十二月十九日認	1883	12	0	19 京都府下拾七組ヨリ天使突抜式町目 佐藤精兵衛(印)	岐阜県下美濃国方県郡河渡東町邨木忠一様	一紙(封筒共)	年代・作成・宛名は封筒より、綴じ穴跡あり
未2	[愚母照会にて桑名表へ罷り越すようなどにつき書状]	明治十五年八月三日発	1882	8	0	3 下京区第十七組天使突抜式町目佐藤精兵衛	岐阜県下美濃国方県郡河渡駅邨木忠一様	一紙(封筒共)	年代・作成・宛名は封筒より、綴じ穴跡あり
未3	未年掟方不足分仕出し(米種取入まで延滞願ひ)	申正月	9908	1	0	48 棚橋より	村木様	切紙	未3-1~-96はビニール紐一括
未3	[括り紐]		9999	99	0	98		紐	未3-2-1~-54は紐一括
未3	記(伏越組合請米代差上げにて入帳されたきにつき)	明治十九年一月三十日	1886	1	0	30 (下尻毛村外四ヶ村戸長役場)右村々戸長春日善三郎(印)	河渡村惣代村木忠一殿	一紙(封筒共)	作成のカッコは封筒より
未3	[付箋付括り紐]		9999	99	0	98		紙紐	未3-2-2-1~-2は紙紐一括、付箋「ひつめ 勘三部分畑之代り 二天王西門十郎分畑并田同人より仕出」
未3	キフ孫右衛門分悪右衛門扣仕出田地之分(高・掬米など書付)		9999	99	0	98		切紙	
未3	[上田畑反別・高・掬米など書付]		9999	99	0	98		切紙	未3-2-2-2-1~-2は重ね折られていた
未3	覚(勘三部分畑反別・高・掬米・代金など書付)		9999	99	0	98		切紙	
未3	入札(上河渡一ノ切・文造南丁場1坪の金額など書付)		9999	99	0	98 馬淵庄作、同(馬淵)利八、村木新八		切紙(封筒共)	封筒朱書「六号」
未3	[浮浪もの777人程通行にて委細申し上げにつき回文]	十一月廿七日 卯下刻	9999	11	0	27 大湫宿問屋		折紙	
未3	[地割図など書付]		9999	99	0	98		切紙	
未3	記(戸籍調料受取につき)	(明治)十九年一月三十一日	1886	1	0	31 村木伊七(印)	人民惣代村木忠一殿	切紙	
未3	土砂売渡之証(宅地・畑の土砂のみ売却につき)	(明治)十八年八月二日	1885	8	0	2 生津村藤橋滝三良	河渡村・生津村地持惣代御中	切紙	
未3	土砂売渡之証(野地の土砂のみ売却につき)	(明治)十八年八月二日	1885	8	0	2 生津村 西堀仙次郎	河渡村・生津村地持惣代御中	切紙	
未3	記(檜材・杉材・釘代金・人足・大工賃など書付)	明治十八年十月十三日	1885	10	0	13 馬淵勘左	御村方御惣代村木忠一様	切紙	
未3	村方へ取替(竹長さ・本数、人足名など書付)	明治十八年八月一日	1885	8	0	1 取替主田中恵了		切紙	
未3	覚(代金書付)	(明治20年カ)亥極月	1887	12	0	48 ますや太兵衛	東町泰治郎様	切紙	
未3	記(代金受取につき)	(明治18年カ)酉八月	1885	8	0	48 しんたるや新八	村方御役人中様	切紙	
未3	記(松6尺杭代金書付)	(明治)十九年一月	1886	1	0	48 しんたるや新八	村方人民惣代御中	切紙	
未3	記(酒代金書付)	(明治19年カ)戌一月	1886	1	0	48 藤屋文元	御村方御中様	切紙	
未3	廻章(村相場の義、値段相違にて1俵代金訂正の条、承諾するよう照会につき)	(明治)十九年一月廿四日	1886	1	0	24 事務所	稲葉栄二殿、村木勘吾殿、水谷徳八殿、水谷文造殿、村木忠衛殿、後藤市郎殿、白木茂一殿、白木儀一殿、白木定吉殿、白木丈八殿、白木友造殿	切紙	
未3	記(旧小島講11金目寺田村關当たりにて出金につき)	一月廿九日	9999	1	0	29 寺田村惣代森岡清平	河渡村村木忠一殿	切紙	
未3	記(代金請取につき)	九月廿五日	9999	9	0	25 鈴原屋安兵衛(印)	方県郡河渡村事務所御中	切紙	
未3	[水開場所障害訴訟の件、大審院願下げ願書差上げ置き帳簿に調印し差し出す件などにつき書状]	(明治)十九年二月十七日	1886	2	0	17 寺田村小林市平	河渡村村木忠一殿	切紙	

未3	仮請取証(水開場所障害訴訟にて曾我屋・寺田村より河渡村へ上告の件、和融濟口にて金眞請取につき)	明治十八年十二月廿二日	1885	12	0	22 方県郡河渡村外三ヶ村戸長塩谷新吾(印)	河渡村村木忠一殿	一紙	
未3	記(檜材代金請取につき)	(明治18年カ)酉八月	1885	8	0	48 材木屋仙松	河渡村雑事掛御中	切紙	
未3	記(割付金など勘定書付)	(明治)十九年二月五日	1886	2	0	5 村木勘吾	人民総代村木忠一殿	切紙	未3-2-21-1~-2は重ね折られていた、外側から-1~-2とする
未3	受領証(旧9か村などの経費割金受領にまつき)	明治十九年一月三十日	1886	1	0	30 曾我屋村鷲見鉄平(印)	河渡村村木忠一殿	切紙	
未3	記(6か村河渡坎修繕にて日当3人半分請取につき)	(明治)十八年九月廿二日	1885	9	0	22 曾我屋村渡辺二郎(印)	村木忠一殿	切紙	
未3	記(炭代金書付)	(明治19年カ)戌一月	1886	1	0	48 油屋宗三	河渡村事務所御中	切紙	
未3	「七月三十一日 みしろ貳枚…」[みしろ数量など書付]	(7月31日)	9999	7	0	31 後藤直衛	戸長様	切紙	
未3	記(稲苗3千把余、郡衙より送付にて落手されたきにつき)	七月七日	9999	7	0	7 方県郡河渡村外三ヶ村戸長役場	河渡村人民総代御中	一紙	
未3	証(米札1200枚代金落掌につき)	明治六年十二月六日	1873	12	0	6 岐阜泉町五番地啓文社(印)	上様	一紙	
未3	証(檜材・鋸・釘代金、人足・大工費など書付)	九月廿七日	9999	9	0	27 馬淵勘左	村方御惣代様	切紙	
未3	記(惣代印代金落手につき)	(明治)十八年三月十五日	1885	3	0	15 榊原光二(印)	郷木忠一様	切紙	
未3	記(人夫・橋釘代金書付)	一月廿二日	9999	1	0	22 馬淵勘左	村方惣代様	切紙	
未3	記(酒肴代金払済みにつき)	(明治18年カ)酉八月	1885	8	0	48 井桁屋源造	村方取締中様	一紙	
未3	記「一金五円廿銭 郡長…」(郡長・後藤・脇田・大野・塩谷らへの金額の負担割合書付)	明治十九年一月三日	1886	1	0	3 村木忠一、村木国吉、小林市平		一紙	水開き場所障害訴訟関連カ
未3	記(穀代金請取につき)	十二月廿一日	9999	12	0	21 岐阜小郡町尾関鍛冶郎(印)	合渡村村木忠一様	切紙	
未3	御届(備荒儲蓄の救助届の雛形)		9999	99	0	98 右(方県郡河渡)村人民総代 一、一、一	郡長宛	切紙	未3-2-33-1が-2を巻き込んでいた
未3	[地価・戸数取立金銭書付]	(明治18年1月)	1885	1	0	48		切紙	
未3	[田畑長さ・巾・高など書付]		9999	99	0	98		切紙	白紙が添付
未3	記(酒肴代金受取につき)	(明治18年カ)酉八月	1885	8	0	48 しんたるや新八	人民惣代稲葉栄次様	切紙	
未3	[市太郎より忠左衛門へ買入れの居屋敷反別・高・掟米・代金など書付]	天保十三寅年	1842	99	0	98		切紙	
未3	「北長 拾壹間四尺…」[長さ・巾など書付]		9999	99	0	98		切紙	未3-2-37-1が-2を巻き込んでいた
未3	「四斗五合壹勺…」[高など書付]		9999	99	0	98		切紙	
未3	記(油・厚紙など代金差引済みにつき)	(明治)十九年二月	1886	2	0	48 (印:美濃方県郡河渡駅伊奈波屋)	河渡村分村木忠一様	切紙	
未3	[括り紐]		9999	99	0	98		こより紐	未3-2-39-1~-3はこより紐一括
未3	記(酒代金などの合計、1人につきの金額書付)	(明治27年1月10日~21日)	1894	1	0	10		切紙	
未3	記(酒代金などの人別金銭書付)	(明治27年1月10日)	1894	1	0	10		切紙	
未3	記(酒・かまぼこ・蛸の酢など代金書付)	(明治)廿七年二月	1894	2	0	48 みのや徳八	御連中様	切紙	
未3	キ(代金済みにつき)	十月廿三日	9999	10	0	23 (印:現金正札一厘も引なし 岐阜市相生町万力商店)	上	切紙	
未3	記(代金請取につき)	酉八月	9909	8	0	48 たまや店	村方御中	切紙	
未3	記(河渡村字中島堤塘普請人夫賃など受取につき)	明治十八年八月三十一日	1885	8	0	31 細野桑造(印)、武藤喜作(印)		切紙	
未3	記(年賦金・利子など書付)	(明治)廿九年九月一日	1896	9	0	1 桑二	村木光郎様	切紙	
未3	記(小蠟など代金済みにつき)	七月廿六日	9999	7	0	26 米伊	上様	切紙	
未3	覚(縄代金書付)	とり八月	9909	8	0	48 米治	村方忠一様	切紙	
未3	覚(賄い人数・酒肴・筆・半紙など代金書付)		9999	99	0	98 河渡宿櫛屋勇八	笠松二而 村木忠左衛門様	横長(包紙共) 作成・宛名は包紙より	
未3	記(米・酒など代金書付)	亥四月十一日	9911	4	0	11 瓦屋万七	村木光太郎様、稲葉栄次様、森又次様	切紙	

未3	記(豆腐など代金稲葉差引済みにつき) 四月十一日	9999	4	0	11	しんたるや新八	稲葉栄次様、 村木光郎様、 森又次様	切紙	
未3	覚(辰年から戌年までの元利米、卯年から 未年までの不足分など書付)	9999	99	0	98			切紙	未3-2-49-1の末尾に-2を重ねて折り込まれていた、後欠カ
未3	覚(辰年から戌年までの元利米、卯年から 未年までの不足分など書付)	9999	99	0	98			切紙	
未3	覚(代金書付) 卯七月	9903	7	0	48	江戸屋えい	河渡まる屋殿	切紙	
未3	記(内おり袴仕立など代金済みにつき)	9904	2	0	29	三川屋平三郎	村木光郎様	切紙	
未3	記(割賦金差引勘定書付)	1877	99	0	98			切紙	未3-2-52-1の末尾に-2を重ねて折り込まれていた
未3	【明治9年上納分金銭受取証】	1877	2	0	25	加藤米七	村木忠一様	切紙	
未3	〔生津村懸かりもの銀銭勘定書付〕	9999	99	0	98			切紙	未3-2-53-1の末尾に-2を重ねて折り込まれていた
未3	生津村取替金勘定「金七拾両也…」	9999	99	0	98			切紙	
未3	〔括り紐〕	9999	99	0	98			こより紐	未3-2-54-1~-2はこより紐一括
未3	記(ふななど代金請取につき)	1895	2	0	48	源助	村木光郎様	切紙	
未3	覚(桶など代金受取につき)	1895	2	0	48	桶屋由松	丸屋様	切紙	
未3	〔括り紐〕	9999	99	0	98			こより紐	未3-3-1~-3は重ね折られ、こより紐一括
未3	仲間地値段附(居屋敷並びに田畑の反 別・高・掬米・代金など書付)	9999	99	0	98			横長	
未3	落札(人別金銭書付)	9999	99	0	98			一紙	
未3	〔仲間地田畑反別・高書付〕	9999	99	0	98			一紙	
未3	「角屋」〔括り紐〕	9999	99	0	98			紙紐	未3-4-1~-8は重ね折られ、紙紐一括
未3	覚(1石6升の内7斗引きなど引方引合わせ につき)	9999	99	0	98			切紙	
未3	覚(生津要右衛門分掬方差引にて世話人 へ仰せにつき)	9999	99	0	98			切紙	
未3	覚(生津要右衛門分取米・年貢不足分な ど書付)	9999	99	0	98			切紙	
未3	「三石九斗三升六合八勺…」〔物成など書 付〕	9999	99	0	98			切紙	裏に書付あり
未3	「五斗五升 彦平…」〔容積・人名書付〕	9999	99	0	98			切紙	
未3	卯年覚(幾次郎払米書付)	9903	99	0	98			切紙	
未3	〔反別・高書付〕	9999	99	0	98			切紙	
未3	覚(人馬賃など書付)	9999	99	0	98			切紙	欠損あり
未3	〔上郷の者呼び出しの件知らせにつき書 状〕 三月二日	9999	3	0	2	棚橋兎五六	河渡村 忠左 衛門様	切紙(包紙共)	
未3	〔河渡村の出水被害の知らせなどにつき 書状〕 八月十三日認メ	9999	8	0	13	濃州高屋村豊田定四郎	江戸神田小柳 町壹丁目伊勢 屋伝次郎様方 二而 村木忠 左衛門様、関 谷源六様	切紙(包紙共)	作成・宛名は包紙より
未3	おほへ(容積・人名書付) 文久元年酉年	1861	99	0	98			切紙	
未3	覚(平右衛門講金の割辰金など受取るよう につき) 丑十二月大晦日	9901	12	0	31	生津加藤宅右衛門	村木忠兵衛様	切紙	
未3	子覚(年貢高など書付) (子年)	9900	99	0	98			切紙	未3-9-1の末尾に-2を重ねて折り込まれていた
未3	「一 三石七斗六升五合…」〔寺ごとの米高 書付〕 (子年)	9900	99	0	98			切紙	
未3	〔智清の件などにつき書状〕 十月六日	9999	10	0	6	りやより	おりわ殿	切紙	
未3	道詮様一周忌施物(銀7匁5分など書付)	9999	99	0	98			切紙	書状の反故使用
未3	「玉章拝見御恩…」〔書状〕 八月十三日	9999	8	0	13	いち橋佐渡	河渡御口口と ね様	切紙	
未3	〔横手堀一件の儀、日延願いの処、北方 代官所は出役などの件につき書状〕 九月廿五日	9999	9	0	25	河渡村村木忠左衛門	笠松平野屋二 而 日比三郎 右衛門	切紙(包紙共)	作成・宛名は包紙より、破損・継目はがれあり
未3	覚(笠松御陣内長屋普請入用借入取替金 年賦返済、丑年分などを金主らへ渡しに つき) (丑・卯・辰・巳年)	9901	99	0	98			切紙	
未3	曾我屋村扣田地(田畑反別・高・掬米・代 金など書付) (天保5~弘化5年)	1834	99	0	98			切紙	

未3	[村木忠左衛門河渡村所持高書付]	嘉永五子年三月改	1852	3	0	48	村木忠左衛門義旭		一紙	
未3	[上田反別・高書上並びに水難手当貸附金100両請取証文下書]		9999	99	0	98	河渡村百姓代勇八、年寄助勘右衛門・儀右衛門、年寄四郎右衛門、庄屋年寄兼忠左衛門、庄屋忠兵衛・長兵衛	笠松御役所	切紙	
未3	覚(生津名などの高・掬米書付)		9999	99	0	98			切紙	
未3	覚(飛津免・梅坪の田畑反別・高・掬米書付)		9999	99	0	98			切紙	
未3	覚(新米代金差上げにつき)	九月十七日	9999	9	0	17	忠次郎	忠左衛門様	切紙	
未3	覚(借入金差引勘定など書付)	子二月廿六日	9900	2	0	26	忠次郎	忠左衛門様	切紙	未3-21-1が-2を巻き込んでいた
未3	弥助請覚(差引金銭書付)		9999	99	0	98			切紙	
未3	覚(田畑反別・高・掬米など書付)		9999	99	0	98			切紙	
未3	「八十石石九斗四升七合…」[米高書付]		9999	99	0	98			切紙	
未3	所持高之覚(北高・南高の合計高書付)	弘化三丙午年改	1846	99	0	98	庄屋兼年寄忠左衛門		切紙	
未3	身元引受証書(河渡村村木光郎郵便受取所取扱人に採用につき)	(明治24年12月21日)	1891	12	0	21	県 国 郡 村 番 戸 主平民村木勤吾郎	岐阜郵便電信局長古市八音殿	一紙(封筒共)	綴じ穴跡あり、年代は消印より
未3	記(杭代金請取につき)	(明治)十八年七月九日	1885	7	0	9	後藤市郎	村木光郎殿	切紙	
未3	記(酒代金書付)	亥四月十一日	9911	4	0	11	村木屋みせ	稲葉栄二様、村木光郎様、森又二様	横長	未3-27-1が-2を巻き込んでいた
未3	記(酒代金受取につき)	亥二月	9911	2	0	48	村木屋	稲葉栄治様、村木光郎様、森又二様	切紙	
未3	平右衛門様掛金覚(講金書付)	(嘉永3~慶応元年)	1850	99	0	98			切紙	
未3	[先年角屋相続の幸七儀の件などにつき書状]	十月廿七日	9999	10	0	27	アコウ	河渡忠左衛門様	切紙(封筒共)	破損あり
未3	[絵図面御普請の儀、木田・三つ又村惣方共参り申さず承知などにつき、昨年切所水留の普請の儀、内々頼み置きなどにつき書状]	二月三日	9999	2	0	3	山田与二右衛門	村木忠左衛門様	切紙	
未3	[括り紐]		9999	99	0	98			紙紐	未3-31-1~5は紙紐一括
未3	[雑木・蛇籠の本数・長さなど書付]		9999	99	0	98	河渡村		一紙	未3-31-1が-2~5を挟み込んでいた
未3	覚「七百四十四匁三分…」(粹・石代金など書付)		9999	99	0	98			切紙	後部分は欠損カ
未3	「糸貫川通 中ノ込 一長四拾貳間…」[糸貫川通込寸法など書付]		9999	99	0	98			切紙	
未3	覚「一梓柱八拾本…」(梓柱・敷成木など本数・寸法書付)		9999	99	0	98			切紙	
未3	「鼻より菅わん(ママ) 三尺五寸…」[寸法など書付]		9999	99	0	98			切紙	
未3	巳年相場(米相場、元利米など書付)	(明治2年)	1869	99	0	98			切紙	未3-32(回)~(代)は綴、こより紐で括られていた
未3	辰年相場(米相場、元利米など書付)	明治元	1868	99	0	98			切紙	
未3	[米・銭相場、未進米、畑引など書付]	(慶応3年)卯年	1867	99	0	98			切紙	
未3	[米相場、未進米、畑引など書付]	(慶応2年)寅年	1866	99	0	98			切紙	「米相場五俵四分 銭相場九百文…」とあり
未3	[元利米、米・銭相場など書付]	慶応元年丑十二月	1865	12	0	48	生津村庄屋	忠右衛門殿	切紙	「相場三俵八分…」とあり
未3	[米・銭相場、田畑免、畑引など書付]	(元治元年)子年	1864	99	0	98			切紙	
未3	[米・銭相場、未進米、畑免など書付]	(文久3年)亥十二月	1863	12	0	48	生津村庄屋民蔵	河渡村忠左衛門殿	切紙	
未3	戌免割相場(元利米、畑引など書付)	(文久2年)	1862	99	0	98			切紙	
未3	[申・酉年地下相場、免、畑引など書付]	(文久元年)	1861	99	0	98			一紙	
未3	[午・未年米相場、元利米など書付]	(安政6年)	1859	99	0	98			一紙	
未3	覚(辰から未年までの米相場・未進米など書付)	(安政6年)五月三日	1859	5	0	3	民造	泰治郎様	切紙	
未3	覚(辰から亥年までの免割書付)	(文久3年)	1863	99	0	98			切紙	
未3	[年始の挨拶状]	正月廿七日	9999	1	0	27	堤勝右衛門教報(花押)	村木忠兵衛様	切紙	
未3	[5カ村手附金渡すなどにて、出府の処拂村するようにつき書状]	十二月廿四日	9999	12	0	24			切紙	2枚、端裏部欠落あり、「笠松二而 御組合…」とあり、継目はがれの部分あり、3枚継
未3	[新春の挨拶状]	正月五日	9999	1	0	5	(従尾州乾岳)村木仙右衛門義真(花押)	(濃州河渡宿)村木忠兵衛様	折紙(包紙共)	作成・宛名のカッコは包紙より

未3	記(曾我屋横手堤人足数・名前など書付)	丑八月廿三日	9901	8	0	23	御組合様	切紙	未3-36-1~-3は重ね折られていた
未3	記(曾我屋横手堤人足数・名前など書付)	(丑8月20~22日)	9901	8	0	20		切紙	
未3	[人数・人名書付]	(丑8月19~26日)	9901	8	0	19		切紙	
未3	[村方出入一件の願下げも申し付け、出府 諸入用勘弁の儀相談申し付けなどにつき 書状]	二月三日	9999	2	0	3 笠松二而 村木忠兵衛	河渡宿村木忠 左衛門様	切紙	2枚、継目はがれの部分あり、
未3	覚(諸金納割の金2分1朱遣わすにつき)	三月廿六日	9999	3	0	26 生津村庄屋中	河渡村村木忠 左衛門様	切紙	
未3	[水災一件にて火急に相談の義あるにつ き、加納宿富岡屋まで出張依頼状]	正月廿九日戌下刻出ス	9999	1	0	29 小島当三郎	村木忠左衛門 様、加藤治三 郎様、豊田定 四郎様	切紙	端裏「河渡村御役人様 加納宿二而小島当三郎」
未3	[川通一件にて墨引き取直し方の義の組 合村々対談などの件につき書状]	十一月十八日	9999	11	0	18 丹口屋二而 加藤助之進	笠松御出張先 村木忠左衛門 様	切紙	
未3	[江戸表出府にて忠左衛門越す処、当月 24日笠松泊込になるにつき書状]	八月廿一日	9999	8	0	21 笠松より服部小七郎	河渡宿御屋 中様	切紙(包紙共)	作成・宛名は包紙より
未3	記(七寸樋代金済みにつき)	酉八月	9909	8	0	48 ミナト瓶屋店(印)	河渡村事務所 御中	切紙	印に「濃州鏡島湊」とあり
未3	「金式両ト式匆…」[括り紐]		9999	99	0	98		紙紐	未3-43-1~-6は紙紐一括
未3	記(代金受取につき)	(明治)廿七年二月	1894	2	0	48 あいや菊衛	河 村木光郎 様	切紙	
未3	「壹円七十銭 年賦…」[年賦金差引など書 付]	二月廿八日	9999	2	0	28 桑二	村木光郎様	切紙	
未3	覚(田畑反別・高など書付)		9999	99	0	98		切紙	未3-43-3-1~-3は重ね折られていた
未3	覚(田畑反別・高・掬米など書付)		9999	99	0	98		切紙	
未3	覚(田畑反別・高・掬米など書付)		9999	99	0	98		切紙	
未3	「貳分 忠兵衛…」[金銭・人名など書付]		9999	99	0	98		切紙	
未3	記(酒代金書付)	辰二月	9904	2	0	48 玉屋万七	村木光郎様	切紙	
未3	高之覚(字ことの田畑反別・高など書付)		9999	99	0	98		切紙	未3-43-6-1の末尾に-2を重ねて折り込まれていた
未3	覚(田畑並びに居屋敷反別・高など書付)		9999	99	0	98		切紙	
未3	覚(平右衛門分の当春出府請取替銀書 付)		9999	99	0	98		切紙	
未3	[武藤の倅、北方より引取りなどの件につ き書状]	十一月十六日	9999	11	0	16 松井万吉	村木忠左衛門 様、市川長兵 衛様	切紙	未3-45-1が-2を巻き込んでいた
未3	[今般一件破談の処、領分2か村の障りな き場所にては役所にては不行届、右始末 河渡村へ内達するなどにつき書状]	十一月十五日	9999	11	0	15		切紙	
未3	「十二月六日納一金壹歩…」[括り紐]		9999	99	0	98		紙紐	未3-46-1~-4は紙紐一括
未3	[差引勘定調の処、金子借用願いなどにつ き書状]	三月四日	9999	3	0	4 生津加藤桑助、棚橋民蔵	村木泰治郎様	切紙	
未3	覚(扣高年貢代金受取などにつき)	戌三月八日	9910	3	0	8 生津村庄屋桑助、同(生津村庄屋) 民蔵	河渡村村木忠 左衛門様	切紙	
未3	覚(酉12月15か村割賦金の生津村分・酉 年御年貢不足分銀銭書付)	戌二月廿六日	9910	2	0	26 庄屋見習民蔵	河渡村忠左衛 門様	切紙	糊跡あり
未3	覚(銀銭差引、算当の上返事するようにつ き)	未十二月廿九日	9907	12	0	29 生津村桑助	村木忠左衛門 様	切紙	未3-46-4-1が-2を巻き込んでいた
未3	覚「一銀三百六拾五匆…」(銀銭差引など 書付)		9999	99	0	98		切紙	
未3	[昨夜引渡しの尾州表武藤よりの1條極め て内々などにて、切通しへ直様出掛ける 様承知につき書状]	十一月廿七日	9999	11	0	27 笠松二而 市川長兵衛	河渡宿村木忠 左衛門様	切紙	作成・宛名は包紙より
未3	覚(諸入用、村方反別割にて19匆余渡す ようにつき)	十一月十二日	9999	11	0	12 下生津村首場(カ)	河渡忠左衛門 様	切紙	
未3	[図面書き抜き差上げにつき書状]		9999	99	0	98 浜や	忠兵衛様	切紙	
未3	[京に無事到着の旨、宗三郎義の件など つき書状]	明治十五年四月廿七日	1882	4	0	27 いせ桑名宿弟子佐藤照久	濃河渡駅師 長邸木忠一様	切紙	
未3	[封筒]	(明治)16年2月22日)	1883	2	0	22 岐阜県	河渡郵便局	封筒	未3-51-1~-2は封筒一括、朱書「書留 郵便事務 ラ五一八」
未3	[郵便別仕立賃銭1円落着にて請取証差し 出しの覚]	(明治)16年2月22日)	1883	2	0	22 岐阜県庁(印)(印:雑務掛)	河渡郵便局	一紙	未3-51-1が-2を挟み込んでいた

未3	記(郵便別仕立賃準備金返納分1円領取につき)	(明治)十六年二月廿二日	1883	2	0	22 岐阜駅通掛(印:勸業課駅通掛)	河渡郵便局御中	一紙	
未3	記(たばこなど代金請取につき)	未二月	9907	2	0	48 中山商店	村木光郎様	切紙	
未3	[金子入用の件などにつき書状]	五月廿四日	9999	5	0	24 山田秀四郎	永井宗寿様	切紙	
未3	[封筒]	(明治)十九年一月より八月迄	1886	1	0	48 岐阜駅通出張局	ミノ河渡郵便局	封筒	未3-54-1~8は重ね折られ、封筒一括
未3	証(郵便経費1月分9円64銭渡しにつき)	明治十八年十二月廿三日	1885	12	0	23 岐阜駅通出張局(印)	河渡郵便局	切紙	「甲第五一三号」「持参人通運会社名代山口宗典(印)」とあり
未3	証(郵便経費2月分・12月不足分9円94銭渡しにつき)	明治十九年一月廿八日	1886	1	0	28 岐阜駅通出張局(印)	河渡郵便局	切紙	「甲第五九二号」「持参人通運会社名代山口宗典(印)」とあり
未3	証(郵便経費2月不足分6銭渡しにつき)	明治十九年五月十九日	1886	5	0	19 岐阜駅通出張局(印)	河渡郵便局	切紙	「甲第七四九号」「持参人通運会社名代内田弥十郎」とあり
未3	証(郵便経費3月分・1月不足分9円70銭渡しにつき)	明治十九年二月十九日	1886	2	0	19 岐阜駅通出張局(印)	河渡郵便局	切紙	「甲第六七二号」「三月二日持参人通運会社名代山口宗典(印)」とあり
未3	証(郵便経費4月分9円64銭渡しにつき)	明治十九年四月十九日	1886	4	0	19 岐阜駅通出張局(印)	河渡郵便局	切紙	「甲第四号」「持参人通運会社名代山口宗典(印)」とあり
未3	証(郵便経費5月分9円34銭渡しにつき)	明治十九年五月十二日	1886	5	0	12 岐阜駅通出張局(印)	河渡郵便局	切紙	「甲第七六号」「五月十九日持参人通運会社名代山口宗典(印)」とあり
未3	証(郵便経費6月分9円4銭渡しにつき)	明治十九年六月一日	1886	6	0	1 岐阜駅通出張局(印)	河渡郵便局	切紙	「甲第一四七号」「六月二日持参人通運会社名代山口宗典(印)」とあり
未3	証(郵便経費7・8月分18円68銭渡しにつき)	明治十九年六月十七日	1886	6	0	17 岐阜駅通出張局(印)	河渡郵便局	切紙	「甲第二二一号」「六月十九日持参人通運会社名代山口宗典(印)」とあり
未3	覚(廻状などの人数数書付)	四月十五日	9999	4	0	15 生津村	河渡御庄屋中様	切紙	
未3	[私事日々さえぬ事ばかりにて暮らすなど一度会って話したきなどにつき書状]		9999	99	0	98	こいしきだんな様	切紙	3枚
未3	「巻斗四升…」[括り紐]		9999	99	0	98		紙紐	未3-57-1~3は紙紐一括
未3	覚(請金預かり分勘定済みにつき)	(文久3年)亥七月十四日	1863	7	0	14 泰治郎	民蔵様	切紙	
未3	覚(酉不足金差引など書付)		9999	99	0	98		切紙	
未3	覚(請金勘定など書付)	(元治元年)子八月三日勘定	1864	8	0	3 民蔵・泰次郎立会		切紙	未3-57-3-1~2は重ね折られていた
未3	亥年差引覚(請金預かり分・請懸金などより年貢不足分など勘定につき)	(元治元年)子八月	1864	8	0	48 泰次郎	民蔵様	切紙	
未3	記(代金済みにつき)	四月十二日	9999	4	0	12 七津屋	村木光郎様外三人	切紙	
未3	おほへ「金八拾両かへ二而…」(金銭勘定書付)		9999	99	0	98		切紙	
未3	「石末 七、井上 七五…」[地名・割合など書付]		9999	99	0	98		切紙	
未3	[米高・人名など書付]		9999	99	0	98		切紙	
未3	記(丸太・檜木割杭など代金請取につき)	酉九月五日	9909	9	0	5 馬淵十平	人民総代御中	切紙	
未3	覚(料理など代金受取につき)	十月十一日	9999	10	0	11 平口屋	御礼中様	切紙	破損あり
未3	記(酒など代金受取につき)	十月十二日	9999	10	0	12 浅忠	森様	切紙	
未3	記(ろうそく代金請取につき)	(明治25年)辰八月	1892	8	0	48 さわや勘吾	村木秀雄様	切紙	
未3	覚(橋入用釘など代金書付)	(明治)廿五年一月三日	1892	1	0	3 金物や惣兵衛	村木光郎様	切紙	
未3	記(石炭・玉子など代金書付)	(明治)廿七年二月	1894	2	0	48 みのや徳八	村木光郎様	切紙	
未3	[利子金持参の件などにつき書状]		9999	99	0	98 □□□	村木忠一様	切紙	
未3	おほへ(金銭請取につき)	戌十二月	9910	12	0	48 なかしまや衆吉	村木鯛治郎様	切紙	
未3	覚(金銭受取につき)	戌極月	9910	12	0	48 ますや太兵衛	東町泰次郎様	切紙	
未3	覚(ふ・たまりなど代金済みにつき)	戌十二月	9910	12	0	48 ま墨や豊助	村木泰治郎様	切紙	
未3	おほへ(酒など代金書付)	戌極月	9910	12	0	48 今義八	河渡泰助様、御連中様	切紙	未3-72-1が2を巻き込んでいた
未3	おほへ(酒など代金受取につき)	神無月十七日	9999	10	0	17 今義八	鯛助様、栄八様、御連中様	切紙	
未3	覚(酒・れんこんなど代金書付)	八月	9999	8	0	48 米治	上町丸屋様	切紙	
未3	「八月九日 夕 八人…」[日付・人数など書付]		9999	99	0	98		切紙	
未3	覚(酒肴など代金請取につき)	戌極月	9910	12	0	48 藤吉	町 村木泰治郎様	切紙	
未3	記(七輪代金書付)	二月二日	9999	2	0	2 金物屋 宗七	村木忠一様	切紙	

未3	[申し越しの吉太郎居一件、慥かなる証人 肝要なる次第にて連印願いなどにつき書 状]	十二月廿一日	9999	12	0	21	堀部松太郎	村木忠一殿	切紙	
未3	記(白足袋・下駄など代金書付)	(明治20年カ)亥二月	1887	2	0	48	さわや勘吾	木引分村木光 郎様、稲葉栄 二様	切紙	
未3	覚(あげ・とうふなど代金書付)	み二月	9905	2	0	48	米屋	上町丸屋様	切紙	破損あり
未3	記(酒など代金書付)	四月十一日	9999	4	0	11	ふじや		切紙	後欠カ、宛先が「こひき御連中様」と記され、他の宛先の代金書 付も連記されている
未3	記(大端など代金書付)	九月十五日	9999	9	0	15	会津屋伝七	上	切紙	未3-81-1～2は重ね折られていた
未3	馬頭観世音縁日費(金銭など書付)		9999	99	0	98			切紙	
未3	覚(代金など書付)	酉八月	9909	8	0	48	文造	御連中様	切紙	
未3	おぼへ(こえ桶代金済みにつき)	(明治)廿五年八月	1892	8	0	48	桶屋惣助	村木忠一様	切紙	
未3	覚(なます・石炭など代金済みにつき)	(明治)廿五年八月	1892	8	0	48	みのや徳八	村木光郎様	切紙	
未3	「杓石壹斗七升七合九勺…」[米高・人名 など書付]		9999	99	0	98			切紙	
未3	覚(酒・れんこんなど代金書付)	酉八月	9909	8	0	48	玉桜	御連中様	切紙	
未3	覚(米差引勘定など書付)		9999	99	0	98			切紙	未3-87-1～2は重ね折られていた
未3	庭帳写(米高・人名など書付)		9999	99	0	98			切紙	
未3	「内掟メ三拾杓石…」[掟米差引勘定など 書付]		9999	99	0	98			切紙	
未3	卯年田方差引(勘定書付)	(卯年)	9903	99	0	98			切紙	
未3	記(木綿・綿糸代金など済みにつき)	(明治)廿八年二月	1895	2	0	48	あいや菊兵衛	河村木光郎 様	切紙	
未3	[老中より渡船次第取調べにて往来船・人 足数など差違すにつき書状]	(嘉永5年カ)閏二月九日	1852	2	1	9			切紙	
未3	[封筒]	十一月八日	9999	11	0	8	桑名ニテくらより	村木様	封筒	
未3	記(豆腐など代金書付)	(明治29年)申二月	1896	2	0	48	しんたるや新八	村木光郎様	切紙	
未3	記(栗材1間5寸角代金勘定済みにつき)	(明治26年)巳八月	1893	8	0	48	材木店	村木光郎様	切紙	
未3	記(代金差引済みにつき)	(明治27年)午二月	1894	2	0	48	材木店(印:美濃国河渡駅村木新八)	村木光郎様	切紙	
未3	[依頼の水難手当米の義などにつき書状]	十二月三日	9999	12	0	3			切紙	